

事業用貨物自動車の 交通事故の 傾向と事件事例

平成 29 年 9 月



公益社団法人

全日本トラック協会

ま え が き

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター並びに国土交通省の協力を得て、平成 28 年の全国交通事故統計データから事業用貨物自動車（軽自動車を除く。）を対象とした交通事故の全体傾向を統計分析しています。

平成 28 年に全国で発生した交通事故（物損事故を除く）件数は 499,201 件、死者数は 3,904 人、負傷者数は 618,853 人と、前年に比べて事故件数が 37,698 件減（－7.0%）、死者数が 213 人減（－5.2%）、負傷者数が 47,170 人減（－7.1%）となっています。

一方、事業用貨物自動車については、交通事故発生件数、死者数及び負傷者数のそれぞれが減少したものの、飲酒運転事故件数が増加しているなど、交通事故情勢は依然として厳しい状況にあります。

こうした中、国土交通省は、2020 年（平成 32 年）までを計画期間とする「事業用自動車総合安全プラン 2020」を策定し、平成 29 年 6 月 30 日に公表しました。本プランは、軽井沢スキーバス事故等を受けた安全対策や、「利用者」を含めた関係者の連携強化による安全トライアングルの構築等の新たな施策を追加するとともに、各業態（トラック、バス、タクシー）における目標設定を行うこと等により、より安全な輸送サービスの提供の実現を目指すものです。

これを受け、全日本トラック協会では、平成 29 年 9 月 11 日に交通対策委員会を開催し、「トラック事業における総合安全プラン 2020」を策定しました。このプランでは、2020 年までに死者数を 200 人以下とすること等、国土交通省から示された新たな目標を達成するためには、その重点施策に沿って、これまでトラック業界として取り組んできた各種交通事故防止対策を推進することに加え、事業用トラックによる死亡事故件数に係る新たな数値目標について、「事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を車両台数 1 万台当たり『1.5』件以下とし、各都道府県（車籍別）の共有目標とする。」こととしました。

このような状況の中、貨物自動車運送事業の経営にあたっては、交通事故防止対策を最重要課題とし、確実な点呼の実施を始めとして、飲酒運転の撲滅、過労運転の防止、点検整備の徹底、運転者の教育・指導など安全管理の充実に努め、関係者一丸となって、これまで以上に交通事故防止対策を講じていく必要があります。

本書を事業用貨物自動車の交通事故防止対策の一助として活用いただければ幸いに存じます。

平成 29 年 9 月

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 坂 本 克 己

目 次

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況	1
2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況	2
3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況	3
4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況	13
5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況	20
6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況	27
7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況	30
8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況	34
9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況	36
10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況	39
11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況	42
12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況	43
13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況	44
14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況	46
15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況	47
16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況	52
17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況	55
付録	62
付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（平成28年）	63
付録 2. 事業用自動車の第 1 当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成28年）	64
付録 3. 事業用自動車の第 1 当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成28年）	65
付録 4. 事業用自動車の第 1 当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成28年）	66
付録 5. 事業用自動車の第 1 当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成28年）	67
付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成3-28年）	68
付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成19-28年）	69
付録 8. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死者数の推移（平成19-28年）	69
付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成19-28年）	70
付録 10. 事業用自動車の業態別車両 1 万台当たりの死傷事故件数の推移（平成19-28年）	70
付録 11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの死亡事故件数（平成28年）	71
付録 12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成28年）	71
付録 13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成19-28年）	72
付録 14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成19-28年）	74
付録 15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成28年）	76
付録 16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成28年）	77
付録 17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成28年）	78

付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成28年）-----	79
付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況 -----	80
付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況 -----	83
付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況 -----	86
付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況 -----	89
付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況 -----	92
付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（平成25-28年）-----	95
付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成27-28年）-----	96

凡 例

- 本書における用語の定義は、次のとおりである。

- 1 「交通事故」とは、道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。ただし、本書においては物損事故を除く。
- 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から 24 時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
- 3 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 4 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1 箇月（30 日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
- 5 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1 箇月（30 日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
- 6 「死傷」（「死傷者」）とは、「死亡」（「死者」）と「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 7 「死傷者数」とは、事業用貨物自動車の事故における全当事者数をいう。
- 8 「事業用貨物自動車」とは、第 1 当事者が事業用で貨物車（軽自動車を除く。）をいう。ただし、注意書きを除く。
- 9 「第 1 当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 10 「事故類型」とは、当該交通事故を先ず当事者の種類（人または車両等）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したものをいう。
- 11 「対歩行者」とは、当該交通事故の第 2 当事者が歩行者（準歩行者を含む。）である場合をいう。
- 12 「準歩行者」とは、「車椅子」、「小児用の車」、「ローラースケート等」をいう。
- 13 「対自転車」とは、当該交通事故の第 2 当事者が「自転車」、「駆動補助付自転車」、「リヤカー等」の軽車両である場合をいう。
- 14 「車両相互」とは、当該交通事故の第 1 当事者及び第 2 当事者がいずれも車両等（列車が相手方である場合を除く。）である場合をいう。
- 15 「車両単独」とは、当該交通事故の第 2 当事者が「駐車車両（運転者不在）」、「物件」、「相手なし」である場合をいう。
- 16 「車両等」とは、「四輪車」「二輪車」「自転車」「その他」の合計をいう。
- 17 「車両等」の定義は次のとおりである。
 - 「四輪車」……道路交通法に定める大型自動車、中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車。

- 「二輪車」……「自動二輪車」及び「原動機付自転車」
- 「自動二輪車」……道路交通法に定める大型自動二輪車と普通自動二輪車。
- 「原動機付自転車」「軽車両」「自転車」……道路交通法の規定による。
- 「その他」……「四輪車」「二輪車」「自転車」以外の車両。
- 「軽自動車」……道路運送車両法の規定による。
- 「トレーラ」……けん引する構造並びに装置を有する乗用車により牽引されるための構造及び装置を有する車両(車両総重量 750kg 超)が連結されている状態をいう。

18 当事者種別の定義は次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量 11 t 以上又は最大積載量 6.5 t 以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量 5 t 以上 11 t 未満又は最大積載量 3 t 以上 6.5 t 未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量 5 t 未満かつ最大積載量 3 t 未満の貨物車。

19 「高速道」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。

20 「高速自動車国道」(高速国道)とは、高速自動車国道法に定める高速自動車国道をいう。

21 「指定自動車専用道路」(指定自専道)とは、道路交通法に定める自動車専用道路をいう。

22 「行動類型」とは、当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって細分した類型をいう。

23 「人的要因」とは、当事者に認められる要因をいう。

- 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。
- データの各数値は、平成 29 年 5 月末の確定値である。後日、統計上の理由により変更される場合がある。
- データは、(公財)交通事故総合分析センターで集計した。

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例

事業用貨物自動車（軽自動車を除く）が第1当事者となった死傷事故の傾向は次のとおりです。

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況

死傷事故全体の発生件数は、平成19年の27,356件から平成28年には14,600件と、10年間で12,756件（46.6%）減少しており、なかでも平成22年以降は連続して減少しています。

第1当事者種別では、平成19年から平成28年の10年間で、大型は1,206件、中型は2,400件、普通は9,150件、それぞれ減少しています。

表1 当事者種別の死傷事故件数の推移（平成19-28年）

（件）

年	第1当事者種別	大型	中型	普通	合計	保有車両数(台)
H19		6,915 (1,321)	8,972	11,469	27,356	1,409,603
H20		9,000 (1,622)	9,159	6,063	24,222	1,414,703
H21		7,625 (1,220)	8,650	4,406	20,681	1,388,644
H22		8,003 (1,357)	9,063	3,983	21,049	1,361,336
H23		7,993 (1,262)	9,035	3,540	20,568	1,357,647
H24		7,586 (1,265)	8,715	3,173	19,474	1,358,400
H25		7,125 (1,208)	8,490	2,876	18,491	1,360,732
H26		6,985 (1,155)	8,130	2,686	17,801	1,372,140
H27		6,260 (971)	7,294	2,602	16,156	1,381,282
H28		5,709 (991)	6,572	2,319	14,600	1,397,191

※ 大型の（ ）内の値は、トレーラで大型の内数を示す。

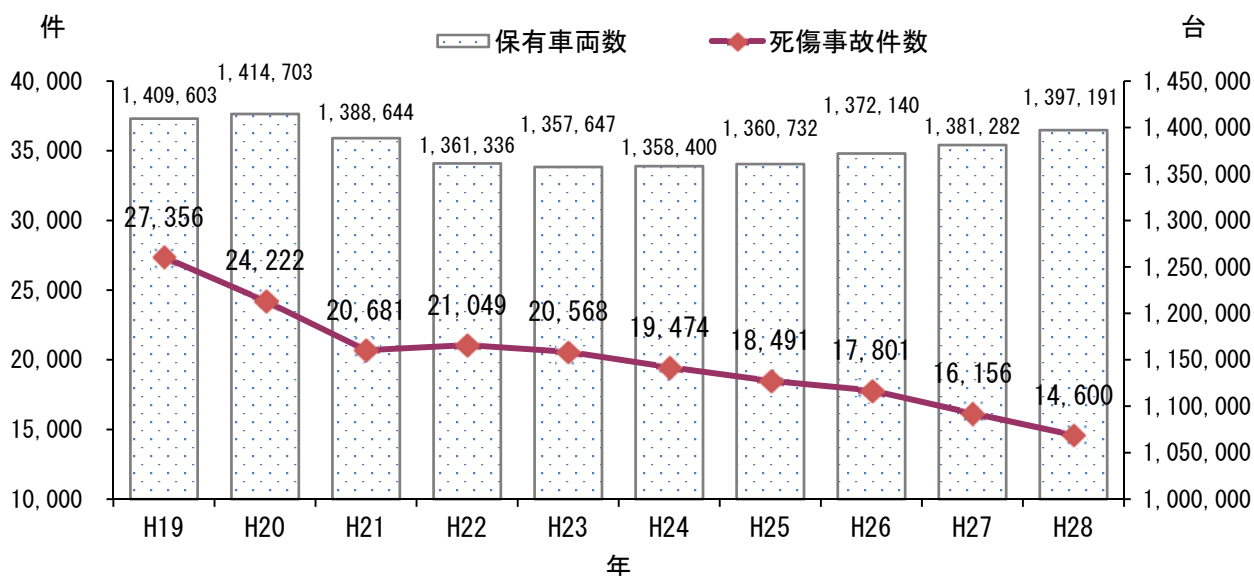


図1 保有車両数と死傷事故件数の推移（平成19-28年）

※ 保有車両数（台）は、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「市区町村別 自動車保有車両数（平成28年度3月末現在）」をもとに全日本トラック協会が集計した値。

2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況

事故類型別の死傷事故件数は、平成 19 年から平成 28 年の 10 年間で、車両相互 11,820 件、人対車両 711 件、車両単独 223 件と、それぞれ減少しています。

発生件数の多い事故類型は車両相互であり、平成 19 年以降、90%以上を占める状況が続いています。

表 2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

(件)						
年	事故類型	車両相互	対歩行者	車両単独	列車	合計
H19		25,337	1,623	393	3	27,356
H20		22,349	1,526	345	2	24,222
H21		18,972	1,425	284	0	20,681
H22		19,382	1,373	293	1	21,049
H23		19,036	1,264	265	3	20,568
H24		17,966	1,282	226	0	19,474
H25		17,106	1,138	244	3	18,491
H26		16,460	1,129	211	1	17,801
H27		14,903	1,069	183	1	16,156
H28		13,517	912	170	1	14,600

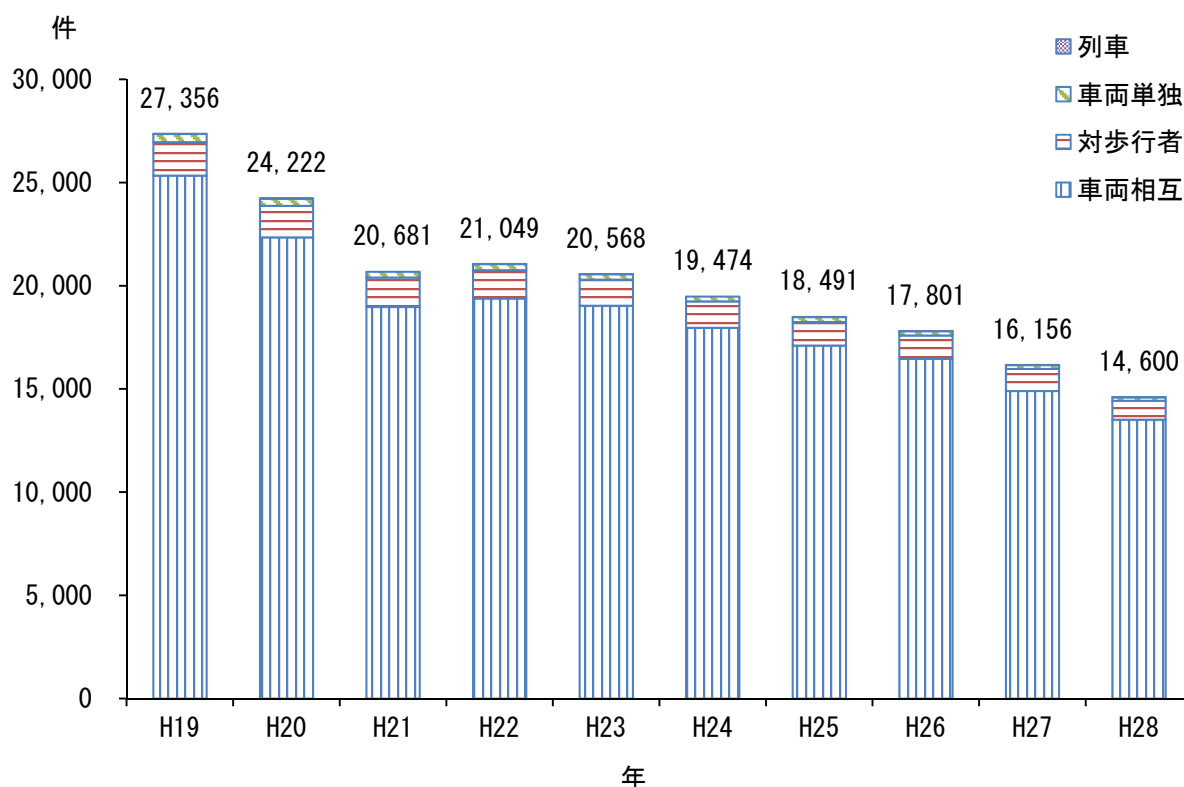


図 2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況

平成 28 年の道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数は、死亡事故では、対歩行者 89 件（うち高速道路 4 件、一般道路 85 件）、車両相互 140 件（うち高速道路 27 件、一般道路 113 件）、車両単独 29 件（うち高速道路 8 件、一般道路 21 件）となっています。

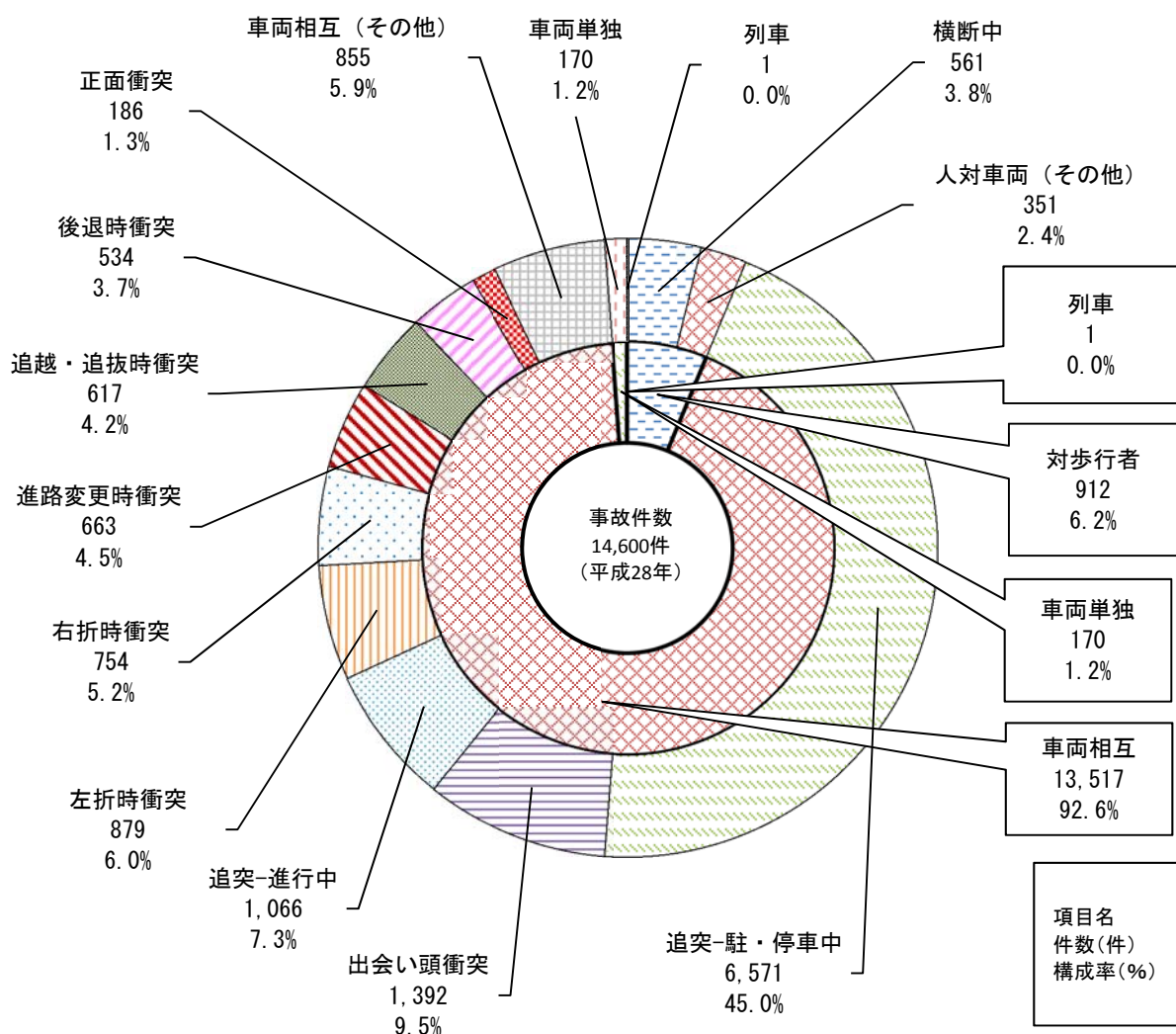
一方、重傷事故では、対歩行者 205 件（うち高速道路 4 件、一般道路 201 件）、車両相互 812 件（うち高速道路 83 件、一般道路 729 件）、車両単独 43 件（うち高速道路 15 件、一般道路 28 件）となっています。

また、軽傷事故では、対歩行者 618 件（うち高速道路 5 件、一般道路 613 件）、車両相互 12,565 件（うち高速道路 1,205 件、一般道路 11,360 件）、車両単独 98 件（うち高速道路 32 件、一般道路 66 件）となっています。

表 3-1 道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数（平成 28 年）

													(件)	
事故類型			死亡			重傷			軽傷			合計		
道路区分			高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計
事故類型詳細区分			高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計
対歩行者	対面通行中		0	1	1	0	7	7	0	32	32	0	40	40
	背面通行中		0	10	10	1	9	10	0	54	54	1	73	74
	横断中	横断歩道	0	25	25	0	86	86	0	273	273	0	384	384
		横断歩道付近	0	5	5	0	9	9	0	11	11	0	25	25
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	3	3	0	3	3	0	6	6
		その他	1	30	31	2	41	43	1	71	72	4	142	146
	路上遊戯中		0	0	0	0	1	1	0	4	4	0	5	5
	路上作業中		1	0	1	0	12	12	0	24	24	1	36	37
	路上停止中		2	0	2	0	6	6	0	9	9	2	15	17
	路上横臥中		0	8	8	0	1	1	0	3	3	0	12	12
	その他		0	6	6	1	26	27	4	129	133	5	161	166
	小計		4	85	89	4	201	205	5	613	618	13	899	912
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	4	4
		その他	1	15	16	0	41	41	1	124	125	2	180	182
	追突	進行中	6	17	23	24	51	75	382	586	968	412	654	1,066
		駐・停車中	14	7	21	33	120	153	505	5,892	6,397	552	6,019	6,571
	出会い頭衝突		0	22	22	0	162	162	1	1,207	1,208	1	1,391	1,392
	追越・追抜時衝突		0	2	2	3	56	59	61	495	556	64	553	617
	進路変更時衝突		1	2	3	11	14	25	164	471	635	176	487	663
	すれ違い時衝突		0	1	1	0	8	8	0	166	166	0	175	175
	左折時衝突		0	22	22	0	113	113	4	740	744	4	875	879
	右折時衝突		0	17	17	0	95	95	1	641	642	1	753	754
	横断時衝突		0	0	0	0	4	4	0	13	13	0	17	17
	転回時衝突		0	2	2	0	8	8	0	40	40	0	50	50
	後退時衝突		0	1	1	0	9	9	15	509	524	15	519	534
	その他		5	5	10	12	47	59	71	473	544	88	525	613
小計		27	113	140	83	729	812	1,205	11,360	12,565	1,315	12,202	13,517	
車両単独	工作物衝突	電柱	0	1	1	0	5	5	0	3	3	0	9	9
		標識	0	1	1	0	2	2	1	4	5	1	7	8
		分離帯・安全島	0	0	0	2	0	2	5	4	9	7	4	11
		防護柵等	1	6	7	5	5	10	11	6	17	17	17	34
		家屋・塀	0	0	0	0	2	2	0	5	5	0	7	7
		橋梁・橋	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	3	3
		その他	0	4	4	0	3	3	1	12	13	1	19	20
	駐車車両(運転者不在中)衝突		6	3	9	6	4	10	7	17	24	19	24	43
	路外逸脱	転落	0	2	2	0	1	1	0	3	3	0	6	6
		その他	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	3	3
	転倒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		1	2	3	2	5	7	7	9	16	10	16	26
	小計		8	21	29	15	28	43	32	66	98	55	115	170
	列車			0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
合計			39	219	258	102	958	1,060	1,242	12,040	13,282	1,383	13,217	14,600

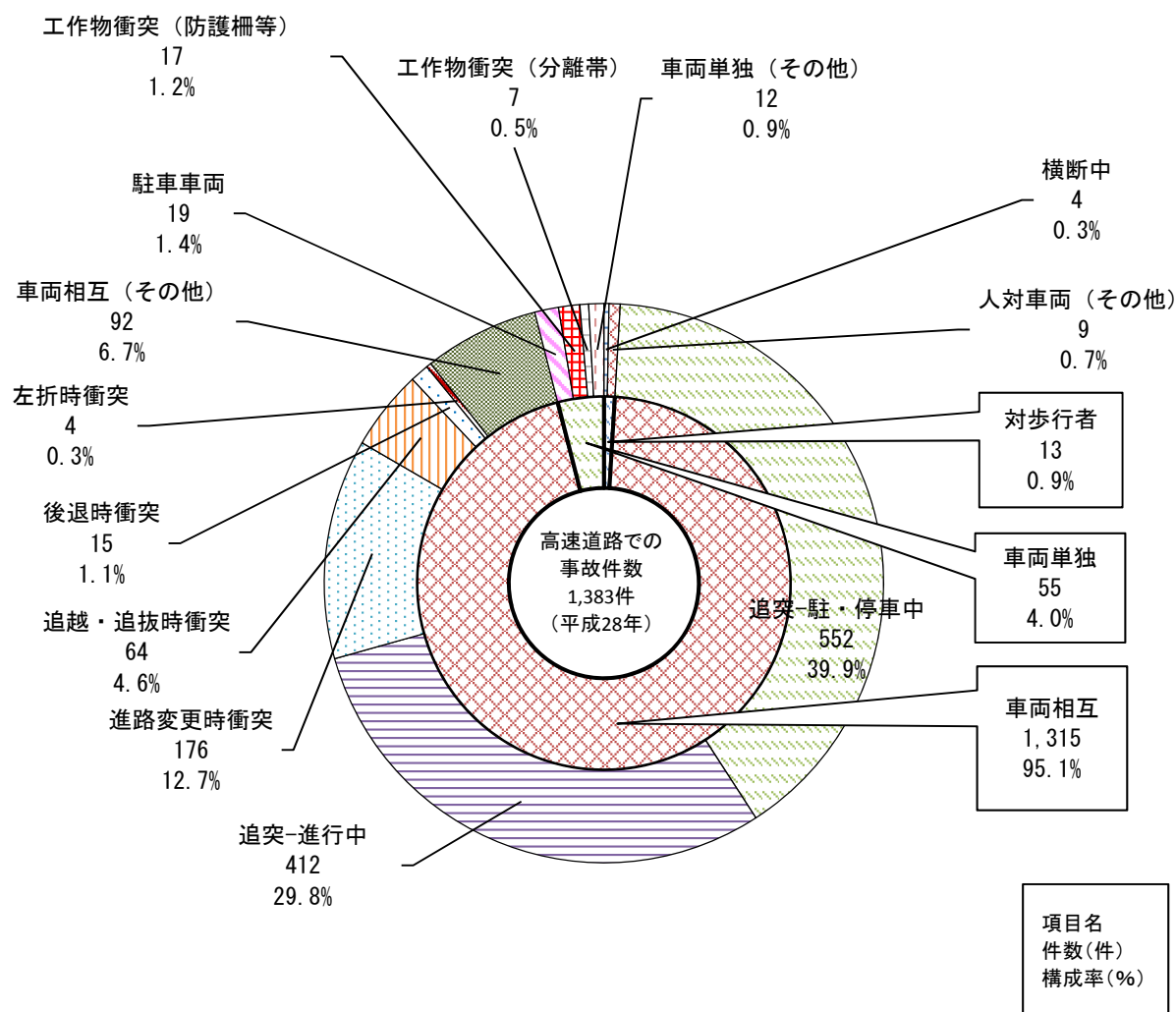
平成 28 年の死傷事故のうち、事故類型詳細区分別で発生件数が多い 10 項目は、追突-駐・停車中 6,571 件 (45.0%)、出会い頭衝突 1,392 件 (9.5%)、追突-進行中 1,066 件 (7.3%)、左折時衝突 879 件 (6.0%)、右折時衝突 754 件 (5.2%)、進路変更時衝突 663 件 (4.5%)、追越・追抜き 617 件 (4.2%)、後退時衝突 534 件 (3.7%)、横断中 561 (3.8%)、正面衝突 186 件 (1.3%) で、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 7,637 件 (52.3%) と、死傷事故全体 (14,600 件) の半分以上を占めています。



※ 事故類型については、発生件数の多い 10 項目及びその他とする。

図 3-1 事故類型別死傷事故件数の構成率 (平成 28 年)

平成 28 年の死傷事故のうち、高速道路における事故類型詳細区分別の発生件数が多い 10 項目は、追突-駐車中 552 件 (39.9%)、追突-進行中 412 件 (29.8%)、進路変更時衝突 176 件 (12.7%)、追越・追抜き 64 件 (4.6%)、駐車車両 19 件 (1.4%)、工作物衝突(防護柵等) 17 件 (1.2%)、後退時衝突 15 件 (1.1%)、工作物衝突(分離帯) 7 件 (0.5%)、左折時衝突 4 件 (0.3%)、横断中 4 件 (0.3%) で、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 964 件 (69.7%) と、高速道路における死傷事故全体 (1,383 件) の 7 割近くを占めています。



※ 事故類型については、事故件数の多い 10 項目及びその他とする。

図 3-2 高速道路における事故類型別死傷事故件数の構成率 (平成 28 年)

参 考

(1) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

- ・追突による死傷事故件数は、平成 19 年の 15,333 件から平成 28 年には 7,637 件となり、10 年間で 7,696 件（50.1%）減少しています。

表 3-2 主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

		(件)									
事故類型	年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
追突		15,333	13,544	11,400	12,008	11,853	11,357	9,719	9,292	8,541	7,637
対歩行者		2,094	2,003	1,920	1,864	1,770	1,746	1,138	1,129	1,069	912
出会い頭衝突		4,303	4,225	3,681	3,548	3,373	3,069	1,843	1,708	1,483	1,392
左折時衝突		1,932	1,740	1,550	1,605	1,523	1,409	1,112	1,038	930	879
右折時衝突		2,039	1,757	1,550	1,515	1,425	1,283	890	914	837	754
出会い頭衝突等		8,274	7,722	6,781	6,668	6,321	5,761	3,845	3,660	3,250	3,025
その他		6,311	5,574	4,896	4,912	4,921	4,675	3,789	3,720	3,296	3,026
事故件数		32,012	28,843	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・追突の構成率は、平成 19 年の 47.9%から平成 28 年の 52.3%と、10 年間で 4.4 ポイント増加しています。
- ・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 19-24 年は 60%台でしたが、平成 25 年以降は 70%以上で推移しています。

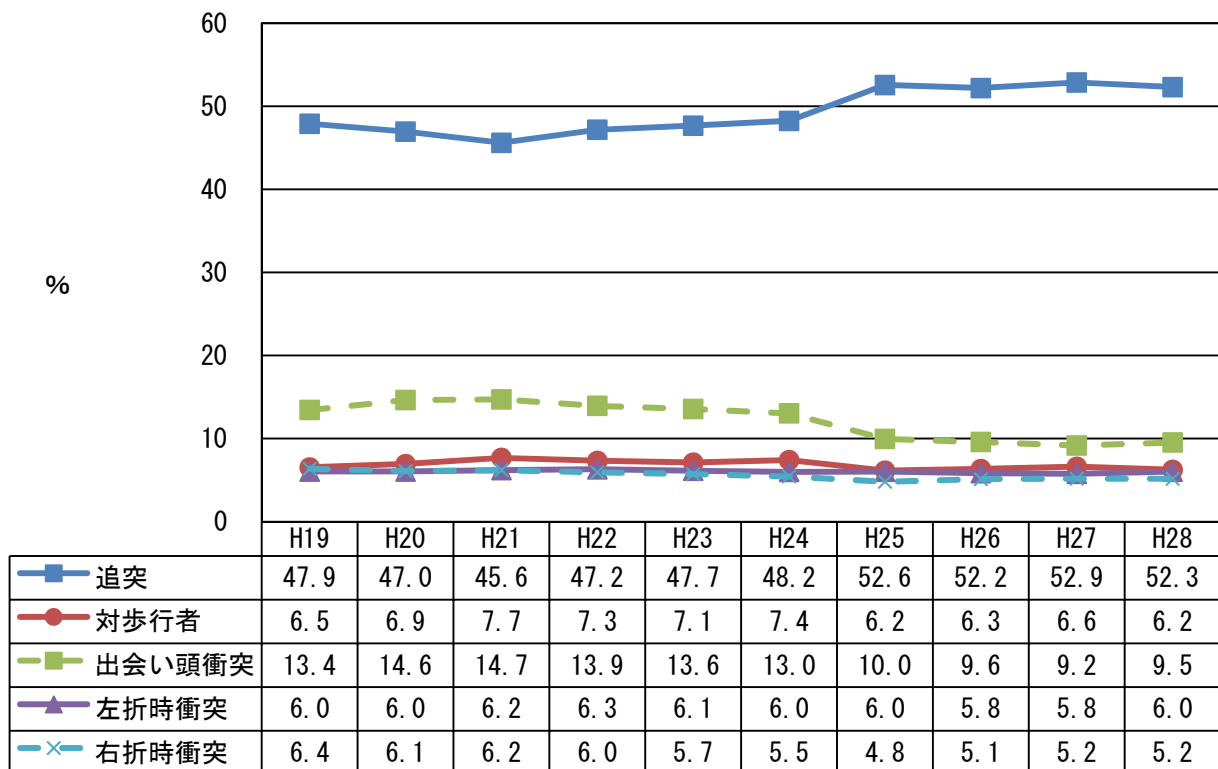


図 3-3 主な事故類型の死傷事故件数構成率の推移（平成 19-28 年）

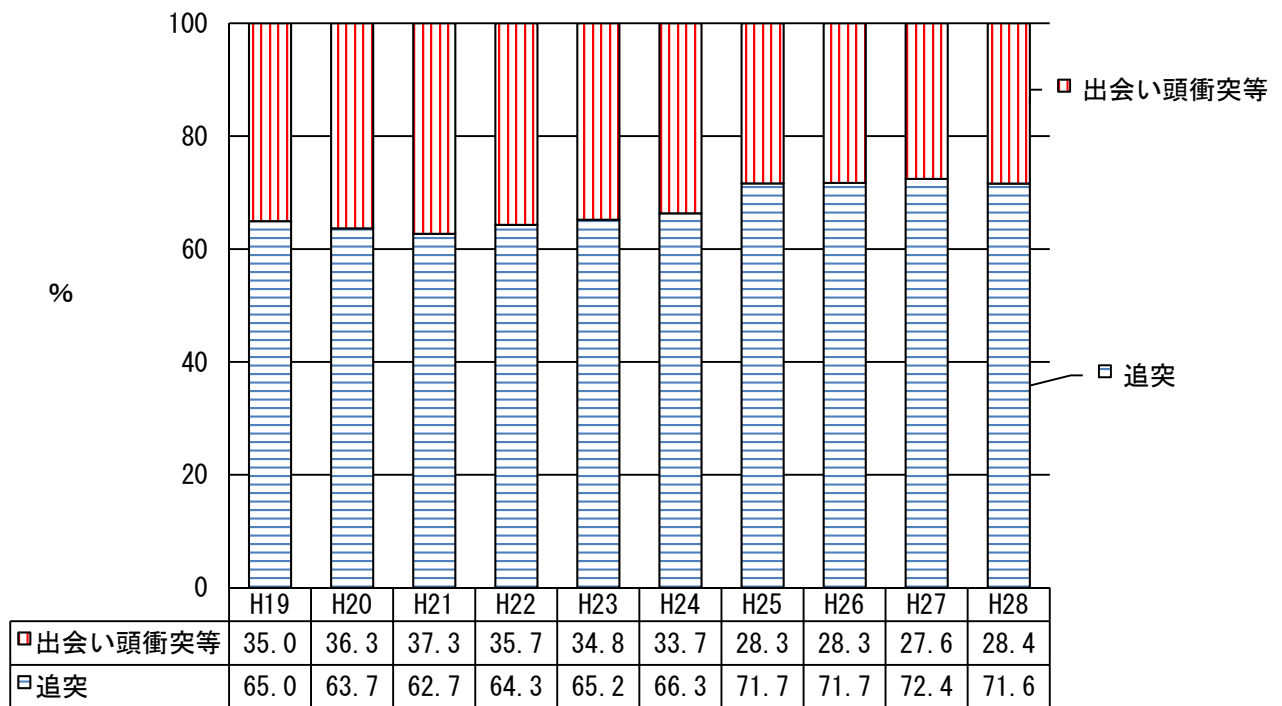


図 3-4 「追突」と「出会い頭衝突等」による死傷事故件数構成率の推移（平成 19-28 年）

(2) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

- ・追突による死亡事故件数は、平成 19 年の 109 件から平成 28 年には 44 件となり、10 年間で 65 件（59.6%）減少しています。

表 3-3 主な事故類型別の死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

(件)

事故類型 \ 年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
追突	109	81	65	86	85	78	77	58	50	44
正面衝突	45	21	23	27	21	18	9	11	12	16
出会い頭衝突	40	53	49	41	40	29	30	29	29	22
左折時衝突	48	28	26	30	24	24	23	32	27	22
右折時衝突	21	26	19	21	14	19	19	17	11	17
出会い頭衝突等	109	107	94	92	78	72	72	78	67	61
その他	268	224	215	199	183	220	191	183	179	137
事故件数	531	433	397	404	367	388	349	330	308	258

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・追突の構成率は、平成 19 年の 20.5%から平成 28 年は 17.1%と、10 年間で 3.4 ポイント減少しています。

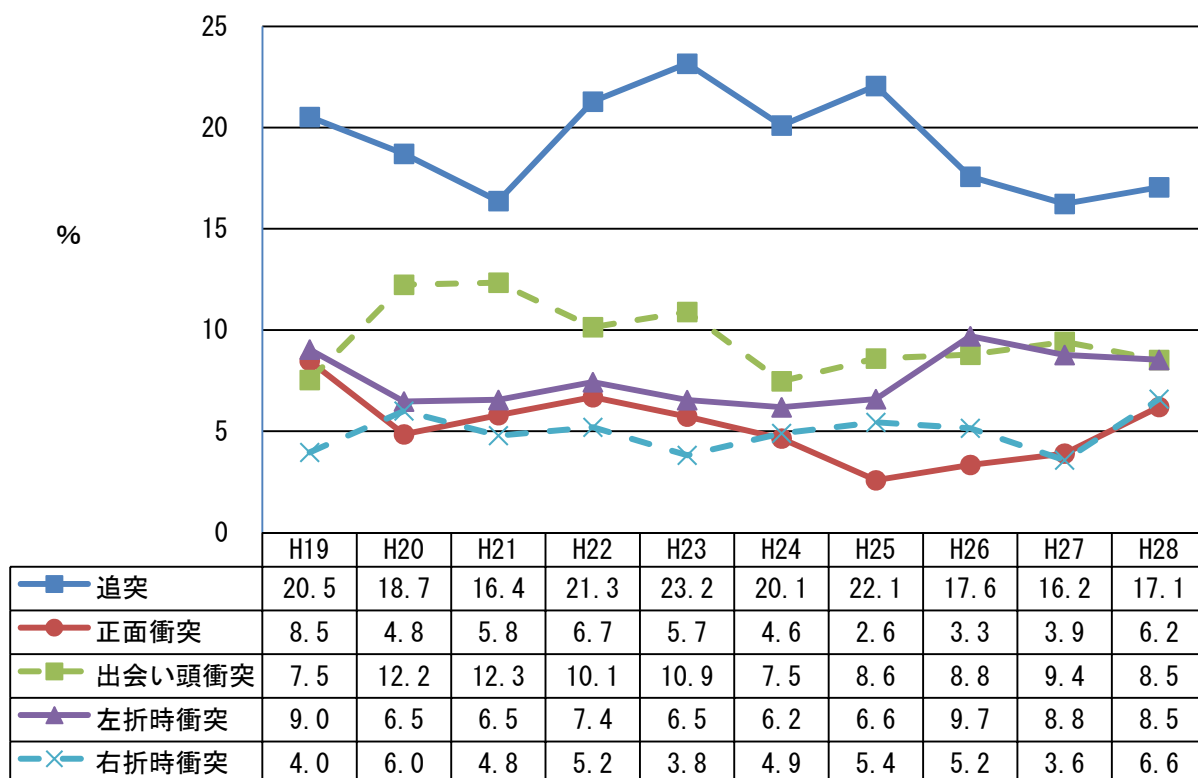


図 3-5 主な事故類型の死亡事故件数構成率の推移（平成 19-28 年）

- ・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 19 年の 50.0%から平成 28 年は 41.9%と、10 年間で 8.1 ポイント減少しています。

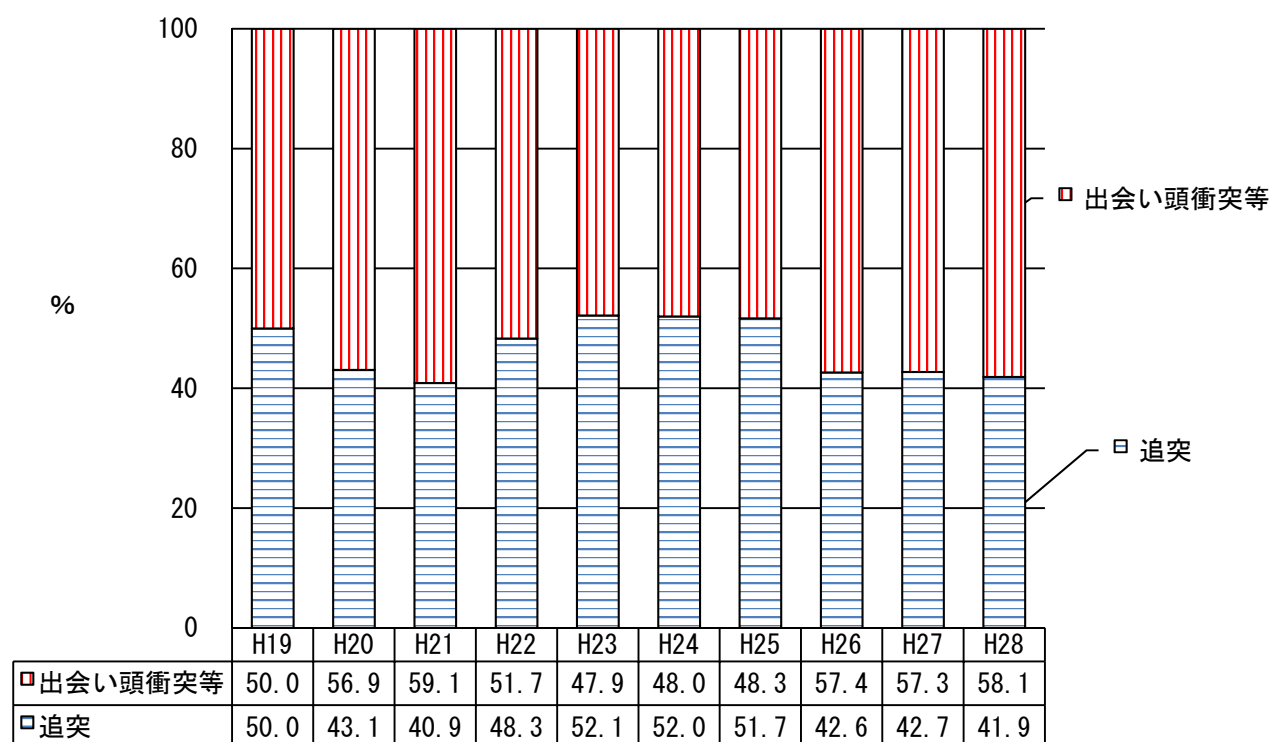


図 3-6 「追突」と「出会い頭衝突等」による死亡事故件数構成率の推移（平成 19-28 年）

(3) 事業用貨物自動車の交差点内における死傷者数の推移（平成 19-28 年）

- ・交差点内における死傷者数は、平成 19 年の 9,263 人から平成 28 年には 4,321 人となり、10 年間で 4,942 人（53.3%）減少しています。
- ・そのうち死者は、平成 19 年の 184 人から平成 28 年の 88 人と、10 年間で 96 人（52.1%）減少しています。また、平成 28 年に初めて 100 人を下回りました。
- ・一方、重傷者は、平成 19 年の 808 人から平成 28 年の 452 人と、10 年間で 356 人（44.0%）減少しています。
- ・また、軽傷者は、平成 19 年の 8,271 人から平成 28 年の 3,781 人と、10 年間で 4,490 人（54.2%）減少しています。

表 3-4 交差点内における死傷者数の推移（平成 19-28 年）

										(人)
年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
死傷者数										
死者	184	168	149	134	120	124	118	129	111	88
重傷者	808	694	671	669	605	534	468	529	472	452
軽傷者	8,271	7,329	6,342	6,054	5,844	5,294	4,869	4,661	4,124	3,781
合計	9,263	8,191	7,162	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321

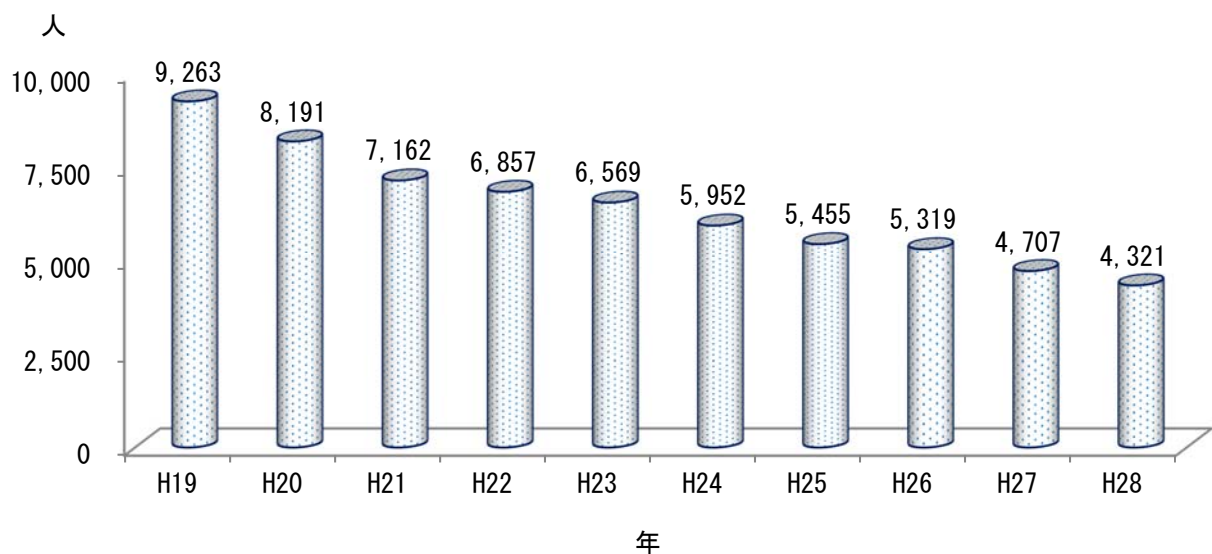


図 3-7 交差点内における死傷者数の推移（平成 19-28 年）

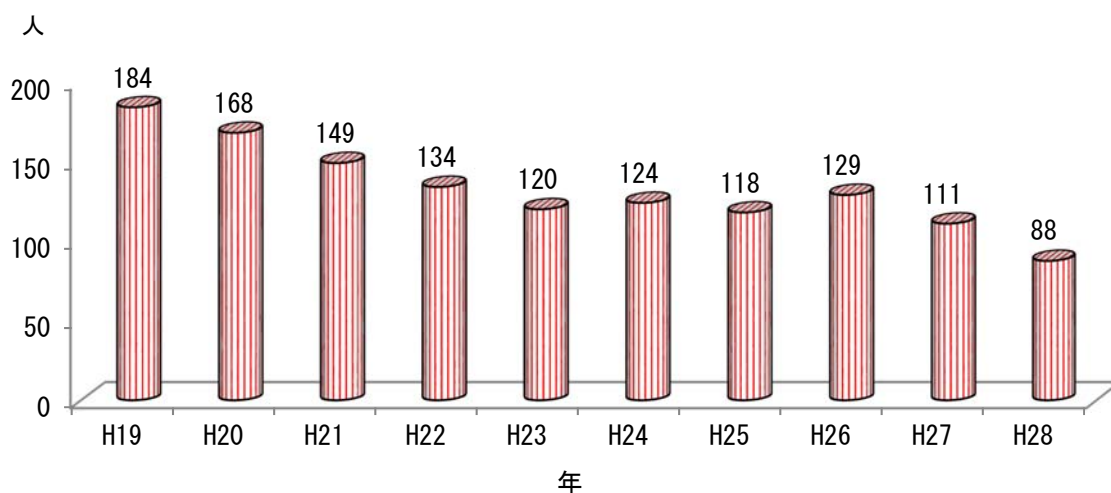


図 3-8 交差点内における死者数の推移（平成 19-28 年）

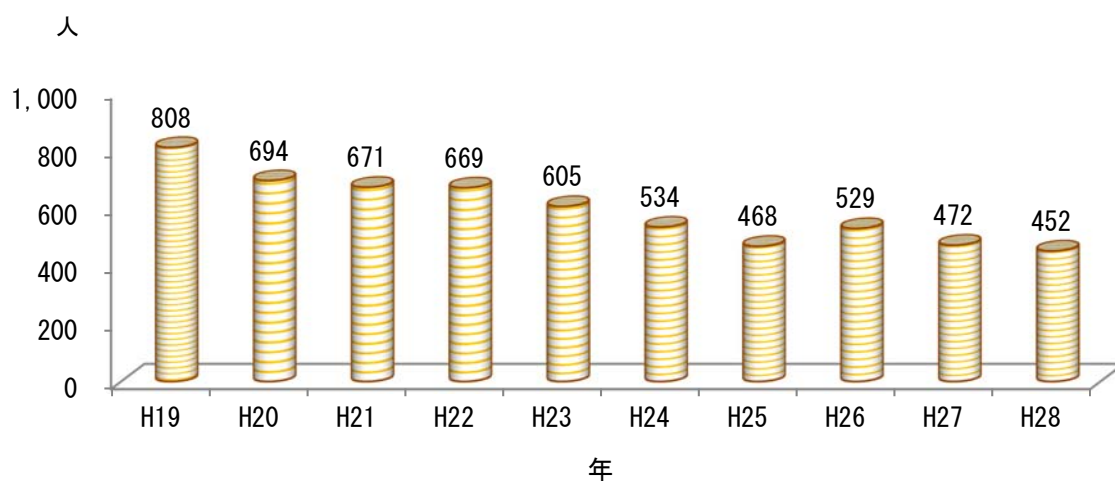


図 3-9 交差点内における重傷者数の推移（平成 19-28 年）

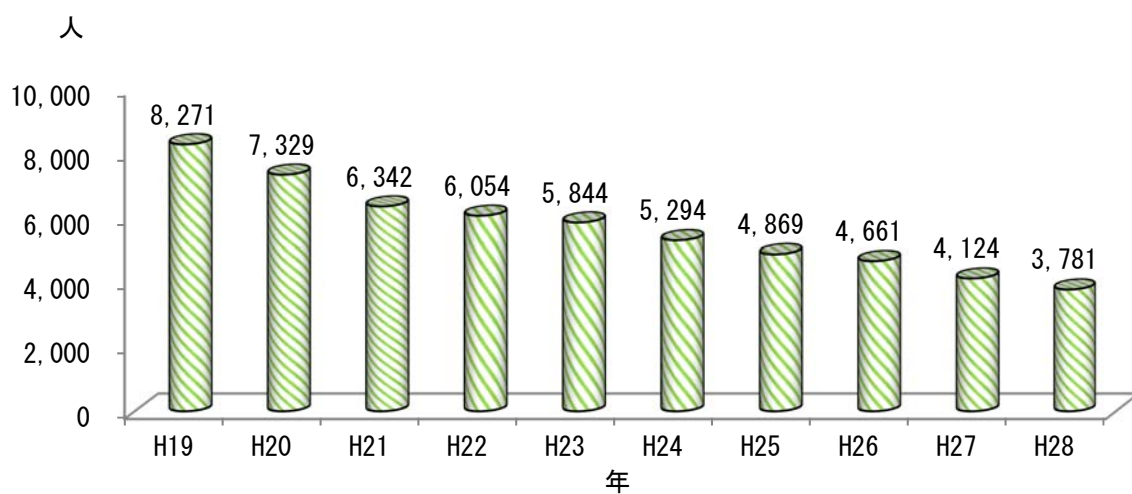


図 3-10 交差点内における軽傷者数の推移（平成 19-28 年）

(4) 事業用貨物自動車の衝突地点別死者割合の推移（平成 19-28 年）

- ・衝突地点別の死者割合（死傷者数に占める死者数の割合）は、平成 19 年から平成 28 年までの 10 年間、全衝突地点では 1.3%から 1.4%の範囲で推移しています。
- ・また、同じ期間、単路での死者割合は 1.0%から 1.3%の範囲で推移している一方、交差点内では 1.8%から 2.4%の範囲で推移しています。
- ・全体衝突地点及び単路と比較すると、交差点内は死者割合が高くなっています。

表 3-5 衝突地点別死者割合の推移（平成 19-28 年）

事故類型		年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全衝突地点	死傷者数(人)		36,850	32,280	27,436	28,299	27,650	26,128	24,963	24,002	21,678	19,435
	死者数(人)		534	428	387	402	368	389	364	340	312	270
	死者割合(%)		1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3
交差点内	死傷者数(人)		9,263	8,191	7,162	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321
	死者数(人)		184	168	149	134	120	124	118	129	111	88
	死者割合(%)		1.9	2.0	2.0	1.9	1.8	2.0	2.1	2.4	2.3	2.0
単路	死傷者数(人)		26,103	22,936	19,307	20,363	20,072	19,034	18,308	17,468	15,893	14,148
	死者数(人)		327	251	229	257	237	252	234	202	196	170
	死者割合(%)		1.2	1.0	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2

※ 死者割合＝死者数／死傷者数×100（小数点第 2 位切り捨て）

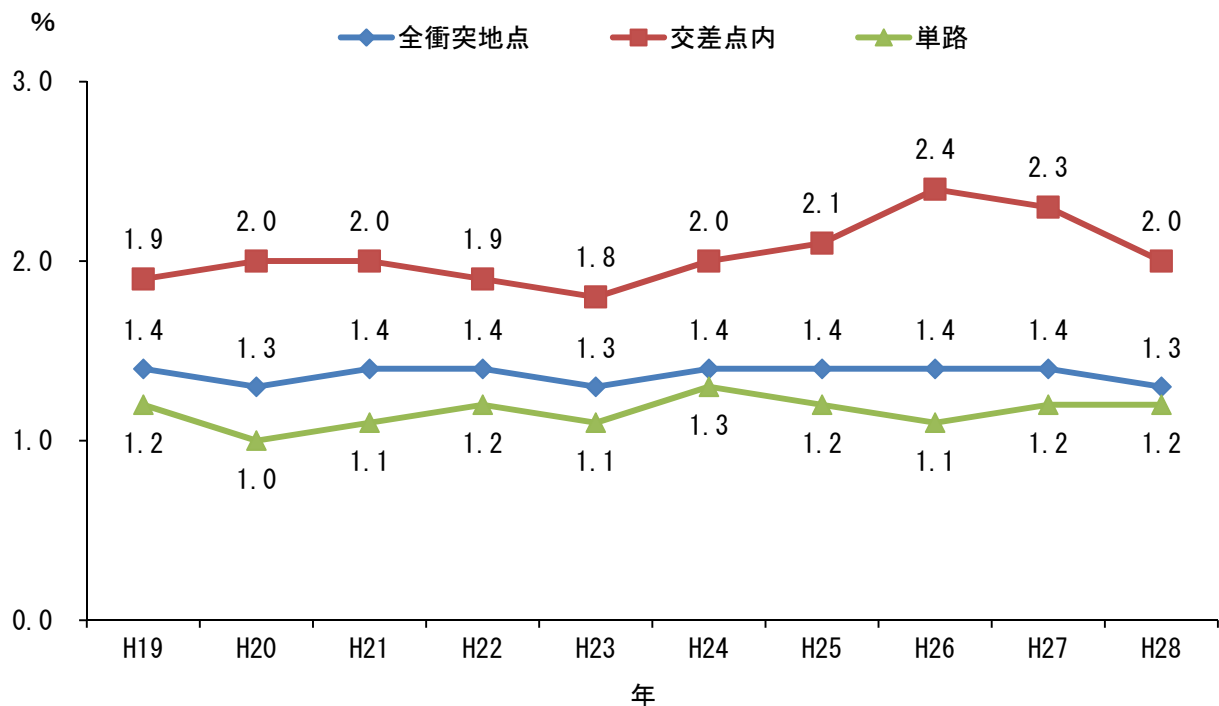


図 3-11 衝突地点別死者割合の推移（平成 19-28 年）

4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数

平成 28 年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数は、45-49 歳 2,464 件（16.9%）、40-44 歳 2,286 件（15.7%）、50-54 歳 1,803 件（12.3%）、55-59 歳 1,542 件（10.6%）、35-39 歳 1,507 件（10.2%）となっています。

また、40 歳から 49 歳を合計すると 4,750 件（32.5%）となり、さらに 40 歳から 59 歳を合計すると 8,095 件（55.4%）となっています。

表 4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数（平成 28 年）

運転者年齢		(件)											
事故類型		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
車両相互	追突	377	516	672	825	1,233	1,258	924	754	613	465	0	7,637
	出会い頭衝突	70	78	140	134	219	216	156	129	130	120	0	1,392
	正面衝突	10	15	16	13	26	26	25	26	15	14	0	186
	左折時衝突	29	38	60	79	131	182	131	105	66	58	0	879
	右折時衝突	30	56	50	80	108	132	82	82	69	65	0	754
	その他	99	142	181	270	411	478	349	302	237	200	0	2,669
	対歩行者	31	36	82	83	138	144	117	118	93	70	0	912
車両単独	9	7	9	23	20	28	19	26	14	15	0	170	
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
合計		655	888	1,210	1,507	2,286	2,464	1,803	1,542	1,238	1,007	0	14,600

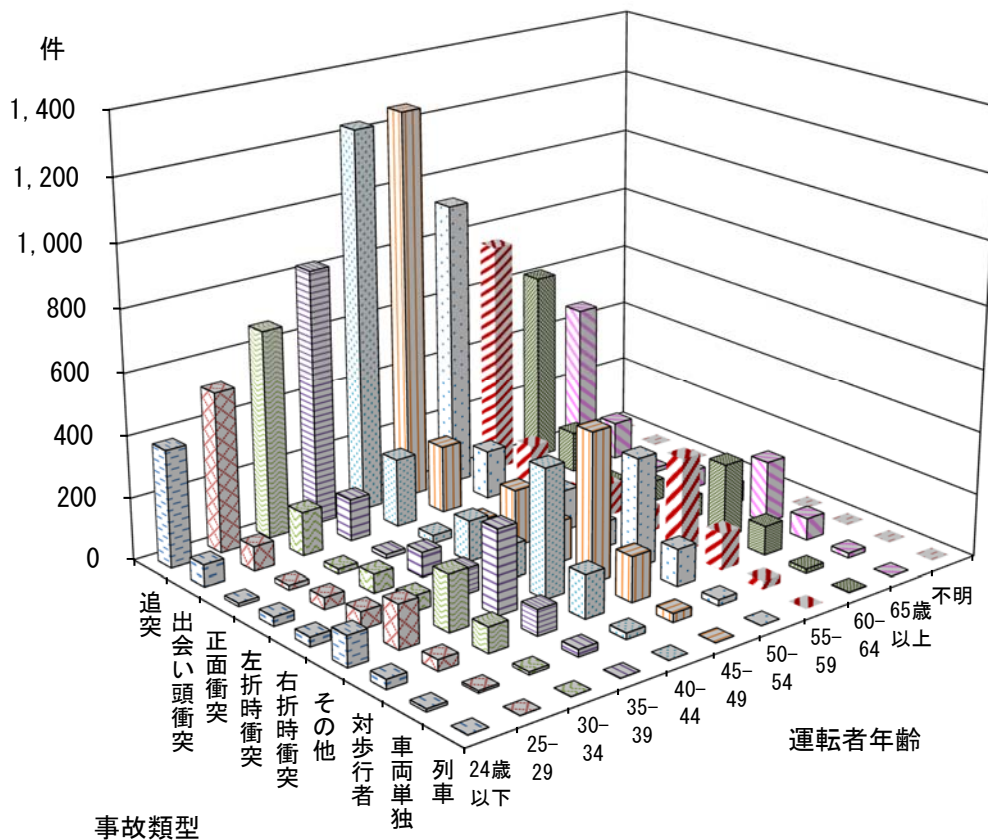


図 4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数（平成 28 年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率

平成 28 年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数の構成率は、車両相互のうち追突では、24 歳以下 57.6%、25-29 歳 58.1%となり、30 歳未満の割合が高くなっています。

一方、車両相互のうち出会い頭衝突は、65 歳以上 11.9%、30-34 歳 11.6%、60-64 歳 10.5%となり、同じく左折時衝突は、45-49 歳 7.4%、50-54 歳 7.3%で、同じく右折時衝突は、65 歳以上 6.5%、5-29 歳 6.3%となっています。

また、対歩行者は、55-59 歳 7.7%、60-64 歳 7.5%、65 歳以上 7.0%となり、55 歳以上の割合が高くなっています。

表 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
事故類型	追突	57.6	58.1	55.5	54.7	53.9	51.1	51.2	48.9	49.5	46.2	0.0	52.3
	出会い頭衝突	10.7	8.8	11.6	8.9	9.6	8.8	8.7	8.4	10.5	11.9	0.0	9.5
	正面衝突	1.5	1.7	1.3	0.9	1.1	1.1	1.4	1.7	1.2	1.4	0.0	1.3
	左折時衝突	4.4	4.3	5.0	5.2	5.7	7.4	7.3	6.8	5.3	5.8	0.0	6.0
	右折時衝突	4.6	6.3	4.1	5.3	4.7	5.4	4.5	5.3	5.6	6.5	0.0	5.2
	その他	15.1	16.0	15.0	17.9	18.0	19.4	19.4	19.6	19.1	19.9	0.0	18.3
	対歩行者	4.7	4.1	6.8	5.5	6.0	5.8	6.5	7.7	7.5	7.0	0.0	6.2
車両相互	車両単独	1.4	0.8	0.7	1.5	0.9	1.1	1.1	1.7	1.1	1.5	0.0	1.2
	列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

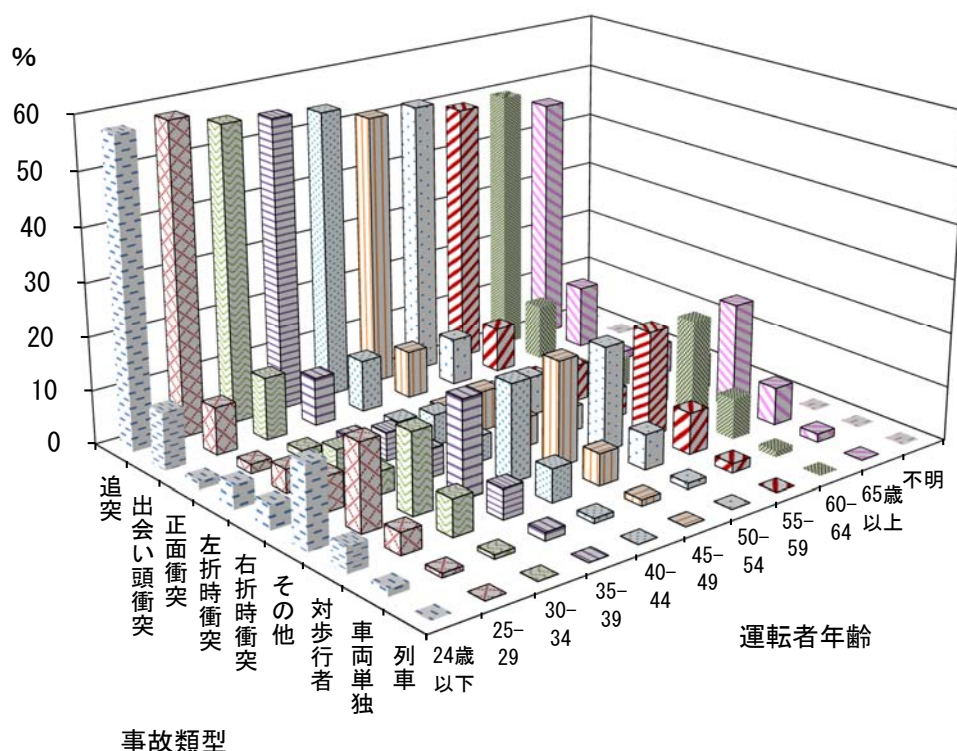


図 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別・第1当事者種別の死傷事故件数

平成28年の運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、45-49歳1,121件、40-44歳1,004件、50-54歳830件となっており、中型では、45-49歳1,063件、40-44歳997件、50-54歳754件で、普通では、24歳以下365件、40-45歳285件、45-49歳280件となっています。

表4-3 運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

第1当事者種別 \ 運転者年齢	24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
大型	78	243	413	602	1,004	1,121	830	610	479	329	0	5,709
中型	212	425	593	702	997	1,063	754	737	587	502	0	6,572
普通	365	220	204	203	285	280	219	195	172	176	0	2,319
合計	655	888	1,210	1,507	2,286	2,464	1,803	1,542	1,238	1,007	0	14,600

構成率でみると、大型は、50-54歳で46.0%、45-49歳で45.5%、40-44歳では43.9%と、40代から54歳以下での割合が高く、中型は、65歳以上で49.9%、30-34歳で49.0%、25-29歳で47.9%など、24歳以下を除いてどの年代でもほぼ半数を占めています。一方、普通は、24歳以下で55.7%、25-29歳で24.8%と、若年層の割合が高くなっています。

このように、第1当事者の種別によって、運転者の年齢層が異なっています。

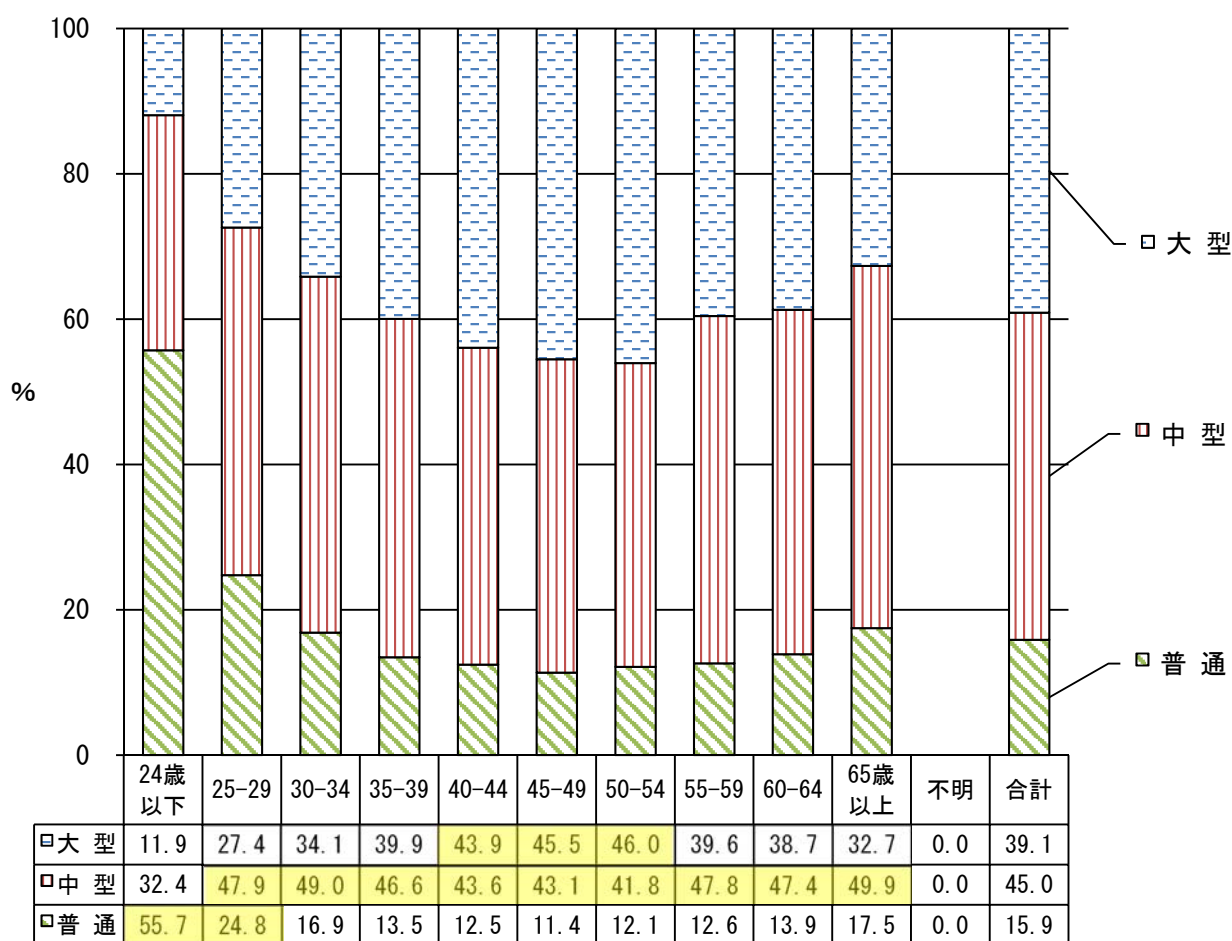


図4-3 運転者年齢別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（平成28年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

- ・運転者の年齢別の死傷事故件数は、平成 19 年から平成 22 年までの 4 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 23 年から平成 27 年までの 4 年間は 40-44 歳が、平成 28 年は 45-49 歳がそれぞれ最も高くなっており、運転者の年齢層が年々高くなっています。

表 4-4 運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

(件)										
年 運転者年齢	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
24歳以下	2,454	1,993	1,434	1,242	1,101	930	667	704	715	655
25-29歳	3,058	2,658	2,217	2,082	1,927	1,670	1,338	1,217	1,024	888
30-34歳	4,265	3,404	2,793	2,766	2,439	2,193	1,695	1,634	1,394	1,210
35-39歳	4,824	4,300	3,714	3,763	3,524	3,173	2,495	2,132	1,787	1,507
40-44歳	3,731	3,705	3,410	3,733	3,760	3,786	3,201	3,018	2,637	2,286
45-49歳	3,156	2,997	2,742	3,067	3,027	3,134	2,761	2,830	2,607	2,464
50-54歳	3,238	2,765	2,524	2,518	2,713	2,595	2,153	2,086	2,050	1,803
55-59歳	3,839	3,448	2,847	2,644	2,674	2,448	1,818	1,864	1,678	1,542
60-64歳	2,120	2,198	2,116	2,272	2,428	2,269	1,533	1,457	1,349	1,238
65歳以上	1,327	1,375	1,200	1,365	1,272	1,341	830	859	915	1,007
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	32,012	28,843	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、特に45-49歳は平成19年の9.9%から平成28年の16.9%と、10年間で7ポイント増加しています。

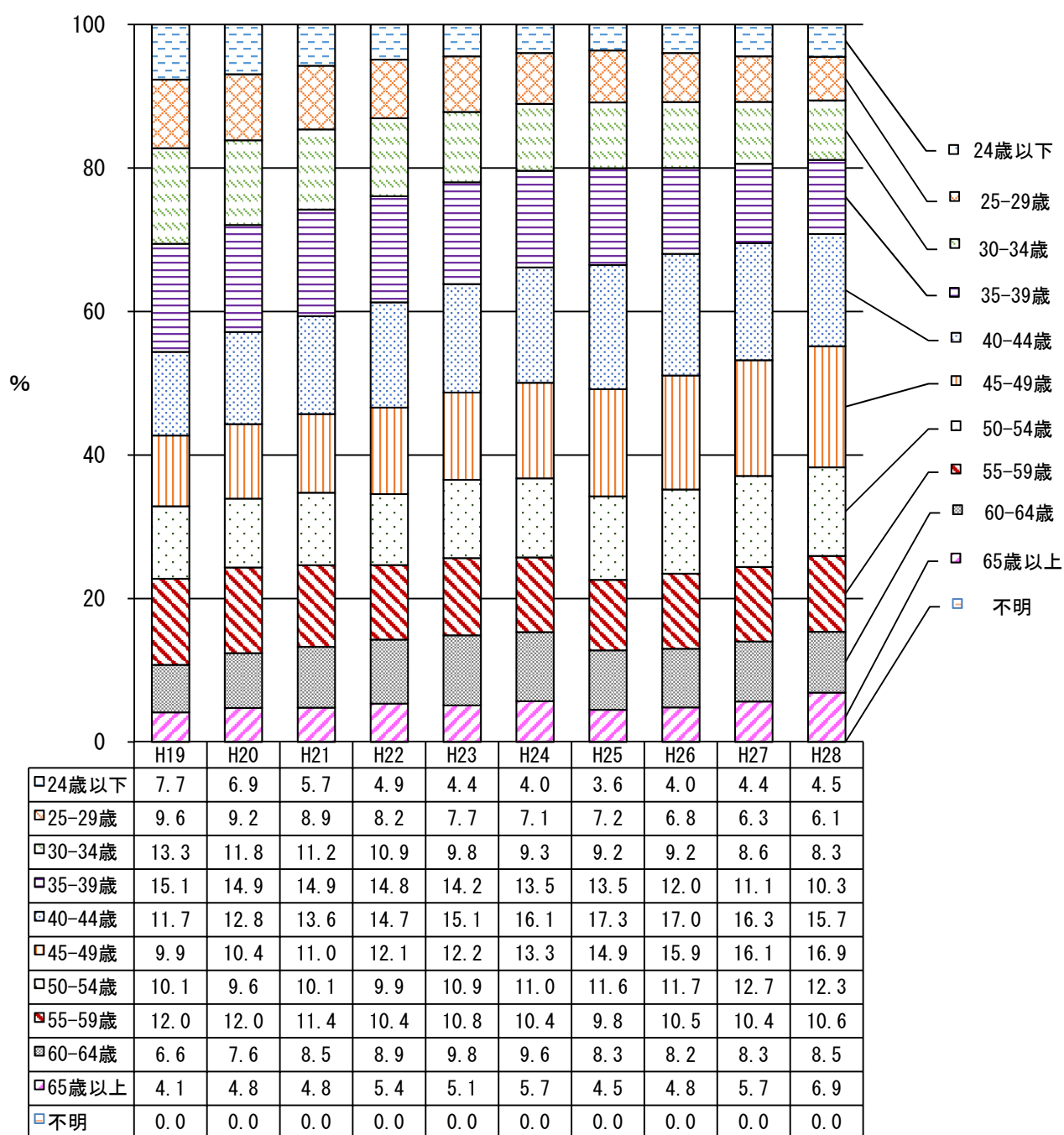


図 4-4 運転者年齢別死傷事故件数構成率の推移（平成 19-28 年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

- ・運転者の年齢別の死亡事故件数は、平成 19 年から平成 22 年までの 4 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 23 年から平成 28 年までの 5 年間は 40-44 歳及び 45-49 歳が多くなっています。また、65 歳以上は、平成 19 年の 12 件から平成 28 年には 20 件と増加しています。

表 4-5 運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

（件）

運転者年齢 \ 年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
24歳以下	24	16	16	14	7	12	10	9	8	9
25-29歳	57	37	30	22	27	21	24	16	18	9
30-34歳	84	56	42	45	33	44	29	36	27	19
35-39歳	92	70	70	72	65	49	45	29	36	20
40-44歳	60	54	62	69	57	76	60	65	51	48
45-49歳	58	50	58	53	43	52	63	53	51	43
50-54歳	52	60	36	39	50	40	40	48	40	39
55-59歳	58	51	43	42	40	37	23	28	31	31
60-64歳	34	22	25	32	29	39	36	29	32	20
65歳以上	12	17	15	16	16	18	19	17	14	20
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	531	433	397	404	367	388	349	330	308	258

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、40歳未満の年齢層は、平成19年の48.4%から平成28年の22.1%と、10年間で26.3ポイント減少し、逆に40歳以上はその分増加しています。

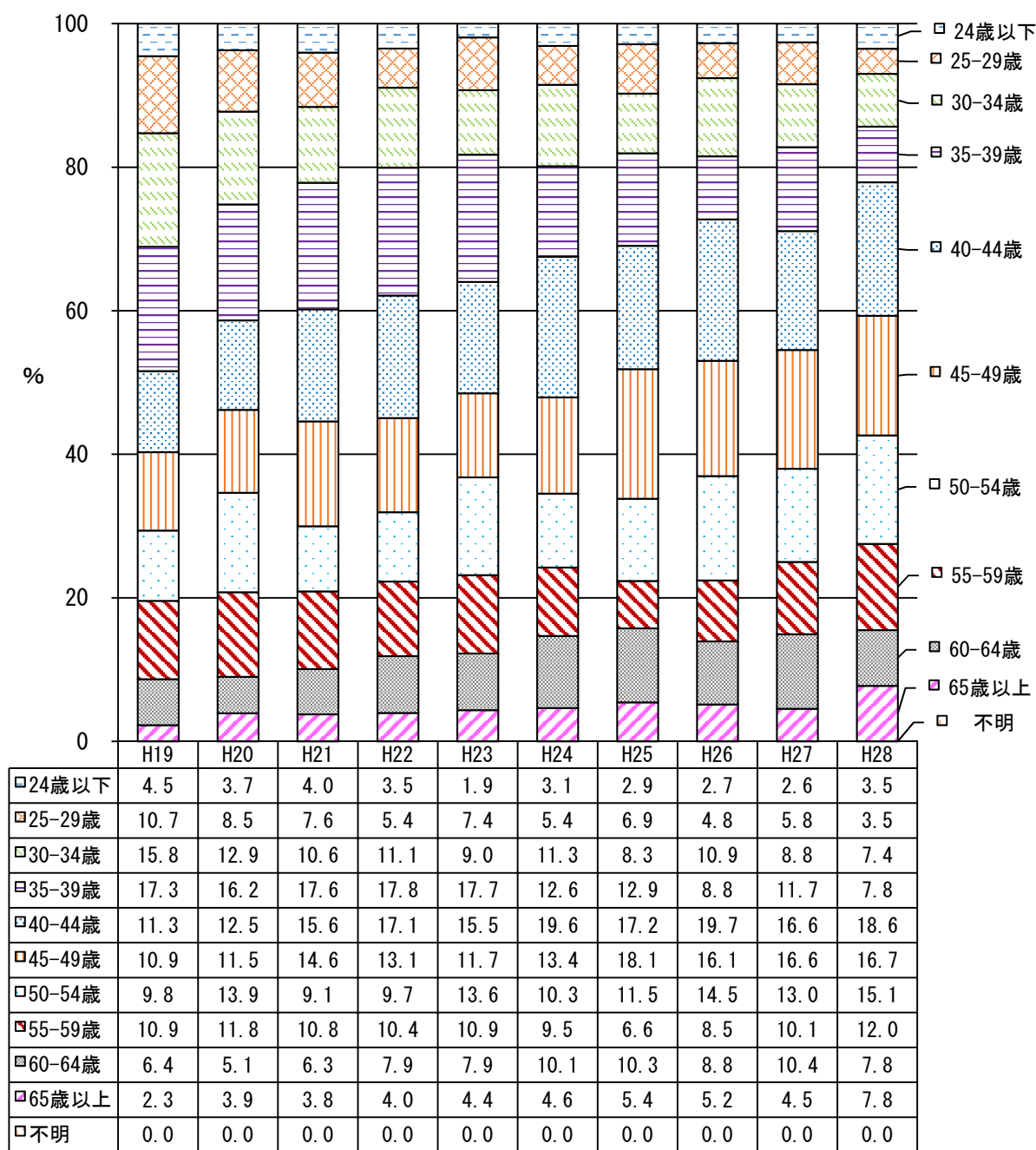


図 4-5 運転者年齢別死亡事故件数構成率の推移（平成19-28年）

5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

平成 28 年の時間帯別の死傷事故件数及び構成率は、10-11 時台 2,438 件（16.7%）、8-9 時台 2,395 件（16.4%）、12-13 時台 1,858 件（12.7%）となっています。

一方、死亡事故の件数及び構成率は、4-5 時台 44 件（17.1%）、10-11 時台 37 件（14.3%）、2-3 時台及び 8-9 時台各 26 件（10.1%）となっています。

また、死亡事故率（死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合）は、2-3 時台で 6.3%、4-5 時台で 6.0%、0-1 時台で 5.5%であり、死傷事故全体の死亡事故率（1.8%）と比較して、深夜・早朝の割合が高くなっています。

表 5-1 時間帯別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

事故種別 時間帯(2時間毎)	死傷事故		死亡事故		死亡事故率(%) (A/B)
	件数(B)(件)	構成率(%)	件数(A)(件)	構成率(%)	
0-1	436	3.0	24	9.3	5.5
2-3	416	2.8	26	10.1	6.3
4-5	739	5.1	44	17.1	6.0
6-7	1,643	11.3	19	7.4	1.2
8-9	2,395	16.4	26	10.1	1.1
10-11	2,438	16.7	37	14.3	1.5
12-13	1,858	12.7	14	5.4	0.8
14-15	1,730	11.8	16	6.2	0.9
16-17	1,257	8.6	14	5.4	1.1
18-19	745	5.1	11	4.3	1.5
20-21	469	3.2	10	3.9	2.1
22-23	474	3.2	17	6.6	3.6
合計	14,600	100	258	100	1.8

※ 死亡事故率＝死亡事故件数／死傷事故件数×100（小数点第 2 位切り捨て）

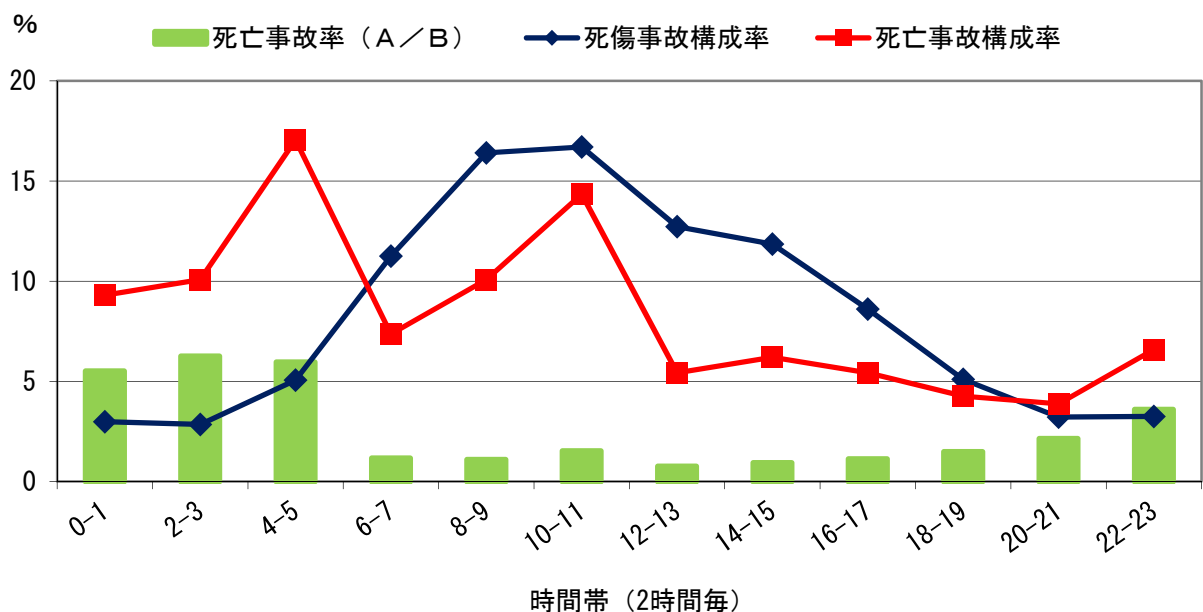


図 5-1 時間帯別死亡事故件数の構成率（平成 28 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

平成28年の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10-11時台 920件、8-9時台 892件、12-13時台 668件となっています。

同様に中型では、10-11時台 1,119件、8-9時台 1,081件、12-13時台 852件となっており、普通では、8-9時台 422件、10-11時台 399件、12-13時台 338件となっています。

表5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

													(件)
時間帯(2時間毎) 第1当事者種別	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合 計
大型	198	182	290	632	892	920	668	666	496	305	205	255	5,709
中型	200	201	364	786	1,081	1,119	852	751	519	303	211	185	6,572
普通	38	33	85	225	422	399	338	313	242	137	53	34	2,319
合計	436	416	739	1,643	2,395	2,438	1,858	1,730	1,257	745	469	474	14,600

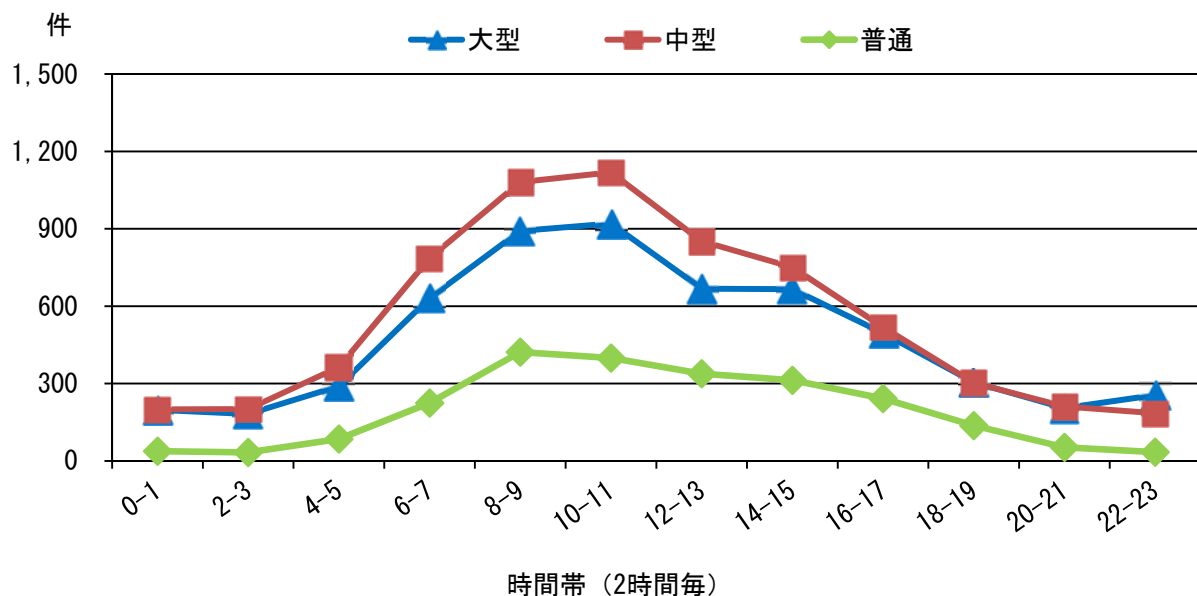


図5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

(3) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成28年）

平成28年の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、4-5時台、8-9時台及び10-11時台が各20件となっています。

同様に中型では、4-5時台21件、10-11時台15件、2-3時台及び22-23時台が各9件となっており、普通では、0-1時台及び4-5時台が各3件となっています。

表5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成28年）

時間帯(2時間毎) 第1当事者種別	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合 計
大型	13	16	20	13	20	20	9	7	12	4	8	8	150
中型	8	9	21	6	5	15	5	7	0	6	2	9	93
普通	3	1	3	0	1	2	0	2	2	1	0	0	15
合計	24	26	44	19	26	37	14	16	14	11	10	17	258

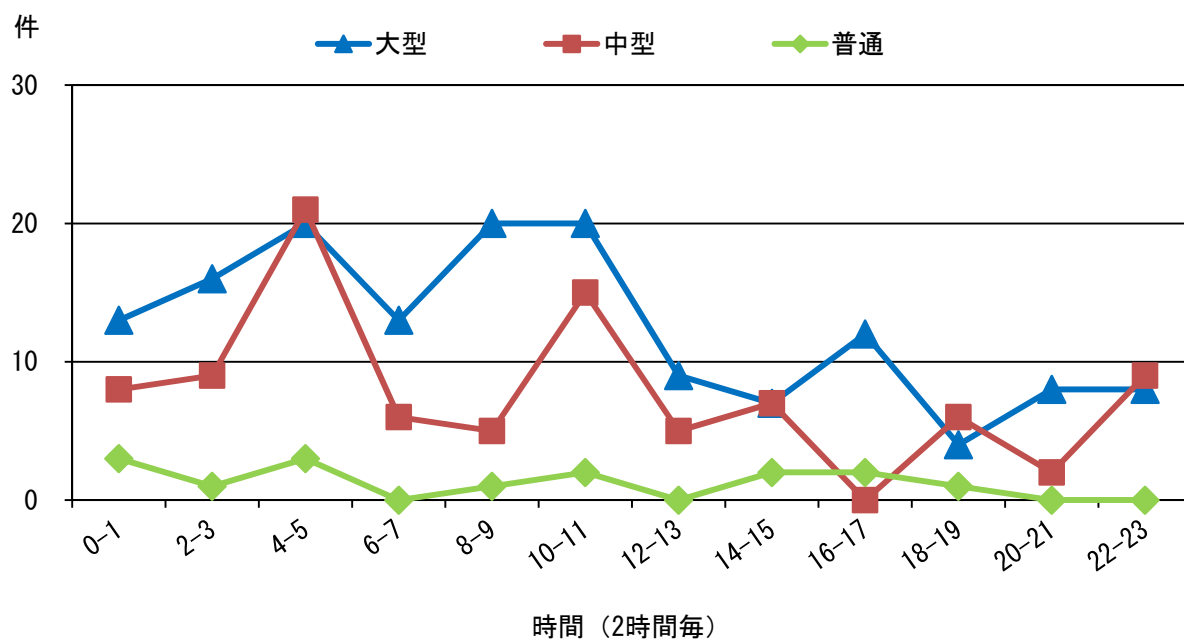


図5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成28年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

- ・時間帯別の死傷事故件数は、平成 19 年から平成 28 年までの 10 年間で、いずれも 10-11 時台が最も多くなっています。
- ・10-11 時台は、平成 19 年の 5,305 件から平成 28 年は 2,438 件となり、10 年間で 2,867 件（54.0%）減少しています。

表 5-4 時間帯別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

		(件)								
年 時間(2時間毎)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
0-1	927	790	697	701	713	652	560	554	488	436
2-3	1,029	833	679	827	753	720	657	595	561	416
4-5	1,512	1,350	1,121	1,132	1,179	1,140	942	893	818	739
6-7	3,086	2,742	2,283	2,515	2,414	2,392	2,036	1,952	1,770	1,643
8-9	4,898	4,487	3,840	3,808	3,732	3,531	2,848	2,797	2,601	2,395
10-11	5,305	4,776	4,260	4,191	4,060	3,779	3,000	2,882	2,639	2,438
12-13	4,127	3,792	3,363	3,343	3,239	3,036	2,443	2,303	2,049	1,858
14-15	4,036	3,606	3,168	3,121	3,086	2,931	2,265	2,092	1,891	1,730
16-17	3,141	2,784	2,393	2,484	2,398	2,343	1,577	1,647	1,429	1,257
18-19	1,878	1,803	1,580	1,581	1,530	1,459	959	955	923	745
20-21	1,137	997	906	956	939	880	628	581	536	469
22-23	936	883	707	793	822	676	576	550	451	474
合計	32,012	28,843	24,997	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、平成19年から平成28年の10年間、10-11時台が16%台で、8-9時台が15-16%の範囲で、いずれも推移しています。
- ・平成19年から平成28年の10年間では、16-17時台が9.8%から8.6%と1.2ポイント減少、14-15時台が12.6%から11.8%と0.8ポイント減少、18-19時台が5.9%から5.1%と0.8ポイント減少しています。
- ・一方で、6-7時台が9.6%から11.3%と1.7ポイント増加、8-9時台が15.3%から16.4%と1.1ポイント増加、4-5時台が4.7%から5.1%と0.4ポイント増加しています。

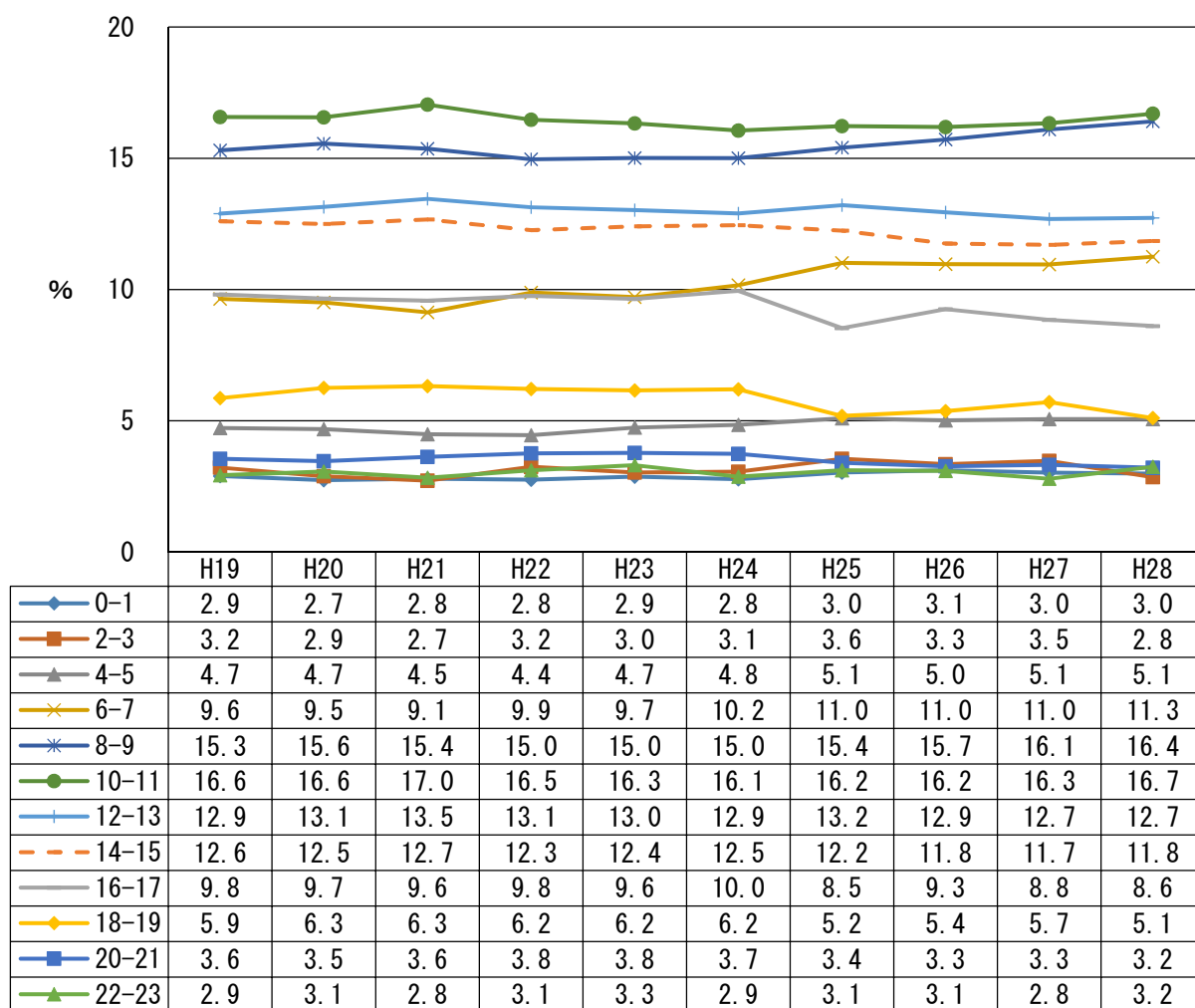


図5-4 時間帯別死傷事故件数構成率の推移（平成19-28年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

- ・時間帯別の死亡事故件数は、平成 19 年から平成 28 年の 10 年間で、いずれも 4-5 時台が最も多くなっています。
- ・4-5 時台は、平成 19 年の 77 件から平成 28 年には 44 件となり、10 年間で 33 件（42.8%）減少しています。

表 5-5 時間帯別死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

（件）

年 時間(2時間毎)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
0-1	39	39	34	37	43	34	42	31	33	24
2-3	65	43	37	46	36	53	42	37	41	26
4-5	77	55	61	54	54	67	52	47	43	44
6-7	53	28	33	32	31	23	21	24	25	19
8-9	41	39	39	31	39	24	23	33	27	26
10-11	37	52	49	45	42	43	30	27	28	37
12-13	59	22	36	30	25	26	28	28	20	14
14-15	35	38	23	31	31	27	22	23	19	16
16-17	38	31	19	26	22	20	20	25	20	14
18-19	29	27	17	10	9	22	19	15	15	11
20-21	23	29	19	25	17	21	21	19	19	10
22-23	35	30	30	37	18	28	29	21	18	17
合計	531	433	397	404	367	388	349	330	308	258

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、平成19年から平成28年までの10年間をとおして4-5時台の割合が常に最も高く、12%台から17%台の間で推移しています。
- ・平成19年から平成28年までの10年間をとおして、0時-5時の夜中から早朝時間帯の割合が概して高く、逆に16-21時の夕方から夜間時間帯の割合は概して低い傾向にあります。

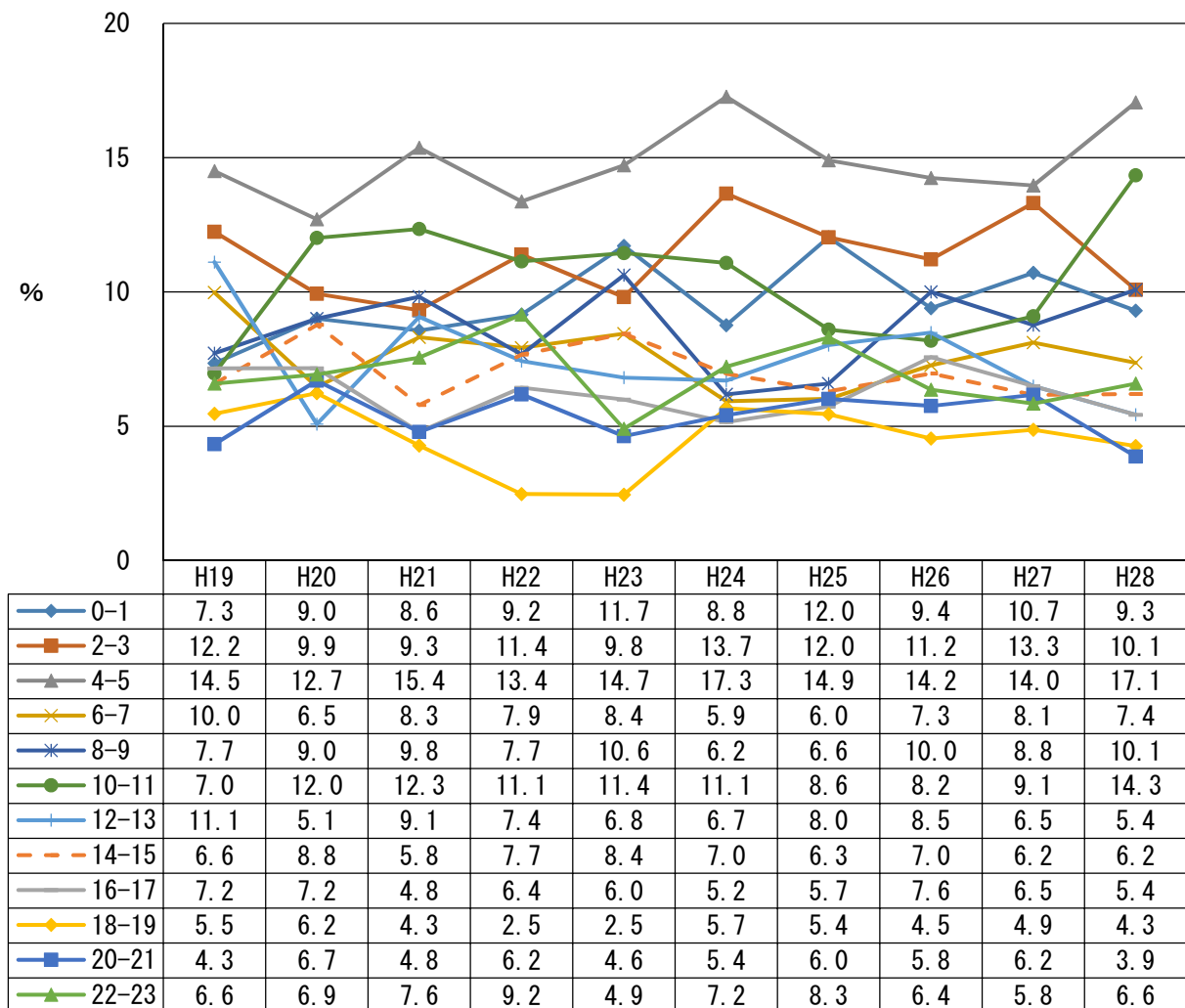


図5-5 時間帯別死亡事故件数構成率の推移（平成19-28年）

6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

平成28年の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10km/h以下が1,560件、41-50km/h以下が856件、31-40km/h以下が757件となっています。

一方、中型では、10km/h以下が1,928件、31-40km/h以下が1,039件、11-20km/h以下が1,036件となっており、普通では、10km/h以下が848件、11-21h以下が476件、31-40km/h以下が365件となっています。

表 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

速度 第1当事者種別		10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型		1,560	710	496	757	856	649	204	271	170	22	1	0	0	1	12	5,709
中型		1,928	1,036	769	1,039	883	542	148	102	50	56	11	0	0	0	8	6,572
普通		848	476	293	365	193	93	18	16	3	11	2	0	0	0	1	2,319
合計		4,336	2,222	1,558	2,161	1,932	1,284	370	389	223	89	14	0	0	1	21	14,600

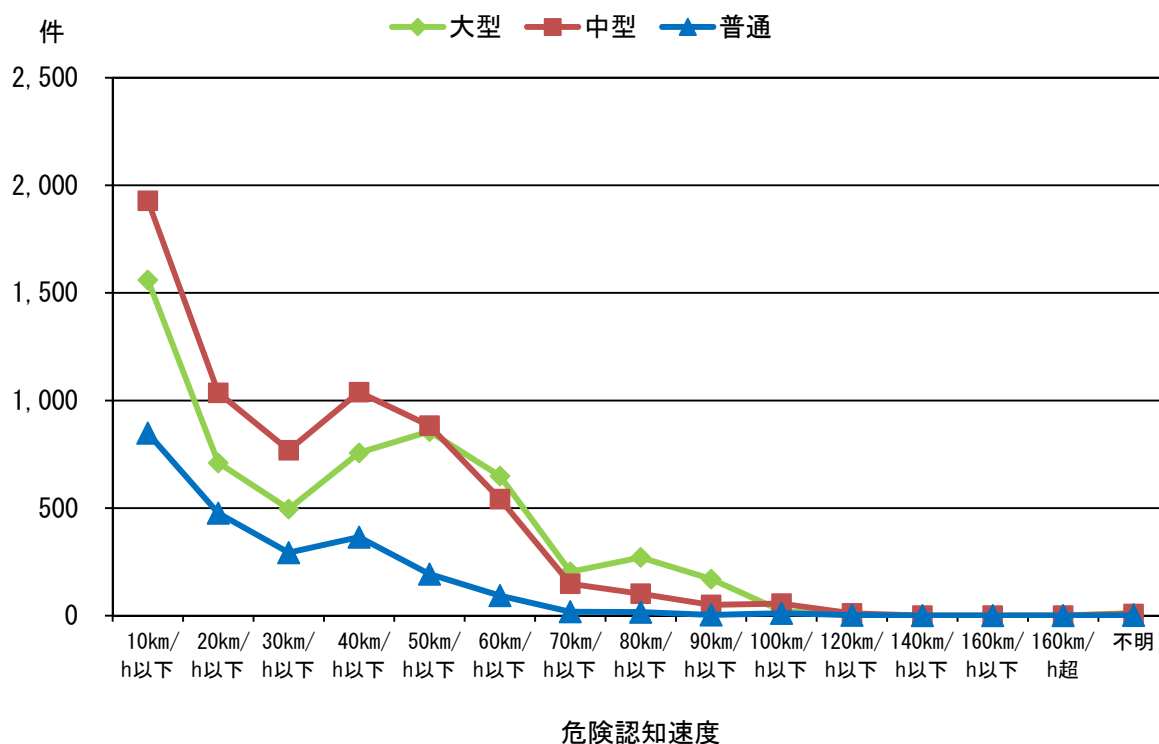


図 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

(2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成28年）

平成28年の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10km/h以下及び51-60km/h以下が各26件、11-20km/h以下が23件となっています。

一方、中型では、51-60km/hが23件、31-40km/h以下が16件、11-20km/hが12件となっており、普通では、61-70km/h及び41-50km/h以下が各3件となっています。

表 6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成28年）

(件)

危険認知速度 第1当事者種別	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	26	23	3	9	16	26	15	16	9	5	0	0	0	0	2	150
中型	8	12	6	16	7	23	7	7	3	2	1	0	0	0	1	93
普通	2	2	2	1	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	15
合計	36	37	11	26	26	51	25	23	12	7	1	0	0	0	3	258

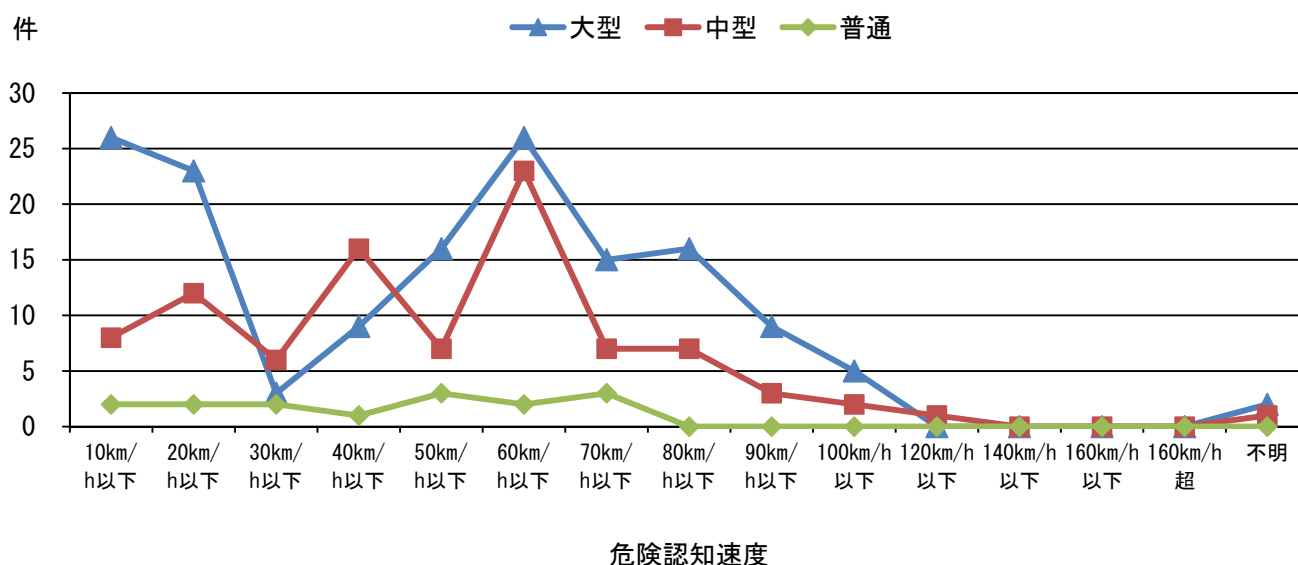


図 6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（平成28年）

(3) 事業用貨物自動車の危険認知速度別の死亡事故率（平成 28 年）

平成 28 年の危険認知速度別の死亡事故率は、100km/h以下では、100km/hが 7.9%、61-70km/hが 6.8%、71-80km/h以下が 5.9%であり、高速度における死亡率が高くなっています。

表 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（平成 28 年）

速度 事故種別	10km/h 以下	20km/h 以下	30km/h 以下	40km/h 以下	50km/h 以下	60km/h 以下	70km/h 以下	80km/h 以下	90km/h 以下	100km/h 以下	100km/h 超	不明	合計
死傷事故件数(件)	4,336	2,222	1,558	2,161	1,932	1,284	370	389	223	89	15	21	14,600
死亡事故件数(件)	36	37	11	26	26	51	25	23	12	7	1	3	258
死亡事故率(%)	0.8	1.7	0.7	1.2	1.3	4.0	6.8	5.9	5.4	7.9	6.7	14.3	1.8

※ 死亡事故率＝死亡事故件数／事故件数×100

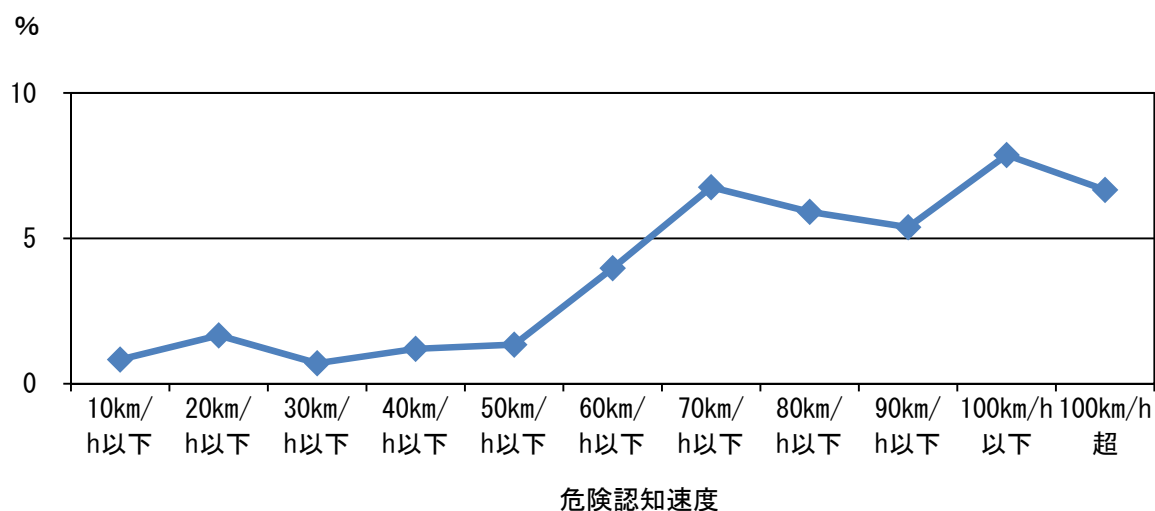


図 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（平成 28 年）

7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（平成 28 年）

平成 28 年の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数は、8-9 時台の 10km/h以下 311 件、10-11 時台の 10km/h以下 282 件、10-11 時台の 31-40km/h以下 270 件が比較的多い状況になっています。

表 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（平成 28 年）

(件)

時間（2時間毎） 危険認知速度	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	15	15	33	210	311	282	222	219	145	75	29	24	1,580
20km/h以下	10	9	31	113	150	160	126	113	78	42	13	8	853
30km/h以下	7	21	34	106	151	182	155	134	81	44	26	14	955
40km/h以下	32	30	62	163	243	270	227	173	112	71	40	33	1,456
50km/h以下	47	45	69	131	158	235	179	187	90	44	40	51	1,276
60km/h以下	37	33	56	83	101	140	117	93	58	33	35	46	832
70km/h以下	18	10	16	34	27	32	28	29	15	12	4	17	242
80km/h以下	17	21	18	17	12	30	18	20	23	6	9	23	214
90km/h以下	18	22	20	10	14	5	6	7	6	7	12	19	146
100km/h以下	8	8	13	7	5	4	5	4	1	0	4	5	64
120km/h以下	4	2	2	1	0	0	0	1	0	1	1	0	12
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	1	0	7
合計	213	216	356	876	1,173	1,340	1,083	982	609	335	214	240	7,637

構成率でみると、22-5 時台では 41-50km/h以下の割合が高く、6-19 時台では 10km/h以下の割合が高くなっています。

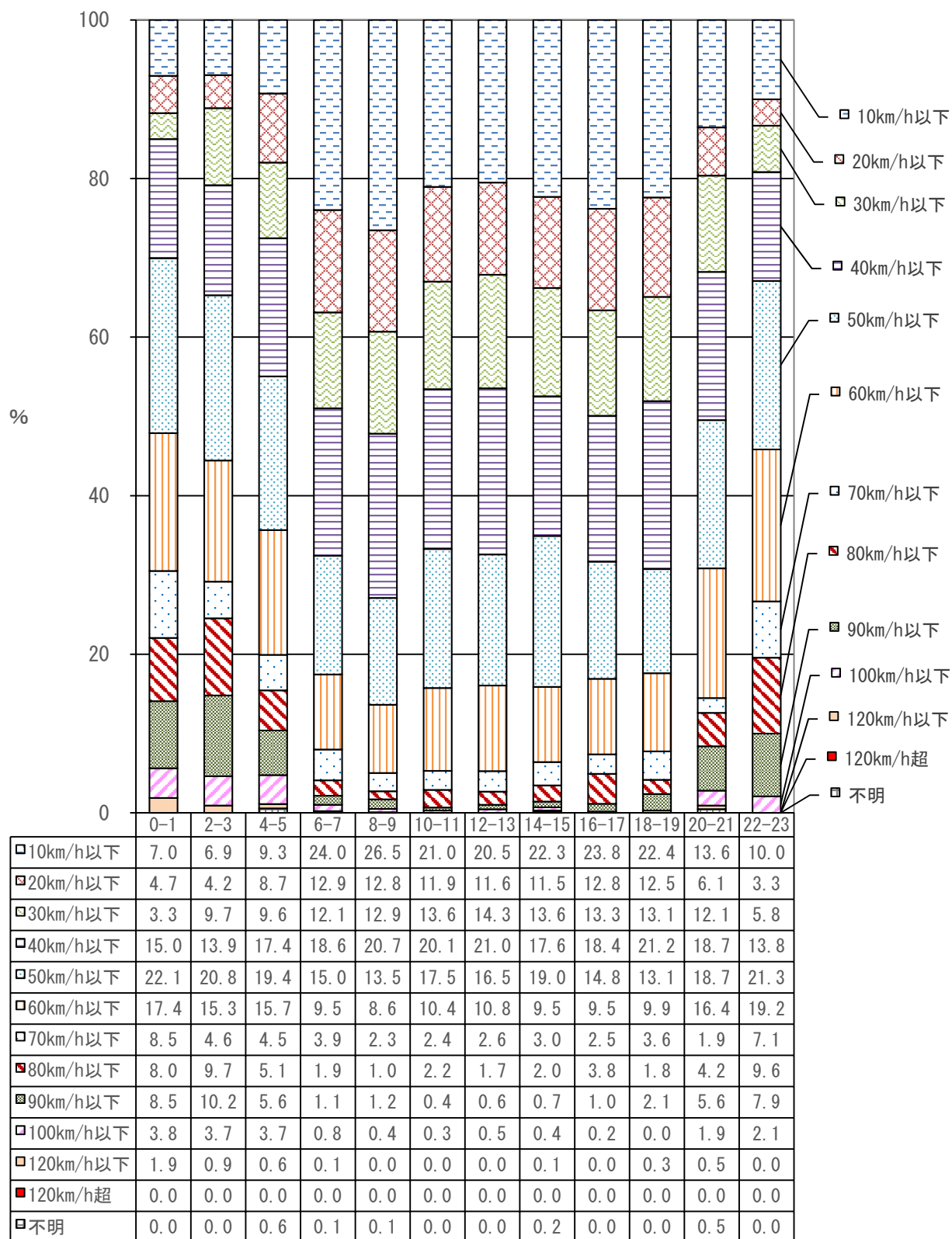


図 7-1 時間帯別・危険認知速度別追突死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 28 年）

平成 28 年の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数は、10-11 時台・71-80km/h以下の 3 件が最も多い状況になっています。

表 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 28 年）

													(件)
時間帯(2時間毎) 危険認知速度	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
20km/h以下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40km/h以下	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	6
50km/h以下	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	6
60km/h以下	2	0	1	0	0	2	2	0	1	0	1	0	9
70km/h以下	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	6
80km/h以下	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	5
90km/h以下	1	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	6
100km/h以下	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	5	1	7	3	3	9	5	2	1	1	4	3	44

構成率でみると、0-1 時台では 51-90km/h 以下（計 100%）に、4-5 時台では 31-70km/h 以下（計 71.5%）に、10-11 時台では 41-80km/h 以下（計 88.8%）に集中しており、死亡事故件数の多い時間帯は、高速度の割合が高くなっています。

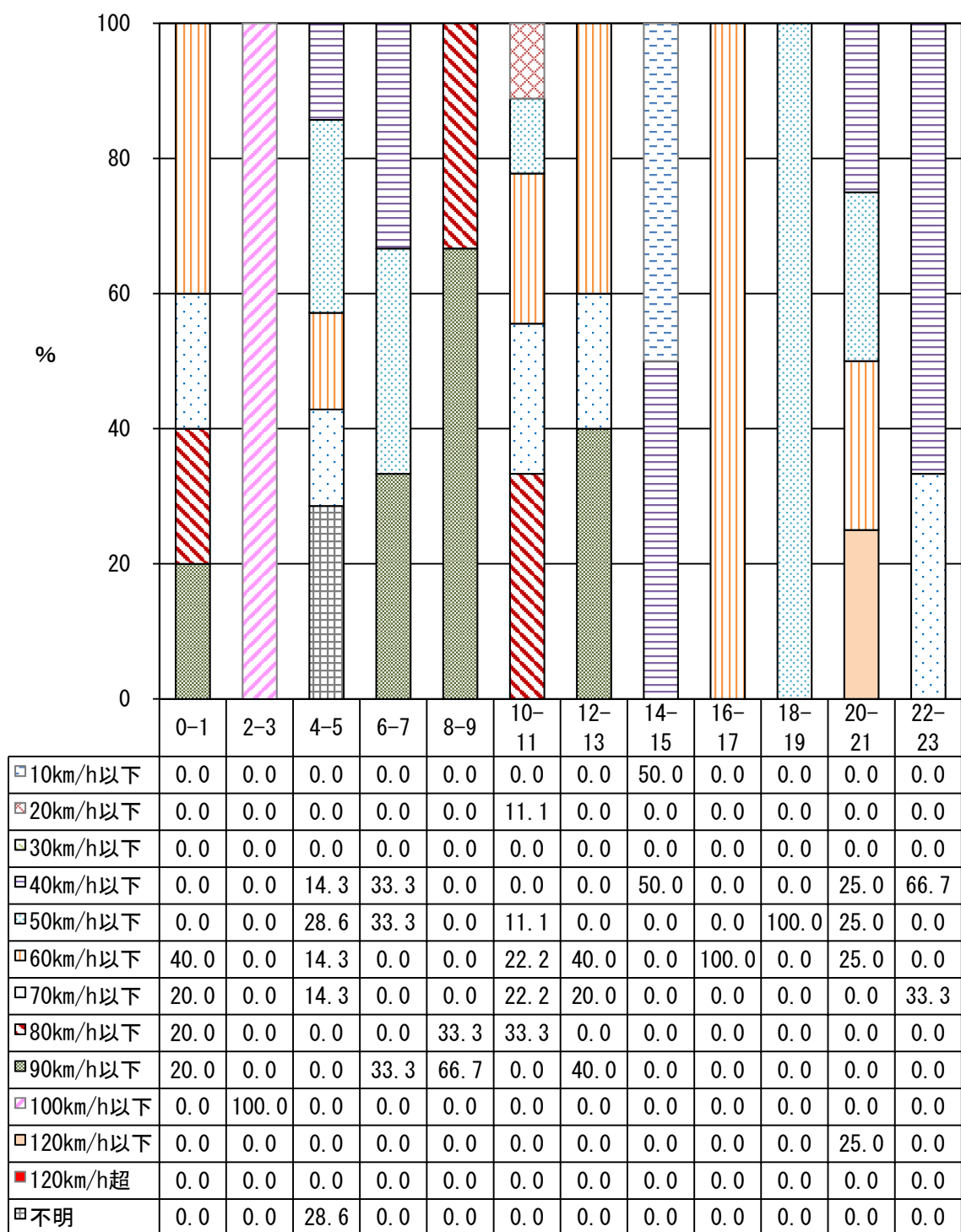


図 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成 28 年）

8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況

平成 28 年の行動類型別・第 1 当事者種別の死傷事故件数は、大型では、直進（等速）2,613 件、発進 727 件、直進（減速）461 件となっています。

一方、中型では、直進（等速）3,245 件、発進 741 件、直進（減速）661 件となっており、普通では、直進（等速）995 件、発進 319 件、直進（減速）241 件となっています。

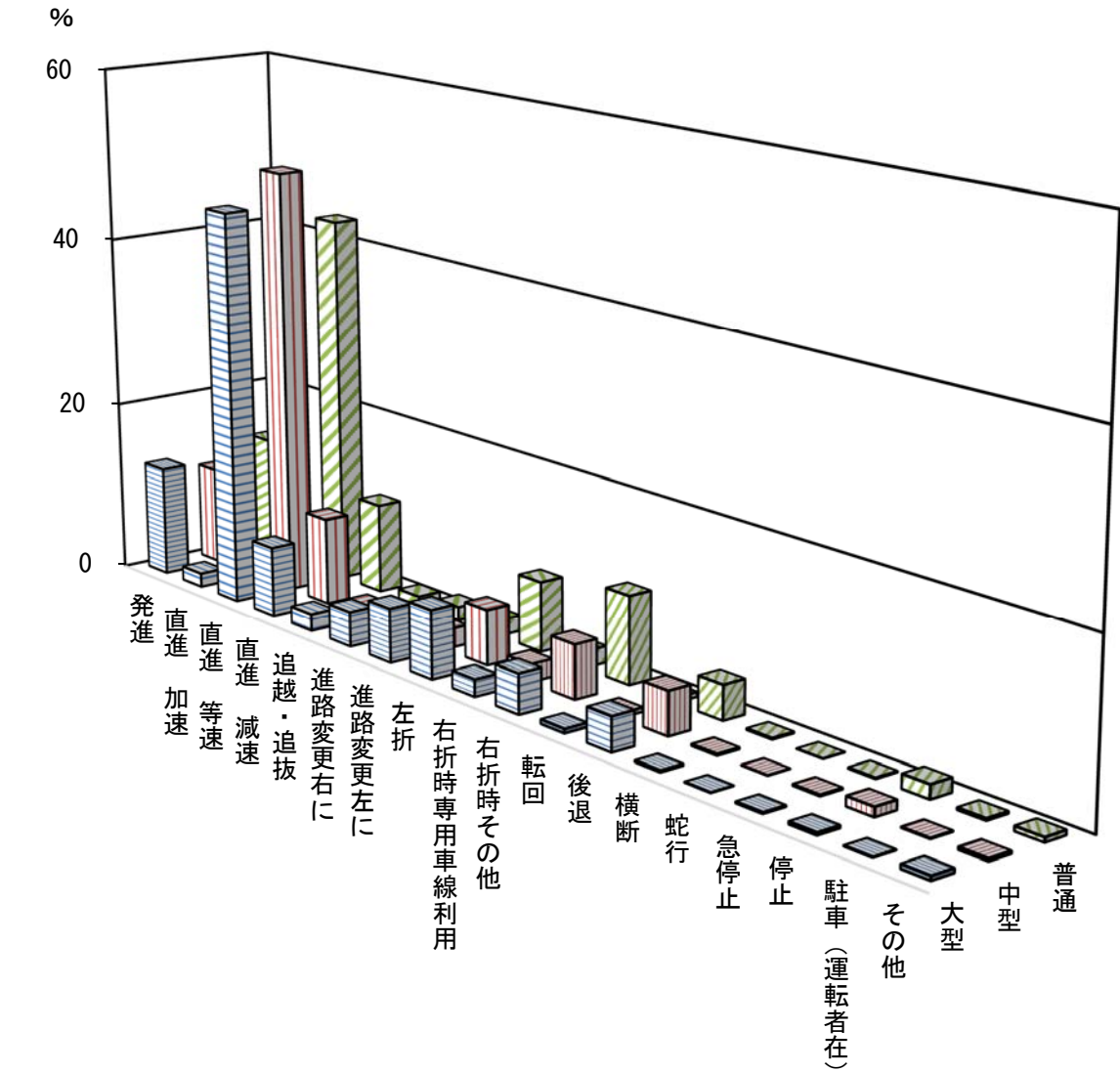
表 8 行動類型別・第 1 当事者種別の死傷事故件数（平成 28 年）

(件)

行動類型 第1当事者種別	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路変 更右に	進路変 更左に	左折	右折時 専用車 線利用	右折時 その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車（ 運転者 在）	その他	合計
大型	727	91	2,613	461	112	229	355	449	109	258	26	219	9	0	7	15	2	27	5,709
中型	741	125	3,245	661	87	151	144	418	132	403	31	323	11	0	8	70	4	18	6,572
普通	319	35	995	241	25	37	42	187	44	233	12	91	3	0	2	36	5	12	2,319
合計	1,787	251	6,853	1,363	224	417	541	1,054	285	894	69	633	23	0	17	121	11	57	14,600

構成率でみると、大型では、直進（等速）45.8%、発進 12.7%、直進（減速）8.1%、左折 7.9%進路変更（左に）6.2%となっています。

一方、中型では、直進（等速）49.4%、発進 11.3%、直進（減速）10.1%、左折 6.4%、右折（その他）6.1%となっており、普通では、直進（等速）42.9%、発進 13.8%、直進（減速）10.4%、右折（その他）10.0%、左折 8.1%となっています。



	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・追抜	進路変更 右に	進路変更 左に	左折	右折時専用車線利用	右折時その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車（運転者在）	その他
□大型	12.7	1.6	45.8	8.1	2.0	4.0	6.2	7.9	1.9	4.5	0.5	3.8	0.2	0.0	0.1	0.3	0.0	0.5
□中型	11.3	1.9	49.4	10.1	1.3	2.3	2.2	6.4	2.0	6.1	0.5	4.9	0.2	0.0	0.1	1.1	0.1	0.3
□普通	13.8	1.5	42.9	10.4	1.1	1.6	1.8	8.1	1.9	10.0	0.5	3.9	0.1	0.0	0.1	1.6	0.2	0.5

図 8 行動類型別・第 1 当事者種別の死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況

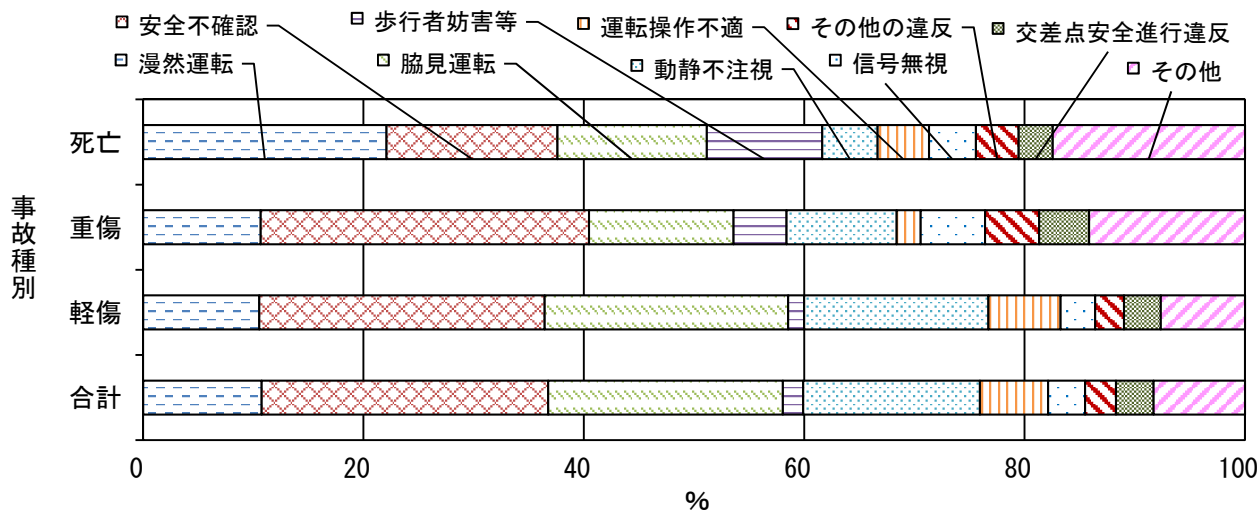
平成 28 年の法令違反（事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反）別の死傷事故件数及び構成率は、全体では、安全不確認 3,797 件（26.0%）、脇見運転 3,110 件（21.3%）、動静不注視 2,340 件（16.0%）となっています。

一方、死亡事故では、漫然運転 57 件（22.1%）、安全不確認 40 件（15.5%）、脇見運転 35 件（13.6%）となっています。

また、重傷事故では、安全不確認 316 件（29.8%）、脇見運転 139 件（13.1%）、動静不注視 106 件（10.0%）となっており、軽傷事故では、安全不確認 3,441 件（25.9%）、脇見運転 2,936 件（22.1%）、動静不注視 2,221 件（16.7%）となっています。

表 9-1 法令違反別の死傷事故件数及び構成率（平成 28 年）

事故類型		死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合 計	
		件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)
法令違反									
信号無視		11	4.3	62	5.8	417	3.1	490	3.4
通行区分違反		7	2.7	10	0.9	58	0.4	75	0.5
最高速度違反		7	2.7	9	0.8	25	0.2	41	0.3
横断・転回等違反		5	1.9	9	0.8	54	0.4	68	0.5
車間距離不保持		1	0.4	2	0.2	73	0.5	76	0.5
追越し禁止違反		1	0.4	16	1.5	79	0.6	96	0.7
踏切不停止		0	0.0	0	0.0	2	0.0	2	0.0
右折違反		0	0.0	7	0.7	36	0.3	43	0.3
左折違反		1	0.4	9	0.8	55	0.4	65	0.4
優先通行妨害		5	1.9	21	2.0	105	0.8	131	0.9
交差点安全進行違反		8	3.1	48	4.5	443	3.3	499	3.4
歩行者妨害等		27	10.5	51	4.8	193	1.5	271	1.9
徐行違反		0	0.0	4	0.4	30	0.2	34	0.2
一時不停止		1	0.4	17	1.6	146	1.1	164	1.1
整備不良		0	0.0	1	0.1	12	0.1	13	0.1
酒酔い運転		0	0.0	0	0.0	2	0.0	2	0.0
過労等	薬物運転	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	過労運転	5	1.9	3	0.3	8	0.1	16	0.1
安全運転義務違反	運転操作不適	12	4.7	23	2.2	870	6.6	905	6.2
	漫然運転	57	22.1	113	10.7	1399	10.5	1569	10.7
	脇見運転	35	13.6	139	13.1	2936	22.1	3110	21.3
	動静不注視	13	5.0	106	10.0	2221	16.7	2340	16.0
	安全不確認	40	15.5	316	29.8	3441	25.9	3797	26.0
	安全速度違反	6	2.3	16	1.5	69	0.5	91	0.6
	その他	2	0.8	19	1.8	240	1.8	261	1.8
その他の違反		10	3.9	52	4.9	347	2.6	409	2.8
不 明		4	1.6	7	0.7	21	0.2	32	0.2
合 計		258	100.0	1060	100.0	13282	100.0	14600	100.0



※ 構成率については、死亡事故件数の多い9項目及びその他とする。

図 9-1 法令違反別死傷事故件数の構成率 (平成 28 年)

(参考)

主な用語の意味

用 語	意 味
漫 然 運 転	脇見運転ではないが、運転中に“運転以外のことを考えていた”、“ぼんやりしていた”、“ラジオ放送に聞き入っていた”等のために注意の的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
脇 見 運 転	風景、案内標識、他車や歩行者等の動静を見ていた等、前方の交通環境を認識せず運転し、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動 静 不 注 視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り、事故を発生させた場合等をいいます。
安 全 不 確 認	前方、後方、側方の確認が可能な速度に減速したが、確認を十分に行われなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。

参 考

事業用貨物自動車の主な法令違反別死亡事故の推移（平成 19-28 年）

- ・死亡事故において多い法令違反 3 項目では、漫然運転は、平成 19 年の 102 件から平成 28 年には 57 件となり、10 年間で 45 件（44.1%）減少しています。
- ・脇見運転は、平成 19 年の 89 件から平成 28 年には 35 件となり、10 年間で 54 件（60.6%）減少しています。
- ・安全不確認は、平成 19 年の 87 件から平成 28 年には 40 件となり、10 年間で 47 件（54.0%）減少しています。

表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移（平成 19-28 年）

	(件)									
年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
法令違反										
漫然運転	102	70	72	103	76	77	88	78	63	57
脇見運転	89	85	59	74	63	75	56	51	55	35
安全不確認	87	62	56	53	50	48	50	40	49	40
合計	531	433	397	404	367	388	349	330	308	258

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、漫然運転は、平成 19 年の 15.0%から平成 28 年には 20.5%となり、5.5 ポイントの増加、脇見運転は、平成 19 年 18.7%から平成 28 年には 17.9%となり、0.8 ポイントの減少、さらに、安全不確認は、平成 19 年の 12.7%から平成 28 年には 15.9%となり、3.2 ポイントの増加となっています。

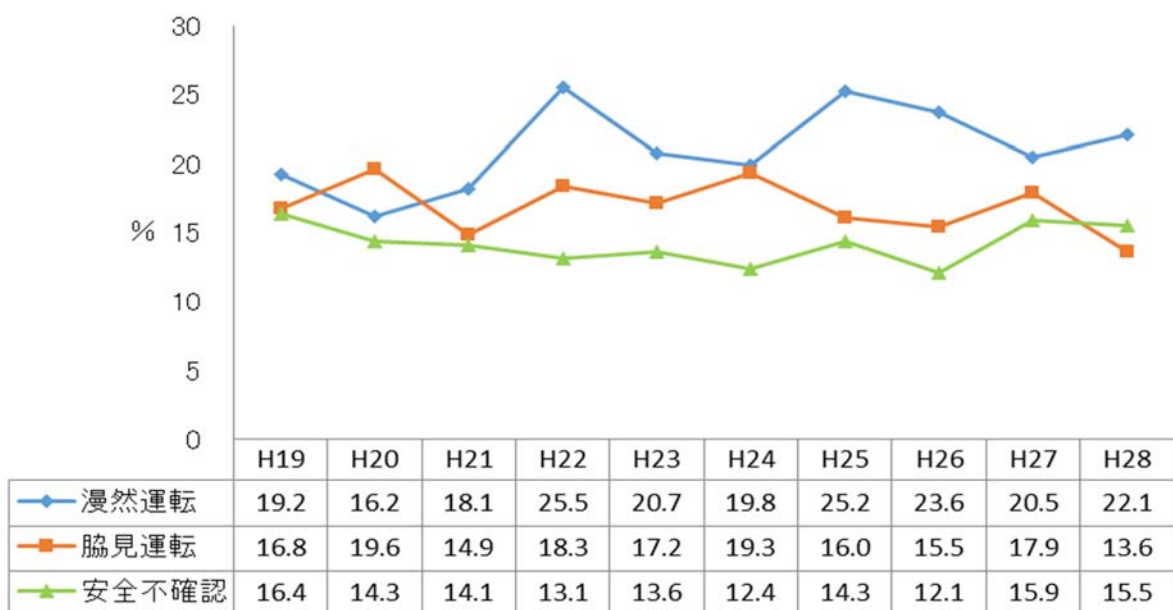


図 9-2 法令違反別死亡事故件数構成率の推移（平成 19-28 年）

10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数（平成 28 年）

平成 28 年の飲酒運転による死傷事故は 37 件で、うち、死亡事故 1 件（2.7%）、重傷事故 5 件（13.5%）、軽傷事故 31 件（83.8%）となっています。

飲酒基準別では、酒酔い 3 件、酒気帯び 0.25 以上 23 件、酒気帯び 0.25 未満 5 件、基準以下 6 件となり、酒酔いと酒気帯び 0.25 以上を合わせると全体の 70.3%を占めています。

表 10-1 飲酒運転による死傷事故件数及び構成率（平成 28 年）

飲酒基準 事故内容	酒酔い	酒気帯び (0.25以上)	酒気帯び (0.25未満)	基準 以下	検知 不能	合計	構成率(%)	(参考)	
								飲酒なし等	
死亡(件)	0	1	0	0	0	1	2.7	件数	構成率(%)
重傷(件)	0	3	2	0	0	5	13.5	257	1.8
軽傷(件)	3	19	3	6	0	31	83.8	1,055	7.2
合計	3	23	5	6	0	37	100.0	13,251	91.0
構成率(%)	8.1	62.2	13.5	16.2	0.0	100.0		14,563	100.0

※ 「酒気帯び」欄の数値は、呼気中のアルコール濃度（mg/l）を示す。

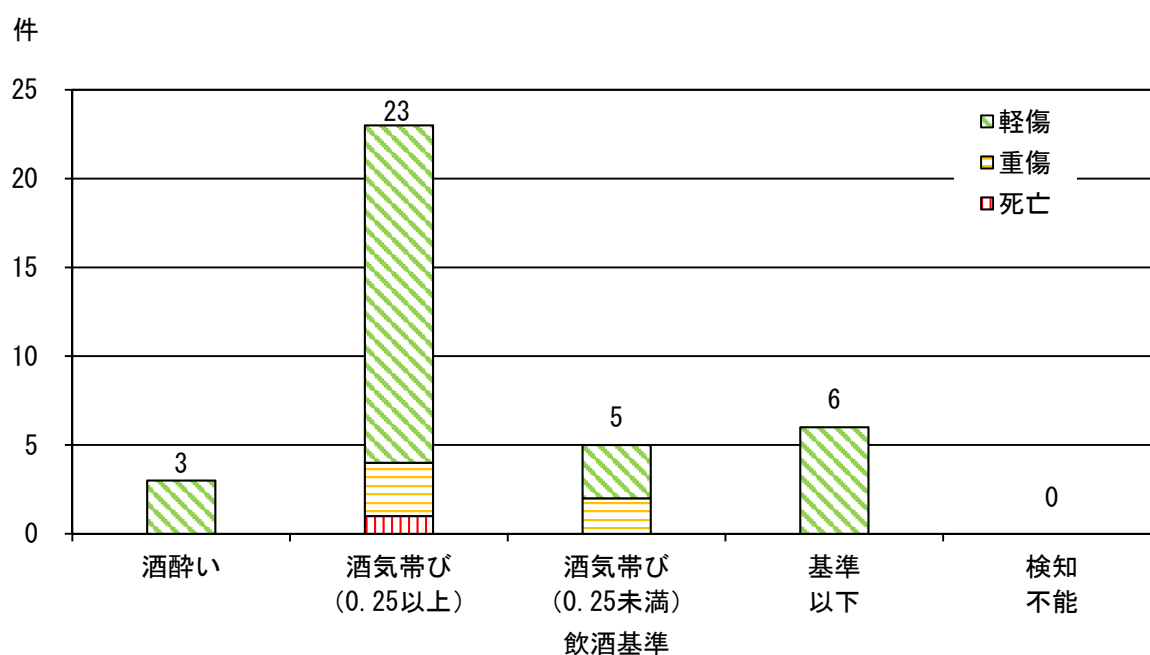


図 10-1 飲酒運転による死傷事故件数（平成 28 年）

(2) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

飲酒運転事故による死傷事故件数は、平成 19 年の 97 件から平成 28 年には 37 件となり、10 年間で見ると 60 件（37.7%）減少しています。

しかしながら、平成 24 年からの 5 年間では 13 件（54.1%）増加しており、平成 26 年からの 3 年間では 7 件（23.3%）増加しています。

表 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

		(件)									
飲酒基準	年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
酒酔い		2	1	1	1	0	3	2	3	3	3
酒気帯び(0.25以上)		45	24	28	22	14	8	15	15	14	23
酒気帯び(0.25未満)		18	14	12	7	6	3	7	3	4	5
基準以下		19	22	12	4	14	10	8	8	12	6
検知不能		13	0	5	0	1	0	0	1	0	0
合計		97	61	58	34	35	24	32	30	33	37

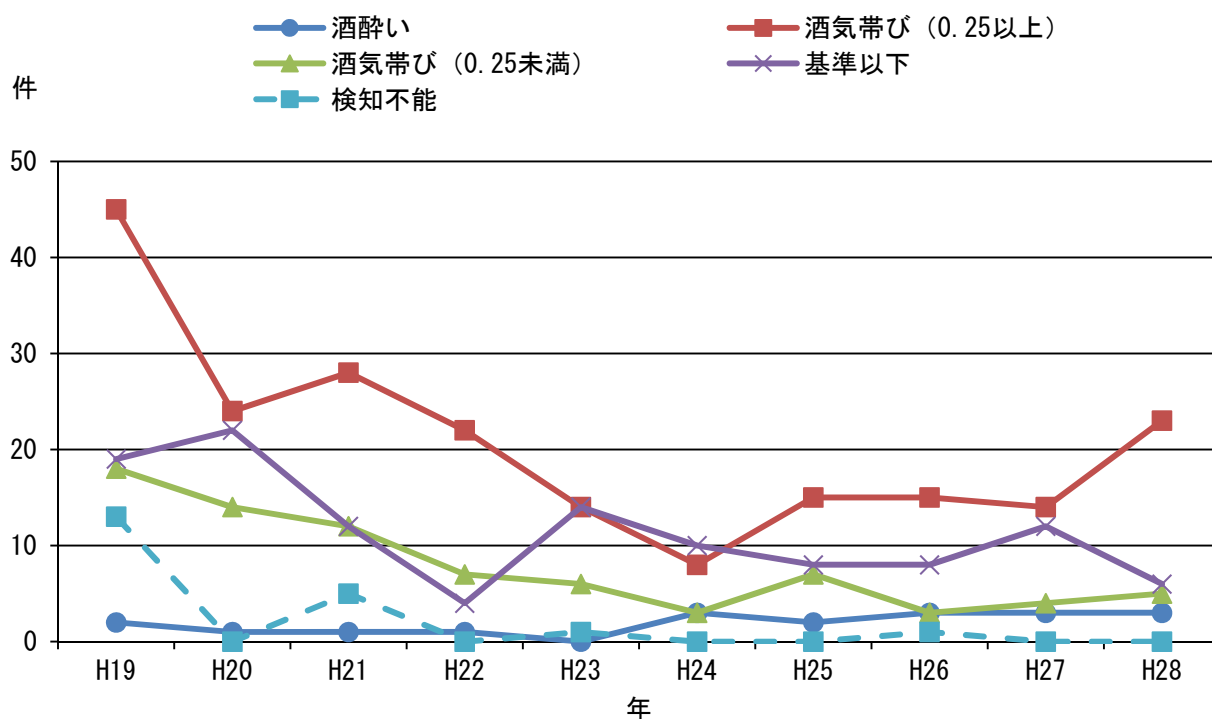


図 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

(3) 事業用貨物自動車の管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移

管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数は、平成19年から28年までの10年間の合計で、大阪47件、東京31件、福岡25件、千葉23件、愛知及び兵庫各20件、埼玉17件、北海道16件、神奈川及び広島各15件、静岡13件、茨城12件、栃木、岡山及び奈良各10件となっています。

表 10-3 管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成19-28年）

年 車籍	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H19-28
北海道	2	1	2	2	1	1	2	1	3	1	16
宮 城	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
福 島	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	6
岩 手	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
青 森	3	0	1	0	0	0	1	0	0	1	6
山 形	0	2	0	1	2	0	1	0	0	0	6
秋 田	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
新 潟	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	5
長 野	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	6
石 川	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	7
富 山	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
東 京	5	3	6	5	1	3	2	3	0	3	31
神奈川	5	1	1	0	2	0	1	1	3	1	15
千 葉	7	4	2	2	1	1	0	3	2	1	23
埼 玉	5	2	1	2	2	2	1	1	1	0	17
茨 城	4	2	1	0	1	0	2	0	1	1	12
群 馬	2	2	2	1	1	0	0	0	0	1	9
栃 木	1	2	1	0	1	1	1	0	1	2	10
山 梨	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
愛 知	5	3	3	1	2	3	1	1	1	0	20
静 岡	2	1	1	0	1	0	2	0	1	5	13
岐 阜	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	5
三 重	2	1	2	0	0	2	0	0	0	2	9
福 井	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大 阪	11	4	8	4	3	2	7	3	2	3	47
京 都	1	0	2	2	0	0	0	1	0	2	8
兵 庫	3	4	1	3	1	0	1	3	3	1	20
滋 賀	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
奈 良	2	1	2	0	1	1	1	2	0	0	10
和歌山	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	6
広 島	3	4	2	1	2	0	1	2	0	0	15
鳥 取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島 根	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
岡 山	3	2	0	0	1	1	0	2	0	1	10
山 口	3	1	0	1	0	0	0	2	0	0	7
高 松	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	4
徳 島	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4
愛 媛	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	5
高 知	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福 岡	6	3	3	3	1	1	0	1	4	3	25
佐 賀	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	6
長 崎	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	4
熊 本	0	2	3	1	1	1	0	0	0	0	8
大 分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
宮 崎	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	4
鹿児島	0	2	1	0	1	0	0	0	1	1	6
沖 縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	5	1	2	1	1	1	1	0	1	0	13
合 計	97	61	58	34	35	24	32	30	33	37	441

10年間の合計が10件以上の都道府県

1年間の事故件数が3件以上

11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況

整備不良違反による第1当事者種別の死傷事故件数は、平成27年に4件と一旦減少したものの、平成28年は13件に逆転しており、10年間をとおして変動が大きい状況です。

第1当事者種別でみると大型の事故件数が多く、10年間のうち5回、10件を超えています。

また、普通では、平成25年の1件を除いて平成22年以降はいずれの年も0件で、10年間をとおしても比較的少ない状況です。

※ 「整備不良違反」とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

表11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成19-28年）

(件)

第1当事者種別 \ 年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
大型	6	9	11	12	5	11	11	9	3	12
中型	2	2	3	2	4	1	2	1	1	1
普通	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0
合計	8	12	16	14	9	12	14	10	4	13

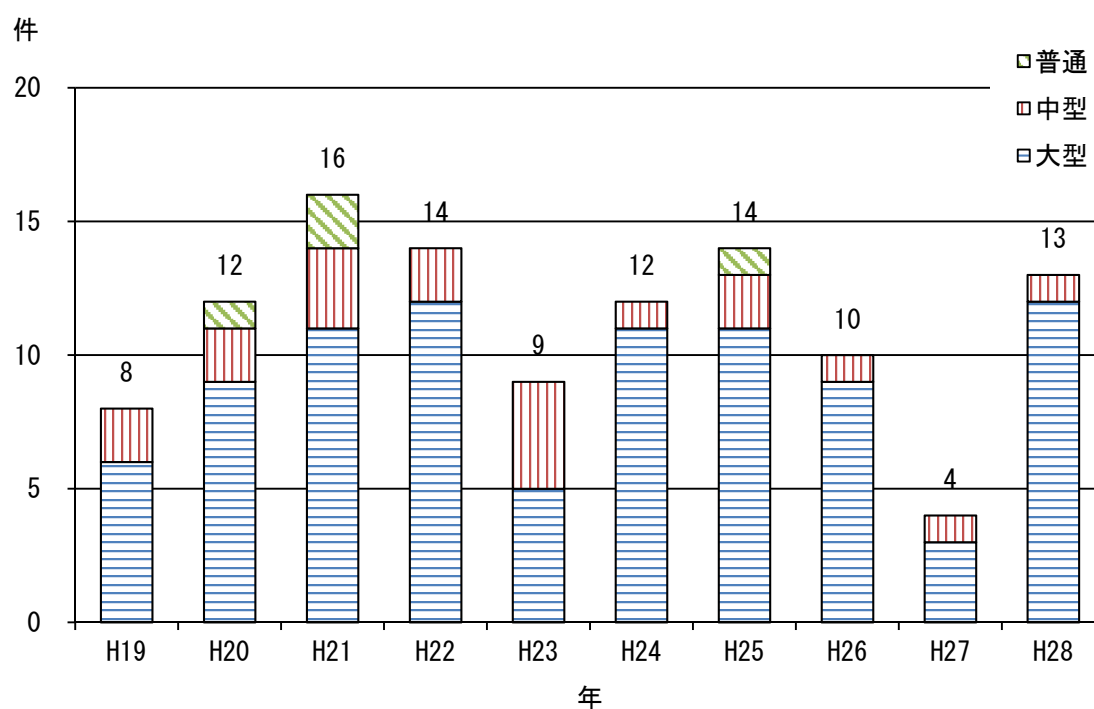


図11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成19-28年）

12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況

平成 28 年の車両的要因による死傷事故件数は 66 件で、内訳は大型 45 件、中型 19 件、普通 2 件となっています。

整備不良による死傷事故の要因別件数は、大型では、タイヤ不良 13 件、制動装置不良 8 件で、中型では、タイヤ不良 4 件、制動装置不良 3 件、普通は 0 件となっています。

同様に、状態的不良のある死傷事故の要因別件数は、大型では、荷崩れ 13 件、積み荷の車外はみ出し 2 件で、中型では、荷崩れ 3 件、積み荷の車外はみ出し 2 件、さらに普通では、荷崩れ 2 件となっています。

このように車両的要因別のある事故では、タイヤの不良と荷崩れが多くなっています。

※ 「車両的要因」とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的な不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人的要因を誘発した場合を含む。

表 12 車両的要因別の死傷事故件数（平成 28 年）

			(件)			
車両的要因			大型	中型	普通	合計
整備不良	制動装置不良		8	3	0	11
	かじ取り装置不良		0	0	0	0
	タイヤ不良		13	4	0	17
	車輪不良		1	1	0	2
	灯火不良		0	0	0	0
	エンジン故障		0	0	0	0
	変速機不良・故障		0	0	0	0
	燃料・潤滑装置不良		0	0	0	0
	フロントガラス等不良		0	0	0	0
	ミラー調整不良、破損、欠落		0	0	0	0
	不良改造(オーバーフェンダ等)		0	0	0	0
	その他車両等の構造・装置等の整備不良		2	0	0	2
	小計		24	8	0	32
状態的不良	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	0	0	0	0
		ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかったなどのため相手の発見が遅れた	0	0	0	0
		車室内の飾り物が視界に影響した	0	1	0	1
		車室内の同乗者が視界、操作に影響した	0	0	0	0
		車室内の荷物が視界、操作に影響した	0	2	0	2
		計	0	3	0	3
	積荷の状態	過積載が制動距離に影響した	0	0	0	0
		過積載が車両の安全性に影響した	0	0	0	0
		荷くずれ	13	3	2	18
		積み荷等の車外はみ出し	3	2	0	5
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0
		計	16	5	2	23
	灯火の状態	前照灯不点火	0	0	0	0
		駐車灯不点火(尾灯、非常点滅を含む)	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影響	0	1	0	1
		計	0	1	0	1
	小計		16	9	2	27
	その他の車両的要因		5	2	0	7
	合計		45	19	2	66

13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数 (平成28年)

平成28年の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数は、いずれの種別においても10年以上の年数の運転者が多く、大型で5,129件、中型で5,675件、普通で1,633件となっています。

表13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数（平成28年）

										(件)
運転免許経過年数 第1当事者種別	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他	合 計
大型	23	27	41	34	73	379	5,129	3	0	5,709
中型	24	57	72	65	113	562	5,675	4	0	6,572
普通	58	132	91	63	81	259	1,633	2	0	2,319
合計	105	216	204	162	267	1,200	12,437	9	0	14,600

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してから経過年数をいう。

構成率でみると、大型では、10年以上89.8%、5年以上10年未満6.6%となっています。一方、中型では、10年以上86.4%、5年以上10年未満8.6%となっており、普通では、10年以上70.4%、5年以上10年未満11.2%となっています。

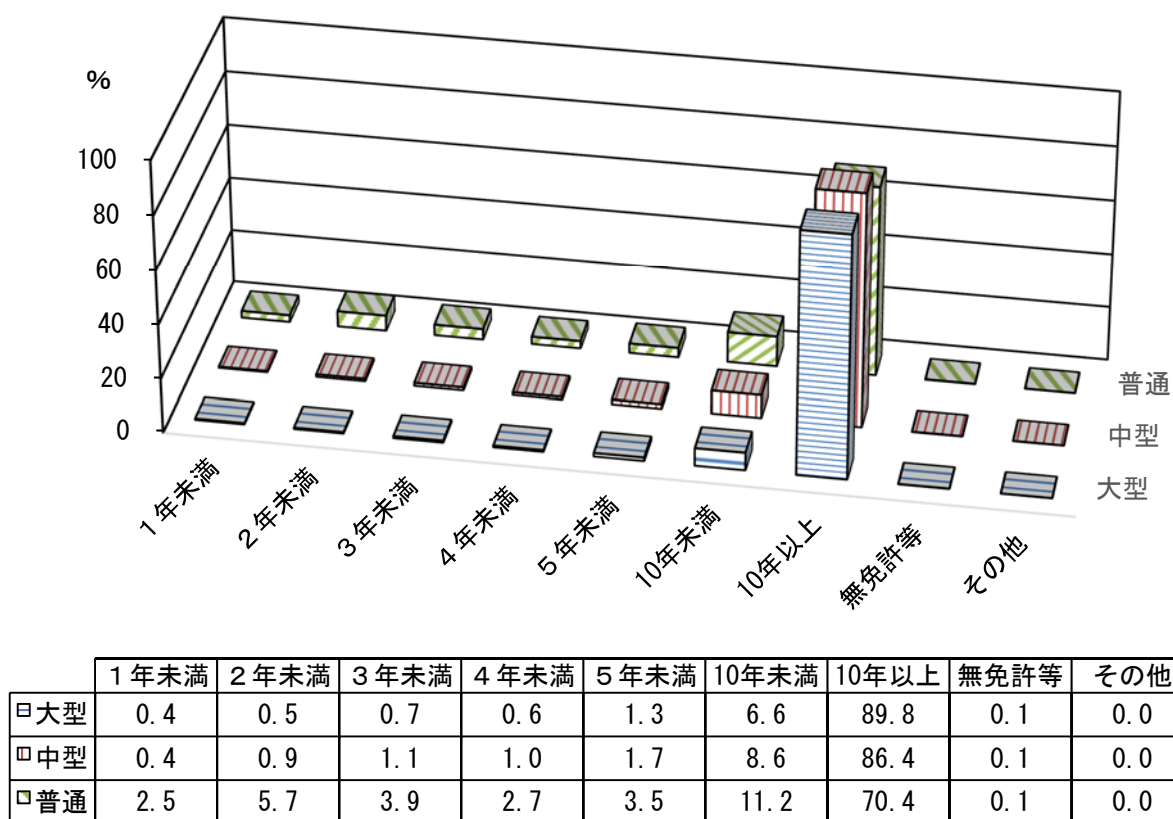


図13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（平成28年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数 (平成 28 年)

平成 28 年の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数は、運転免許経過年数 10 年以上の 45-49 歳 2,360 件、40-44 歳 2,172 件、50-54 歳 1,747 件となっています。

表 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数（平成 28 年）

														(件)
運転者年齢 運転免許経過年	19歳以下	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計	
1年未満	22	29	10	9	6	7	7	2	7	5	1	0	105	
2年未満	41	109	21	6	10	11	8	2	4	2	2	0	216	
3年未満	0	135	15	15	10	11	8	4	1	2	3	0	204	
4年未満	0	96	26	9	10	6	3	5	3	2	2	0	162	
5年未満	0	127	60	20	17	15	9	5	7	4	3	0	267	
10年未満	0	95	620	174	89	63	67	38	29	9	16	0	1,200	
10年以上	0	0	134	976	1,364	2,172	2,360	1,747	1,491	1,213	980	0	12,437	
無免許等	0	1	2	1	1	1	2	0	0	1	0	0	9	
合計	63	592	888	1,210	1,507	2,286	2,464	1,803	1,542	1,238	1,007	0	14,600	

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

※ 「無免許等」とは、無資格運転、免許外、無免許をいう。

構成率でみると、19 歳以下では、運転免許経過年数が 1 年以上 2 年未満 65.1%で、1 年未満の 34.9%と合わせて 100%を占め、一方、20-24 歳では、5 年未満の件数の合計で 84%となります。また、25-29 歳では 5 年以上 10 年未満が 69.8%に、さらに 30-34 歳では 10 年以上が 80.7%となり、35 歳以上ではすべての年齢層で 10 年以上が 90%を超えています。

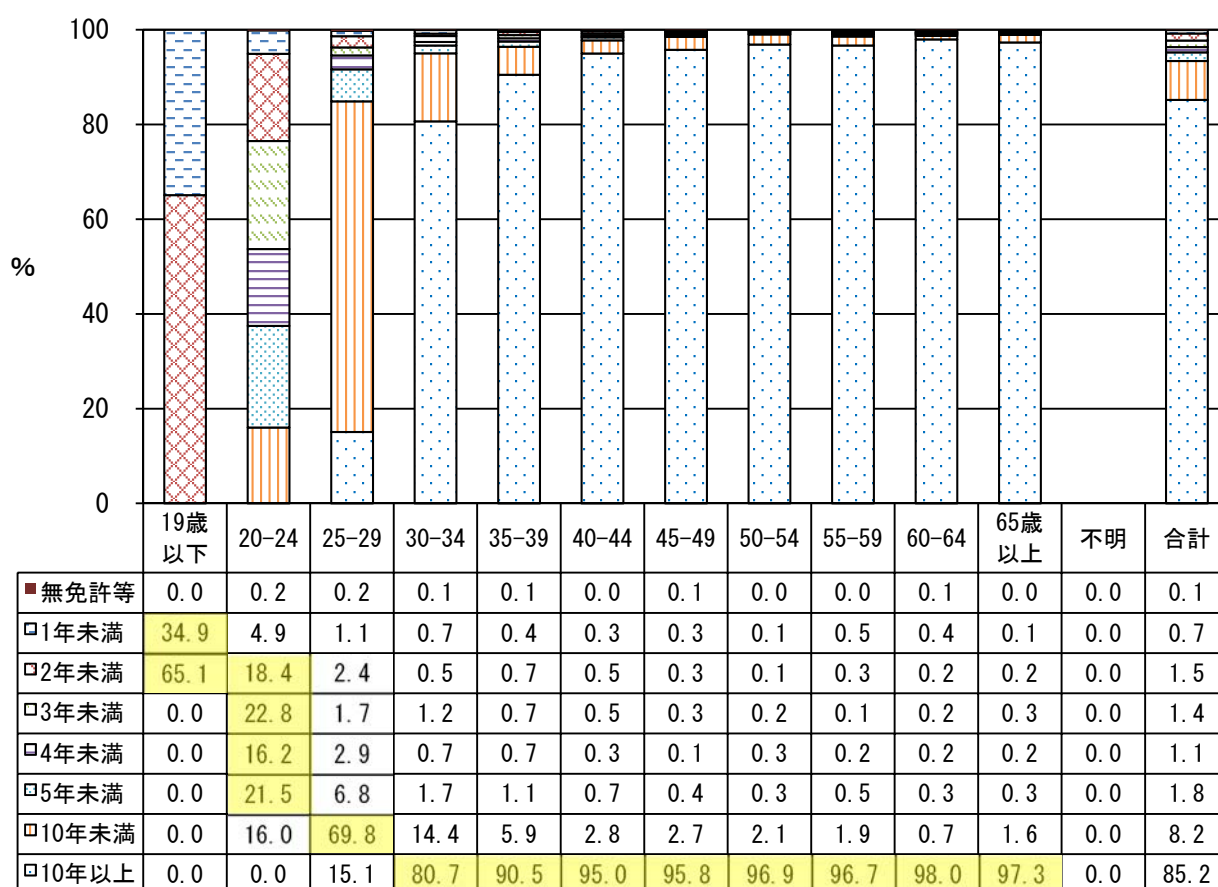


図 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況

平成 28 年における運転者の運転資格別の死傷事故のうち、有資格者以外の事故は 15 件で、無免許等で 6 件、免許停止中、免許期限切れ、免許条件違反がそれぞれ 3 件となっています。

これを第 1 当事者種別でみると、大型では、無免許等 2 件、免許停止中 1 件、免許違反 1 件の 4 件となっています。

一方、中型では、無免許等、免許停止中、免許期限切れ、免許違反がいずれも 2 件で、合計 8 件となっており、また、普通では、無免許等 2 件、免許期限切れ 1 件の合計 3 件となっています。

表 14 運転者の運転資格別・第 1 当事者種別の死傷事故件数（平成 28 年）

		(件)					
第1当事者種別	運転資格	有資格	免許停止中	免許期限切れ	免許条件違反	無免許等	合 計
大型		5,705	1	0	1	2	5,709
中型		6,564	2	2	2	2	6,572
普通		2,316	0	1	0	2	2,319
合 計		14,585	3	3	3	6	14,600

※ 「無免許等」とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

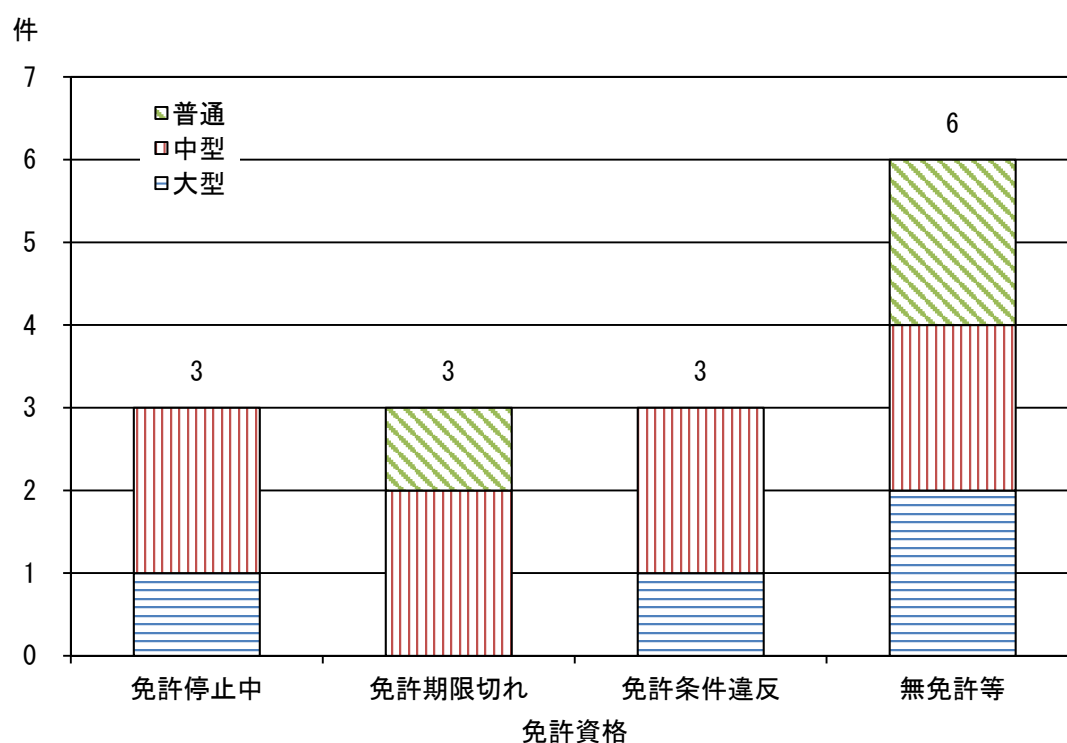


図 14 運転者の運転資格別・第 1 当事者種別の死傷事故件数（平成 28 年）

15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況

平成 28 年における運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別の死傷事故件数は、着用 14,451 件、非着用 125 件となっています。

これを死傷率でみると、シートベルト着用では、死亡 0.2%、重傷 0.4%、軽傷 1.3%、損傷なし 98.1%となっています。

一方、シートベルト非着用では、死亡 12.0%、重傷 7.2%、軽傷 4.8%、損傷なし 76.0%となり、着用と比較すると死傷率が非常に高くなっています。

また、死傷率の構成率でみると、シートベルト着用では軽傷の 68.3%が最も多く、一方、シートベルト非着用では死亡の 50.0%が最も高くなっています。

※「死傷率」とは、被害程度を対象者で割った値（例：着用死亡死傷率＝着用の死亡/着用の合計）

表 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別の死傷事故件数
（平成 28 年）

第1当事者種別 運転者の着用状況		(件)					死傷率(%)	構成率(%)
		大型	中型	普通	合計			
着用	死 亡	17	7	0	24	0.2	8.5	
	重 傷	23	37	5	65	0.4	23.1	
	軽 傷	83	82	27	192	1.3	68.3	
	小計	123	126	32	281	1.9	100.0	
	損傷なし	5,535	6,366	2,269	14,170	98.1		
	計	5,658	6,492	2,301	14,451	100.0		
非着用	死 亡	6	9	0	15	12.0	50.0	
	重 傷	3	5	1	9	7.2	30.0	
	軽 傷	2	2	2	6	4.8	20.0	
	小計	11	16	3	30	24.0	100.0	
	損傷なし	24	59	12	95	76.0		
	計	35	75	15	125	100.0		
不 明	死 亡	2	0	0	2	0.0	50.0	
	重 傷	1	0	0	1	0.0	25.0	
	軽 傷	1	0	0	1	0.0	25.0	
	小計	4	0	0	4	0.0	100.0	
	損傷なし	12	5	3	20			
	計	16	5	3	24			
合 計		5,709	6,572	2,319	14,600			

当事者種別・
着用状況

死亡 重傷 軽傷

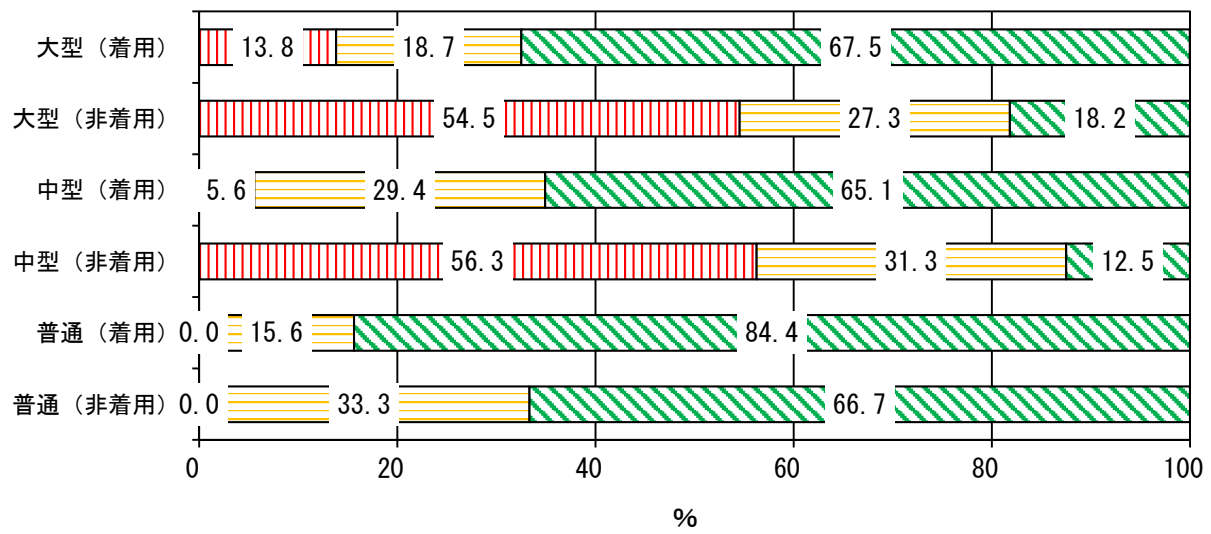


図 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別死傷事故件数の構成率
（平成 28 年）

参 考

事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用状況（平成 19-28 年）

- ・運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別の死傷者数は、死者では、着用は平成 19 年の 57 人から平成 28 年には 24 人となり、10 年間で 33 人（57.8%）減少しています。一方、非着用は平成 19 年の 27 人から平成 28 年には 15 人となり、10 年間で 12 人（44.4%）減少しています。
- ・重傷者では、着用は平成 19 年の 189 人から平成 28 年には 65 人となり、10 年間で 124 人（65.6%）減少しています。一方、非着用は平成 19 年の 18 人から平成 28 年には 9 人となり、10 年間で 9 人（50.0%）減少しています。
- ・軽傷者では、着用は平成 19 年の 590 人から平成 28 年には 192 人となり、10 年間で 398 人（67.4%）減少しています。一方、非着用は平成 19 年の 37 人から平成 28 年には 6 人となり、10 年間で 31 人（83.7%）減少しています。

表 15-2 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別死傷者数の推移（平成 19-28 年）

		(人)									
年 運転者の着用状況		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
着用	死者	57	28	30	33	26	37	33	27	23	24
	重傷者	189	142	134	102	136	102	112	97	78	65
	軽傷者	590	507	388	394	355	318	314	274	190	192
	計	836	677	552	529	517	457	459	398	291	281
非着用	死者	27	25	15	30	18	23	19	20	26	15
	重傷者	18	24	11	19	21	11	8	11	11	9
	軽傷者	37	26	13	19	19	13	16	11	4	6
	計	82	75	39	68	58	47	43	42	41	30
不明	死者	10	6	4	2	1	3	3	4	2	2
	重傷者	10	4	7	9	9	8	5	5	0	1
	軽傷者	6	9	3	6	4	1	1	1	1	1
	計	26	19	14	17	14	12	9	10	3	4
合計	死者	94	59	49	65	45	63	55	51	51	41
	重傷者	217	170	152	130	166	121	125	113	89	75
	軽傷者	633	542	404	419	378	332	331	286	195	199
	計	944	771	605	614	589	516	511	450	335	315

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用率は、平成19年から平成28年までの10年間をとおして、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト着用率でみると、死者は、最も低いのは平成27年の45.1%、最も高いのは平成21年の61.2%など、着用率の増減が激しく、また、平成19年から平成28年までの10年間をとおしておよそ6割程度までの着用率にとどまっています。
- ・一方、重傷者は、最も高いときで平成25年の89.6%と、死者よりも高いものの、平成19年から平成28年までの10年間をとおして、90%を超えていません。
- ・さらに、軽傷者は、平成27年の97.4%を最高値とし、10年間をとおして常に90%を超えています。

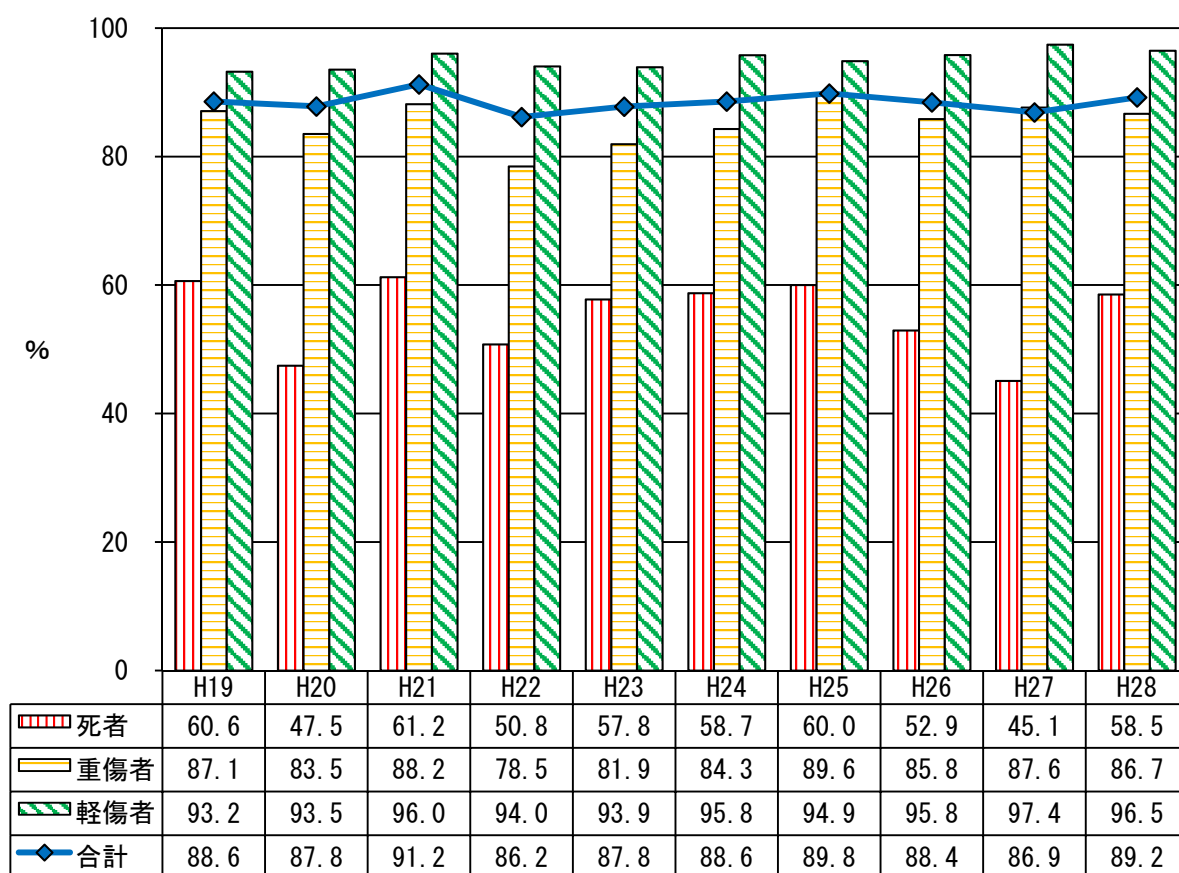


図 15-2 運転者の傷害程度別シートベルト着用率の推移（平成19-28年）

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト非着用率は、平成19年から平成28年までの10年間をとおして8%から12%の範囲で、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト非着用率でみると、死者では、平成19年の28.7%が最も低く、平成27年の51.0%が最も高くなっています。
- ・一方、重傷者では、平成25年の6.4%が最も低く、平成22年の14.6%が最も高くなっています。
- ・さらに、軽傷者では、平成27年の2.1%が最も低く、平成19年の5.8%が最も高くなっています。
- ・死者のシートベルト非着用率は、重傷者及び軽傷者と比較して、非常に高い値となっています。

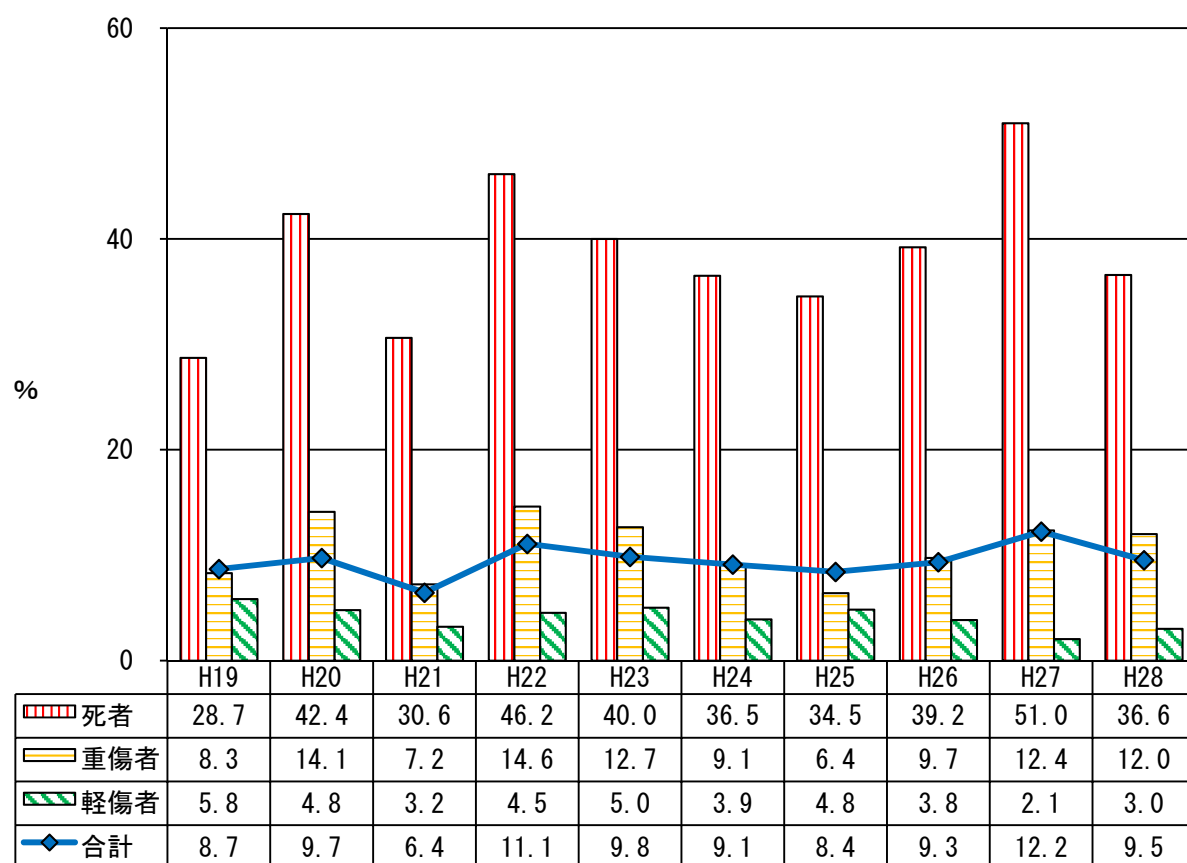


図 15-3 運転者（第1当事者）の傷害程度別シートベルト非着用率の推移（平成19-28年）

16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況

(1) 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

平成 28 年の高速道路における追突死傷事故件数は 964 件で、平成 27 年の 1,100 件から 136 件（12.3%）減少しています。

事故詳細区分別にみると、車線停止中（その他）では、平成 27 年の死亡 12 件、重傷 25 件、軽傷 441 件の計 478 件から、平成 28 年には死亡 13 件、重傷 24 件、軽傷 415 件の計 452 件となり、死亡および重傷でそれぞれ 1 件減少、軽傷で 26 件減少の、合計 26 件減少となっています。

走行中の追突では、平成 27 年の死亡 6 件、重傷 39 件、軽傷 416 件の計 461 件から、平成 28 年の死亡 6 件、重傷 22 件、軽傷 370 件の計 398 件となり、死亡で増減なし、重傷 17 件減少、軽傷 46 件減少の、合計 63 件減少となっています。

※ 「車線停止中その他」には、渋滞停止中が含まれる。

※ 「高速道路」とは、高速自動車国道、自動車専用道路（道路交通法施行令第 42 条の規定により指定された自動車専用道路）をいう。

表 16-1 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

（件）

年		H27				H28				増減
事故詳細区分		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
追突	追越・追抜	0	0	10	10	0	0	8	8	-2
	走行車に	6	39	416	461	6	22	370	398	-63
	流入車に	0	0	3	3	0	2	0	2	-1
	流出車に	0	1	1	2	0	0	2	2	0
	車線停止中	故障車に	5	4	17	26	1	2	9	-14
		事故車に	4	7	21	32	0	4	9	-19
		その他	12	25	441	478	13	24	415	-26
	路肩停止中	故障車に	0	1	3	4	0	0	9	5
		事故車に	0	1	2	3	0	0	0	-3
		その他	1	1	7	9	0	2	12	5
	料金所付近停止車に	0	1	44	45	0	1	28	29	-16
	その他	0	2	25	27	0	0	25	25	-2
	合計	28	82	990	1,100	20	57	887	964	-136

(2) 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

高速道路における追突の道路区分別事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成 27 年の死亡 22 件、重傷 50 件、軽傷 464 件の計 536 件から、平成 28 年には死亡 10 件、重傷 47 件、軽傷 431 件の計 488 件となり、死亡は 12 件、重傷は 3 件、軽傷は 33 件の、合計 48 件の減少となっています。

走行車線（第二通行帯以上）では、平成 27 年の重傷 17 件、軽傷 259 件の計 276 件から、平成 28 年には死亡 5 件、重傷 4 件、軽傷 190 件の計 199 件となり、死亡で 5 件増加、重傷で 13 件減少、軽傷で 69 件減少の、合計 77 件の減少となっています。

追越車線では、平成 27 年の死亡 5 件、重傷 7 件、軽傷 159 件の計 171 件から、平成 28 年には死亡 4 件、重傷 2 件、軽傷 156 件の計 162 件となり、死亡は 1 件、重傷は 5 件、軽傷は 3 件の、合計 9 件の減少となっています。

一方で、ランプウェイ（出路）では、平成 27 年の 18 件から 28 年には 29 件となり、合計 11 件（61.1%）の増加となっています。

表 16-2 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

（件）

年 事故類型 道路区分	H27				H28				増減
	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
走行車線-第一通行帯	22	50	464	536	10	47	431	488	-48
走行車線-第二通行帯以上	0	17	259	276	5	4	190	199	-77
追越車線	5	7	159	171	4	2	156	162	-9
登板車線	0	0	3	3	0	0	4	4	1
加速車線	0	0	8	8	0	0	1	1	-7
減速車線	0	1	10	11	0	1	9	10	-1
路肩	1	3	12	16	1	2	24	27	11
ランプウェイ-入路	0	2	2	4	0	1	2	3	-1
ランプウェイ-出路	0	1	17	18	0	0	29	29	11
ジャンクション	0	0	3	3	0	0	5	5	2
料金所等付近-本線上	0	1	28	29	0	0	13	13	-16
料金所等付近-その他	0	0	18	18	0	0	14	14	-4
サービスエリア	0	0	2	2	0	0	3	3	1
パーキングエリア	0	0	1	1	0	0	4	4	3
その他	0	0	4	4	0	0	2	2	-2
合計	28	82	990	1,100	20	57	887	964	-136

(3) 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

高速道路における対歩行者の死傷事故件数は、平成 27 年の死亡 8 件、重傷 6 件、軽傷 6 件の計 20 件から、平成 28 年には死亡 4 件、重傷 4 件、軽傷 5 件の計 13 件となり、合計で 7 件（53.8%）減少しています。

これを事故類型詳細区分別でみると、故障修理中では、平成 27 年の死亡 1 件、重傷 1 件の計 2 件から、平成 28 年には 0 件となり、合計で 2 件減少しています。

また、路上作業中では、平成 27 年の死亡 1 件、重傷 2 件の計 3 件から、平成 28 年の死亡 1 件となり、合計で 2 件減少しています。

表 16-3 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

年		H27				H28				(件)
事故詳細区分	事故類型	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減
人対車両	故障修理中	1	1	0	2	0	0	0	0	-2
	路上作業中	1	2	0	3	1	0	0	1	-2
	その他	6	3	6	15	3	4	5	12	-3
	合計	8	6	6	20	4	4	5	13	-7

(4) 高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成 27 年の死亡 7 件、重傷 5 件、軽傷 1 件の合計 13 件から、平成 28 年には死亡 3 件、重傷 1 件、軽傷 1 件の合計 5 件となり、死亡 4 件、重傷 4 件の合計 8 件減少しています。

また、走行車線（第二通行帯以上）では、平成 27 年の死亡 1 件、重傷 1 件、軽傷 2 件の合計 4 件から、平成 28 年には死亡 1 件、重傷 1 件の合計 2 件となり、2 件減少しています。

表 16-4 高速道路における人対車両の道路区分別死傷事故件数（平成 27・28 年）

年		H27				H28				(件)
道路区分	事故類型	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減
	走行車線-第一通行帯	7	5	1	13	3	1	1	5	-8
	走行車線-第二通行帯以上	1	1	2	4	1	1	0	2	-2
	追越車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登板車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路肩	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	ランプウェイ-入路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ランプウェイ-出路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジャンクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-本線上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービスエリア	0	0	2	2	0	0	3	3	1
	パーキングエリア	0	0	1	1	0	1	1	2	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	8	6	6	20	4	4	5	13	-7

17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

(1) 事業用貨物自動車の死傷者数（平成 28 年）

平成 28 年の死傷者数は、死者 270 人、重傷者 1,136 人、軽傷者 18,029 人の計 19,435 人となっています。

第 2 当事者種別では、対普通乗用車 7,596 人、対軽乗用 3,661 人、対自転車 1,641 人、対歩行者 929 人となっています。

死傷者別・第 1 当事者種別でみると、死者は、大型では、対歩行者 41 人、対自転車 36 人、対普通乗用車 11 人となっています。中型では、対歩行者 36 人、対自転車 14 人、対普通乗用車 12 人となっています。普通では、対歩行者 12 人、対自転車 2 人、対小型二輪 1 人となっています。

一方、重傷者は、大型では、対自転車 113 人、対普通乗用車 90 人、対歩行者 83 人となっています。中型では、対歩行者 87 人、対自転車 85 人、対普通乗用車 68 人となっています。普通では、対歩行者 36 人、対自転車 35 人、対普通乗用車 11 人となっています。

また、軽傷者は、大型では、対普通車 3,114 人、対軽乗用 1,476 人、対自転車 390 人となっています。中型では、対普通乗用車 3,322 人、対軽乗用 1,616 人、対自転車 603 人となっています。普通では、対普通乗用車 968 人、対軽乗用 457 人、対自転車 363 人となっています。

表 17-1 事業用貨物自動車の死傷者数（平成 28 年）

(人)

死傷者別		死者				重傷者				軽傷者				合計
第 2 当事者種別	第 1 当事者種別	大型	中型	普通	小計	大型	中型	普通	小計	大型	中型	普通	小計	
乗用車	バス	0	0	0	0	0	0	0	0	23	57	2	82	82
	マイクロバス	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	6	15	15
	普通乗用車	11	12	0	23	90	68	11	169	3,114	3,322	968	7,404	7,596
	軽乗用	6	2	0	8	47	53	4	104	1,476	1,616	457	3,549	3,661
	ミニカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
	小計	17	14	0	31	137	121	15	273	4,617	5,001	1,434	11,052	11,356
貨物車	大型貨物	14	5	0	19	25	26	2	53	379	227	22	628	700
	中型貨物	5	3	0	8	15	11	2	28	349	387	57	793	829
	普通貨物	0	1	0	1	12	10	1	23	335	390	108	833	857
	ライトバン	0	1	0	1	6	6	0	12	146	171	69	386	399
	軽貨物	4	3	0	7	28	22	1	51	367	536	150	1,053	1,111
	小計	23	13	0	36	86	75	6	167	1,576	1,711	406	3,693	3,896
自動二輪	トレーラ	3	2	0	5	6	7	1	14	95	59	11	165	184
	小型二輪	3	2	1	6	15	15	10	40	53	64	20	137	183
	軽二輪	4	3	0	7	15	14	10	39	57	89	53	199	245
	原付二輪	2	3	0	5	14	15	9	38	70	149	75	294	337
原付	小計	9	8	1	18	44	44	29	117	180	302	148	630	765
	農耕用	2	0	0	2	2	1	1	4	3	0	0	3	9
	大型	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5	5
	小型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊車	小計	2	0	0	2	2	1	1	4	5	3	0	8	14
	路面電車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	列車	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	6
	軽車両	36	14	2	52	113	85	35	233	390	603	363	1,356	1,641
軽車両	駆動補助機付自転車	0	0	0	0	1	1	0	2	5	8	11	24	26
	その他	1	0	0	1	4	0	0	4	35	0	0	35	40
	小計	37	14	2	53	118	86	35	239	430	611	374	1,415	1,707
	歩行者	41	36	12	89	83	87	36	206	135	327	172	634	929
駐停車両(運転者不在)		8	2	0	10	12	2	0	14	17	22	3	42	66
物件		9	6	0	15	10	15	6	31	32	34	15	81	127
相手なし		2	3	0	5	1	1	0	2	6	3	2	11	18
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
合計		157	98	15	270	518	473	145	1,136	7,117	8,231	2,681	18,029	19,435

(2) 事業用貨物自動車の死傷者の構成率（平成 28 年）

平成 28 年の死傷者の第 1 当事者種別の構成率は、大型では、対普通乗用車 41.3%、対軽乗用 19.6%、対自転車 6.9%となっています。

一方、中型では、対普通乗用車 38.7%、対軽乗用 19.0%、対自転車 8.0%となっています。また、普通では、対普通乗用車 34.5%、対軽乗用 16.2%、対自転車 14.1%となっています。

表 17-2 相関別死傷者数の構成率（平成 28 年）

(%)

第1当事者種別 第2当事者種別	大型	中型	普通
バス	0.3	0.6	0.1
マイクロバス	0.1	0.1	0.2
普通乗用車	41.3	38.7	34.5
軽乗用	19.6	19.0	16.2
ミニカー	0.0	0.0	0.0
大型貨物	5.4	2.9	0.8
中型貨物	4.7	4.6	2.1
普通貨物	4.5	4.6	3.8
ライトバン	2.0	2.0	2.4
軽貨物	5.1	6.4	5.3
小型二輪	0.9	0.9	1.1
軽二輪	1.0	1.2	2.2
原付二輪	1.1	1.9	3.0
原付	1.9	2.9	5.0
農耕用	0.1	0.0	0.0
特殊大型	0.0	0.0	0.0
特殊小型	0.0	0.0	0.0
路面電車	0.0	0.0	0.0
列車	0.1	0.0	0.0
自転車	6.9	8.0	14.1
駆動補助機付自転車	0.1	0.1	0.4
その他	0.5	0.0	0.0
歩行者	3.3	5.1	7.7
駐車車両(運転者不在)	0.5	0.3	0.1
物件	0.7	0.6	0.7
相手なし	0.1	0.1	0.1
不明	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

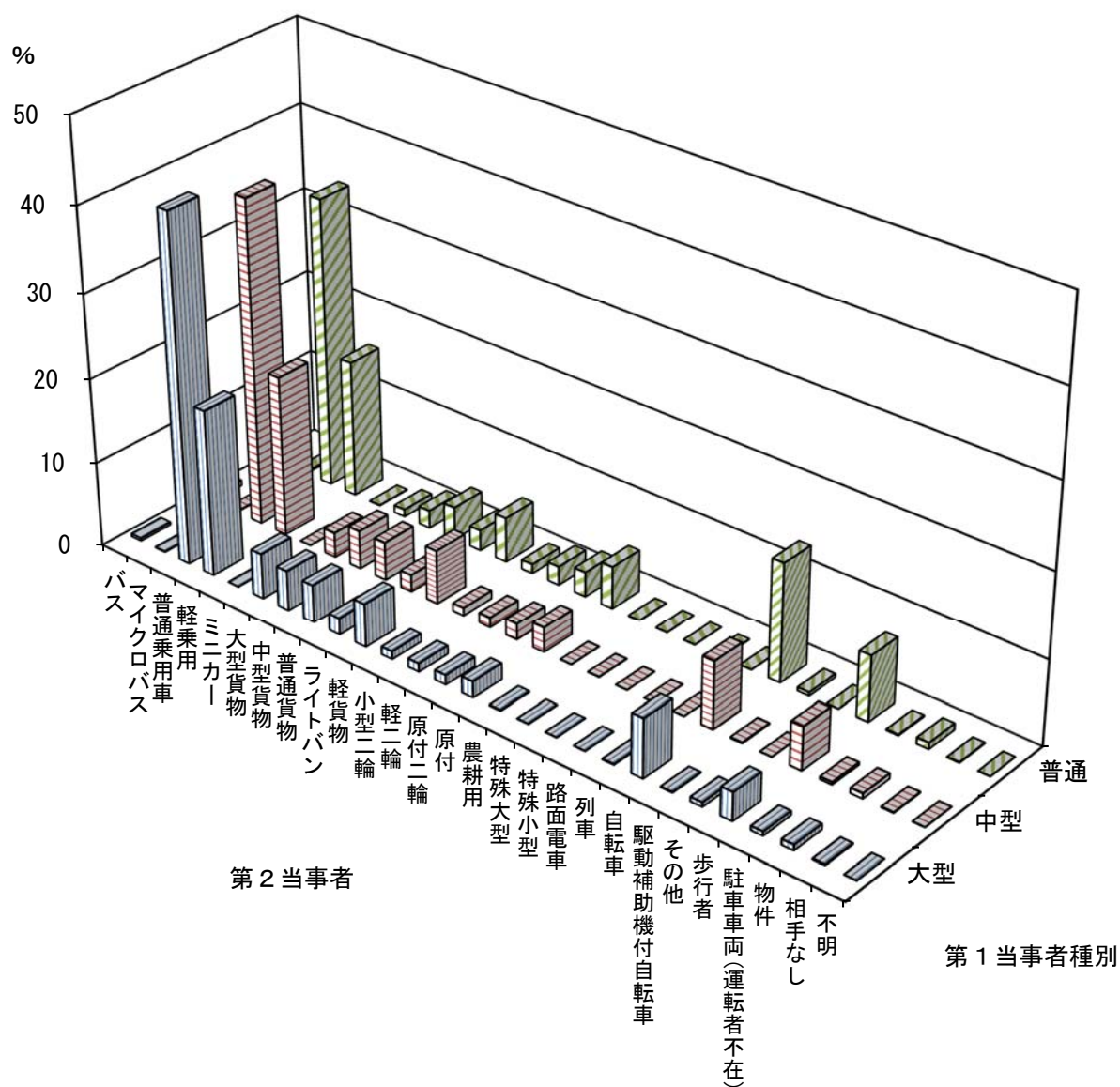


図 17-1 相関別死傷者数の構成率 (平成 28 年)

(3) 事業用貨物自動車の第1当事者種別・年齢別の死傷者数（平成28年）

平成28年の第1当事者種別・年齢別の死傷者数は、40-44歳2,278人、45-49歳1,992人、35-39歳1,846人となっています。

死傷者別にみると、死者は、大型では、55-59歳及び65-69歳各16人、35-39歳及び50-54歳各14人、中型では、45-49歳13人、80-84歳12人、55-59歳10人、普通では、80-84歳3人となっています。

一方、重傷者は、大型では、20-24歳52人、45-49歳45人、40-44歳及び65-69歳各44人、中型では、65-69歳45人、60-64歳42人、45-49歳41人、普通では、45-49歳17人、75-79歳16人、40-44歳12人となっています。

また、軽傷者は、大型では、40-44歳851人、30-34歳729人、45-49歳722人、中型では、40-44歳1,012人、35-39歳809人、30-34歳772人、普通では、40-44歳304人、45-49歳271人、30-34歳265人となっています。

第1当事者別にみると、中型が8,802人（45.3%）、大型が7,792人（40.1%）、普通2,841人（14.6%）で、大型・中型で全体の約85%を占めています。また、65歳以上では、死者が97人（36%）、重傷者300人（26.4%）、軽傷者2,407人（13.4%）となっています。

年齢別死傷者数の構成率は、死者が45-49歳10.4%、重傷者が40-44歳8.2%、軽傷者が40-44歳12.0%となっています。

表 17-3 第1当事者種別・年齢別の死傷者数（平成28年）

(人)

死傷者		死者				重傷者				軽傷者				合計			
第1当事者種別		大型	中型	普通	小計	大型	中型	普通	小計	大型	中型	普通	小計	大型	中型	普通	合計
年齢層																	
6歳以下		0	0	1	1	2	7	3	12	101	146	30	277	103	153	34	290
7-12歳		1	1	0	2	9	5	8	22	128	132	51	311	138	138	59	335
13-15歳		1	1	0	2	6	2	4	12	77	64	27	168	84	67	31	182
16-19歳		4	1	0	5	23	22	10	55	226	251	105	582	253	274	115	642
20-24歳		5	6	0	11	52	32	7	91	540	608	207	1,355	597	646	214	1,457
25-29歳		10	3	1	14	30	29	10	69	635	769	212	1,616	675	801	223	1,699
30-34歳		4	6	1	11	26	33	4	63	729	772	265	1,766	759	811	270	1,840
35-39歳		14	6	1	21	26	40	4	70	695	809	251	1,755	735	855	256	1,846
40-44歳		9	8	1	18	44	37	12	93	851	1,012	304	2,167	904	1,057	317	2,278
45-49歳		13	13	2	28	45	41	17	103	722	868	271	1,861	780	922	290	1,992
50-54歳		14	3	0	17	39	34	7	80	581	758	222	1,561	634	795	229	1,658
55-59歳		16	10	1	27	31	32	9	72	482	489	158	1,129	529	531	168	1,228
60-64歳		10	5	1	16	42	42	10	94	423	465	186	1,074	475	512	197	1,184
65-69歳		16	8	1	25	44	45	7	96	442	513	175	1,130	502	566	183	1,251
70-74歳		9	4	2	15	35	24	8	67	223	253	101	577	267	281	111	659
75-79歳		9	8	0	17	27	26	16	69	138	178	60	376	174	212	76	462
80-84歳		13	12	3	28	21	11	4	36	86	109	29	224	120	132	36	288
85-89歳		9	1	0	10	15	8	5	28	32	29	21	82	56	38	26	120
90-94歳		0	2	0	2	1	3	0	4	6	6	6	18	7	11	6	24
95歳以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		157	98	15	270	518	473	145	1,136	7,117	8,231	2,681	18,029	7,792	8,802	2,841	19,435

(4) 事業用貨物自動車の年齢別死傷者数の構成率（平成 28 年）

平成 28 年の年齢別死傷者数の構成率は、死者では、45-49 歳及び 80-84 歳各 10.4%、55-59 歳 10.0%となっています。

一方、重傷者では、45-49 歳 9.1%、65-69 歳 8.5%、60-64 歳 8.3%となっています。

また、軽傷者では、40-44 歳 12.0%、45-49 歳 10.3%、30-34 歳 9.8%となっています。

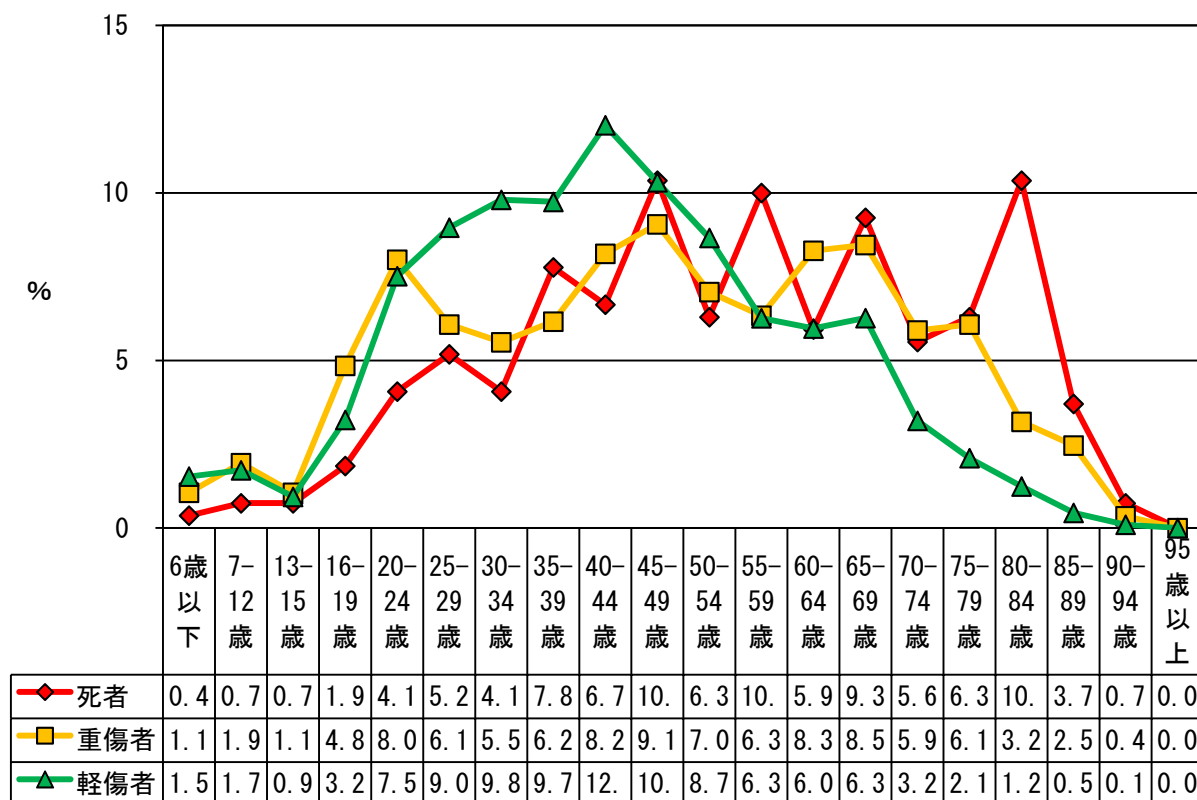


図 17-2 年齢別死傷者数の構成率（平成 28 年）

(5) 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 19-28 年）

事業用貨物自動車の死者数の推移は、平成 19 年の 534 人から平成 28 年の 270 人となり、10 年間で 264 人（49.4%）減少となっています。

第 2 当事者別でみると、乗用車では、平成 19 年の 69 人から平成 28 年には 31 人となり 38 人減少、貨物車では、平成 19 年の 98 人から平成 28 年には 36 人となり 62 人減少、二輪車では、平成 19 年の 45 人から平成 28 年には 29 人となり 16 人減少、対自転車では、平成 19 年の 101 人から平成 28 年には 53 人となり 48 人減少、歩行者では、平成 19 年の 175 人から平成 28 年には 89 人となり 86 人減少しています。

表 17-4 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 19-28 年）

第2当事者	年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
乗用車		69	56	32	46	51	48	41	30	33	31
貨物車		98	58	59	71	57	52	53	51	41	36
二輪車		45	40	47	35	37	38	37	28	25	29
自転車		101	90	71	84	78	57	73	74	59	53
歩行者		175	141	143	121	119	143	124	121	112	89
物件		23	19	12	23	10	28	14	23	20	15
その他		23	24	23	22	16	23	22	13	22	17
合計		534	428	387	402	368	389	364	340	312	270

※ 「第 2 当事者」は、表 17-1 の項目とする。

※ 「その他」は、特殊車、路面電車、列車、相手なし、不明の合計とする。

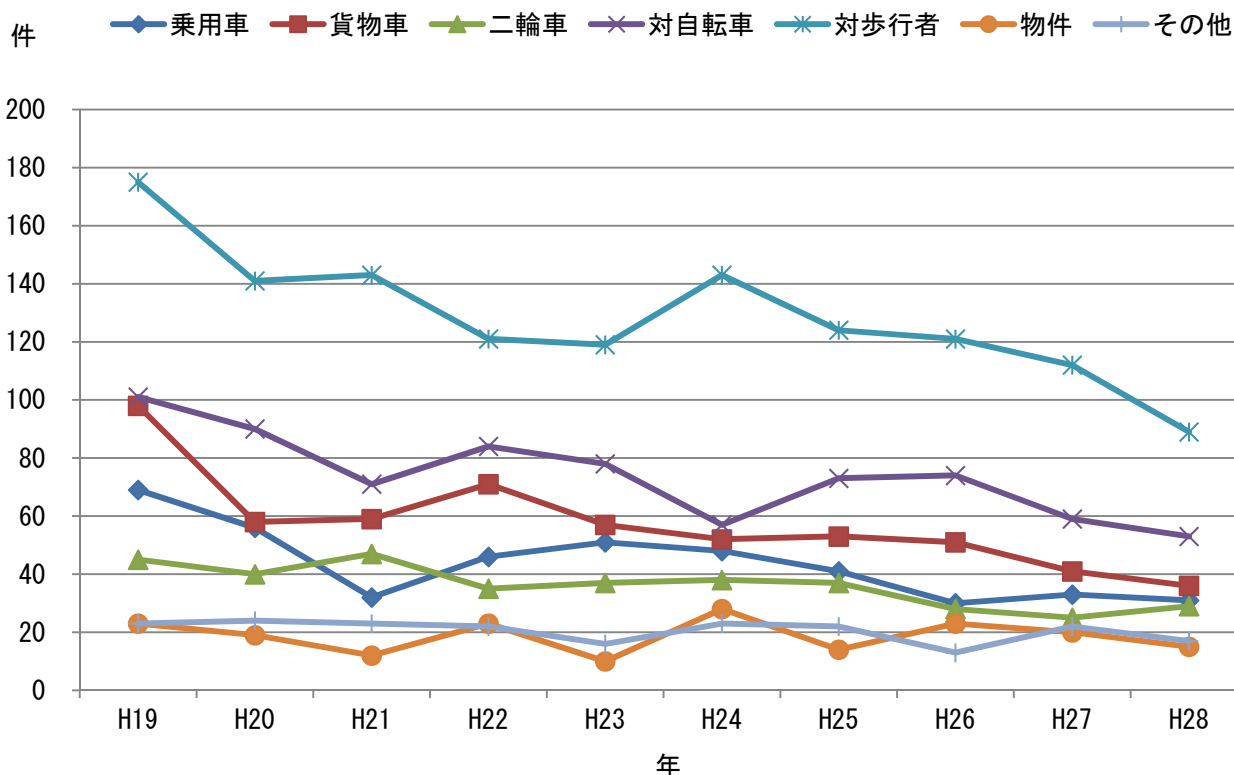


図 17-3 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 19-28 年）

(6) 事業用貨物自動車の対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成 28 年）

平成 28 年の対歩行者と対自転車の年齢別死者数は、歩行者の年齢別でみると、第 1 当事者種別では、大型は 80-84 歳 10 人、85-89 歳 5 人、75-79 歳 4 人、中型は、80-84 歳 8 人、75-79 歳で 6 人、55-59 歳 5 人、普通は、80-84 歳 3 人、70-74 歳 2 人となり、高齢者が多くなっています。

自転車の年齢別でみると、大型では、55-59 歳 6 人、60-64 歳 5 人、35-39 歳及び 70-74 歳各 4 人、中型では、45-49 歳 3 人、35-39 歳及び 70-74 歳各 2 人、普通では、35-39 歳及び 55-59 歳各 1 人となっています。

表 17-5 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成 28 年）

(人)

第2当事者 第1当事者 年齢(第2当事者)	対歩行者				対自転車				合計
	大型	中型	普通	小計	大型	中型	普通	小計	
6歳以下	0	0	1	1	0	0	0	0	1
7-12歳	1	0	0	1	0	0	0	0	1
13-15歳	0	0	0	0	1	0	0	1	1
16-19歳	1	0	0	1	0	0	0	0	1
20-24歳	1	1	0	2	0	0	0	0	2
25-29歳	2	1	1	4	3	0	0	3	7
30-34歳	0	3	1	4	1	0	0	1	5
35-39歳	1	1	0	2	4	2	1	7	9
40-44歳	0	0	1	1	0	1	0	1	2
45-49歳	3	2	1	6	0	3	0	3	9
50-54歳	3	0	0	3	3	1	0	4	7
55-59歳	1	5	0	6	6	1	1	8	14
60-64歳	3	2	1	6	5	1	0	6	12
65-69歳	3	3	1	7	3	1	0	4	11
70-74歳	3	1	2	6	4	2	0	6	12
75-79歳	4	6	0	10	3	1	0	4	14
80-84歳	10	8	3	21	2	1	0	3	24
85-89歳	5	1	0	6	2	0	0	2	8
90-94歳	0	2	0	2	0	0	0	0	2
95歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	41	36	12	89	37	14	2	53	142

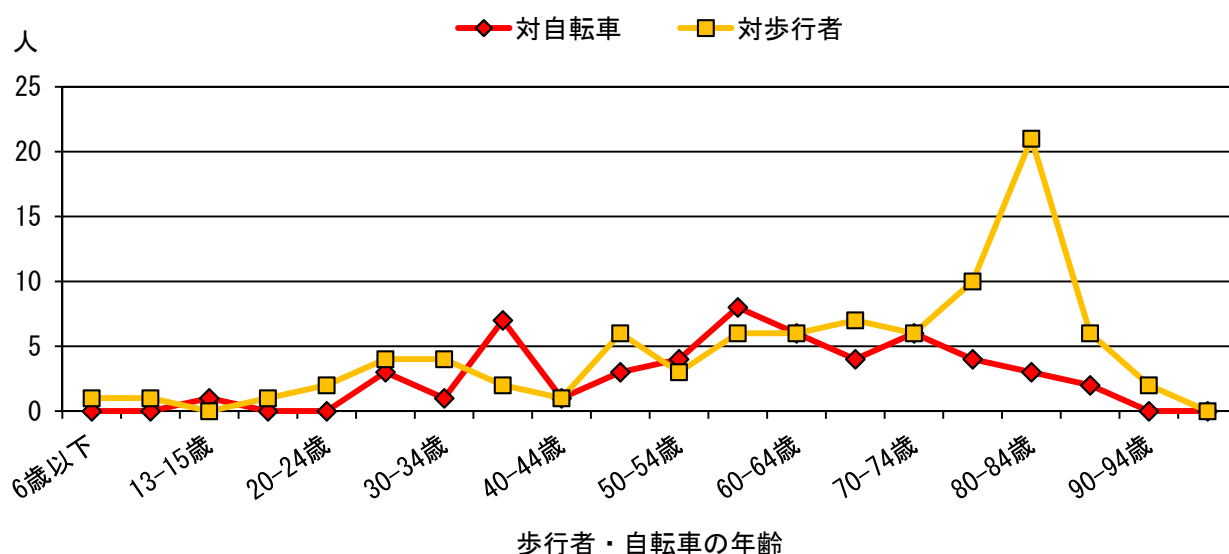


図 17-4 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（平成 28 年）

付 録

- 付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（平成28年）
- 付録 2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成28年）
- 付録 3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成28年）
- 付録 4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成28年）
- 付録 5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成28年）
- 付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成 3-28年）
- 付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成19-28年）
- 付録 8. 事業用自動車の業態別車両 1万台当たりの死者数の推移（平成19-28年）
- 付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成19-28年）
- 付録 10. 事業用自動車の業態別車両 1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成19-28年）
- 付録 11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1万台当たりの死亡事故件数（平成28年）
- 付録 12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成28年）
- 付録 13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成19-28年）
- 付録 14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成19-28年）
- 付録 15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成28年）
- 付録 16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成28年）
- 付録 17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成28年）
- 付録 18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成28年）
- 付録 19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況
- 付録 20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況
- 付録 21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況
- 付録 22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況
- 付録 23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況
- 付録 24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（平成25-28年）
- 付録 25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成27 -28年）

付録１ 都道府県別の死傷事故件数（平成 28 年）

区分 都道府県		死亡			重傷			軽傷			合計		
		件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)
北海道	札幌	84	-7	-7.7	696	29	4.3	7,214	121	1.7	7,994	143	1.8
	函館	9	-2	-18.2	88	-10	-10.2	813	-15	-1.8	910	-27	-2.9
	旭川	22	-5	-18.5	126	-19	-13.1	921	143	18.4	1,069	119	12.5
	釧路	22	-6	-21.4	162	13	8.7	801	15	1.9	985	22	2.3
	北見	12	1	9.1	58	-19	-24.7	301	-33	-9.9	371	-51	-12.1
	計	149	-19	-11.3	1,130	-6	-0.5	10,050	231	2.4	11,329	206	1.9
東北	青森	49	11	28.9	216	-42	-16.3	3,475	-83	-2.3	3,740	-114	-3.0
	岩手	70	-6	-7.9	384	-47	-10.9	1,919	-134	-6.5	2,373	-187	-7.3
	宮城	67	1	1.5	590	-52	-8.1	7,329	-587	-7.4	7,986	-638	-7.4
	秋田	51	13	34.2	317	27	9.3	1,809	-14	-0.8	2,177	26	1.2
	山形	28	-29	-50.9	568	46	8.8	5,540	-327	-5.6	6,136	-310	-4.8
	福島	88	11	14.3	567	-61	-9.7	5,147	-1,042	-16.8	5,802	-1,092	-15.8
東京		155	-6	-3.7	322	87	37.0	31,935	-1,943	-5.7	32,412	-1,862	-5.4
関東	茨城	146	10	7.4	945	-47	-4.7	9,364	-1,121	-10.7	10,455	-1,158	-10.0
	栃木	75	-22	-22.7	534	-23	-4.1	4,875	-798	-14.1	5,484	-843	-13.3
	群馬	56	-8	-12.5	306	-50	-14.0	13,212	-1,597	-10.8	13,574	-1,655	-10.9
	埼玉	150	-25	-14.3	2,722	-200	-6.8	24,944	-1,487	-5.6	27,816	-1,712	-5.8
	千葉	182	5	2.8	1,926	-28	-1.4	15,914	-605	-3.7	18,022	-628	-3.4
	神奈川	136	-42	-23.6	1,310	90	7.4	25,645	-1,270	-4.7	27,091	-1,222	-4.3
	新潟	105	11	11.7	916	-117	-11.3	3,673	-545	-12.9	4,694	-651	-12.2
	山梨	34	1	3.0	363	14	4.0	3,940	-299	-7.1	4,337	-284	-6.1
	長野	106	39	58.2	655	-62	-8.6	7,537	-544	-6.7	8,298	-567	-6.4
	静岡	137	-11	-7.4	1,248	-35	-2.7	30,133	-927	-3.0	31,518	-973	-3.0
中部	富山	59	-9	-13.2	448	5	1.1	2,959	-475	-13.8	3,466	-479	-12.1
	石川	46	1	2.2	350	27	8.4	3,145	-278	-8.1	3,541	-250	-6.6
	福井	49	4	8.9	317	20	6.7	1,481	-365	-19.8	1,847	-341	-15.6
	岐阜	88	-16	-15.4	658	-13	-1.9	5,900	-725	-10.9	6,646	-754	-10.2
	愛知	207	-6	-2.8	869	-61	-6.6	40,475	-2,751	-6.4	41,551	-2,818	-6.4
	三重	98	12	14.0	772	-32	-4.0	5,168	-1,111	-17.7	6,038	-1,131	-15.8
近畿	滋賀	52	-21	-28.8	455	-40	-8.1	4,787	-524	-9.9	5,294	-585	-10.0
	京都	60	-27	-31.0	1,221	-73	-5.6	6,806	-1,141	-14.4	8,087	-1,241	-13.3
	大阪	157	-37	-19.1	2,836	15	0.5	34,927	-2,665	-7.1	37,920	-2,687	-6.6
	兵庫	150	-16	-9.6	2,047	-274	-11.8	25,143	-912	-3.5	27,340	-1,202	-4.2
	奈良	45	3	7.1	543	-15	-2.7	3,919	-559	-12.5	4,507	-571	-11.2
	和歌山	40	-8	-16.7	454	-95	-17.3	2,420	-481	-16.6	2,914	-584	-16.7
中国	鳥取	17	-17	-50.0	156	-24	-13.3	814	-25	-3.0	987	-66	-6.3
	島根	27	0	0.0	181	125	223.2	1,106	-199	-15.2	1,314	-74	-5.3
	岡山	77	-9	-10.5	751	-136	-15.3	8,102	-1,552	-16.1	8,930	-1,697	-16.0
	広島	84	-9	-9.7	1,297	-90	-6.5	8,382	-1,290	-13.3	9,763	-1,389	-12.5
	山口	58	-4	-6.5	608	-83	-12.0	4,735	-239	-4.8	5,401	-326	-5.7
四国	徳島	48	22	84.6	397	-30	-7.0	3,134	-279	-8.2	3,579	-287	-7.4
	香川	61	13	27.1	233	-17	-6.8	6,496	-1,029	-13.7	6,790	-1,033	-13.2
	愛媛	76	0	0.0	804	-117	-12.7	3,617	-472	-11.5	4,497	-589	-11.6
	高知	40	10	33.3	403	-7	-1.7	1,750	-201	-10.3	2,193	-198	-8.3
九州	福岡	137	-9	-6.2	1,030	-58	-5.3	36,141	-2,359	-6.1	37,308	-2,426	-6.1
	佐賀	34	-14	-29.2	123	-11	-8.2	7,626	-753	-9.0	7,783	-778	-9.1
	長崎	40	-3	-7.0	485	-2	-0.4	5,127	-464	-8.3	5,652	-469	-7.7
	熊本	67	-9	-11.8	721	-104	-12.6	5,363	-377	-6.6	6,151	-490	-7.4
	大分	42	-4	-8.7	411	-7	-1.7	4,025	-428	-9.6	4,478	-439	-8.9
	宮崎	45	-5	-10.0	352	-44	-11.1	8,618	-391	-4.3	9,015	-440	-4.7
	鹿児島	64	-12	-15.8	806	-14	-1.7	6,604	-534	-7.5	7,474	-560	-7.0
	沖縄	38	-2	-5.0	633	29	4.8	4,820	-157	-3.2	5,491	-130	-2.3
合計		3,790	-238	-5.9	35,380	-1,632	-4.4	460,031	-35,828	-7.2	499,201	-37,698	-7.0

付録2 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（平成28年）

（件）

第1当事者種別 都道府県		事業用									事業用 合計
		乗用車				貨物車					
		バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	普通	小計	トレーラ	
北海道	札幌	55	1	472	528	127	109	19	255	42	783
	函館	4	0	34	38	8	4	1	13	1	51
	旭川	4	1	31	36	25	8	0	33	11	69
	釧路	0	0	24	24	26	12	1	39	13	63
	北見	3	0	4	7	7	5	1	13	2	20
	計	66	2	565	633	193	138	22	353	69	986
東北	青森	10	3	63	76	22	27	6	55	2	131
	岩手	2	0	38	40	43	25	4	72	4	112
	宮城	20	2	169	191	96	72	15	183	14	374
	秋田	4	0	30	34	22	16	1	39	2	73
	山形	10	0	31	41	32	46	7	85	4	126
	福島	4	1	61	66	81	53	13	147	10	213
東京		181	14	3,341	3,536	356	750	488	1,594	168	5,130
関東	茨城	14	3	63	80	148	151	33	332	31	412
	栃木	10	3	37	50	56	78	12	146	9	196
	群馬	9	1	57	67	125	120	32	277	24	344
	埼玉	42	8	447	497	333	606	208	1,147	82	1,644
	千葉	67	4	349	420	194	250	121	565	36	985
	神奈川	146	5	1,013	1,164	297	470	206	973	70	2,137
	新潟	3	1	65	69	54	30	10	94	7	163
	山梨	7	2	32	41	34	43	7	84	9	125
	長野	16	6	59	81	88	91	18	197	13	278
	静岡	36	3	328	367	334	300	88	722	40	1,089
中部	富山	2	0	24	26	36	46	11	93	5	119
	石川	12	2	62	76	36	37	10	83	3	159
	福井	3	1	21	25	24	28	9	61	11	86
	岐阜	10	1	37	48	76	96	15	187	14	235
	愛知	67	12	623	702	501	480	179	1,160	103	1,862
	三重	7	1	42	50	123	115	9	247	25	297
近畿	滋賀	11	1	42	54	105	91	18	214	16	268
	京都	79	2	433	514	73	119	46	238	4	752
	大阪	136	9	1,705	1,850	526	772	315	1,613	108	3,463
	兵庫	93	8	638	739	338	395	114	847	44	1,586
	奈良	5	0	40	45	38	54	12	104	10	149
	和歌山	0	0	28	28	24	28	5	57	2	85
中国	鳥取	4	0	8	12	5	8	2	15	0	27
	島根	1	0	11	12	16	10	2	28	2	40
	岡山	12	0	97	109	138	116	30	284	17	393
	広島	27	2	276	305	122	109	24	255	13	560
	山口	18	1	76	95	108	50	17	175	19	270
四国	徳島	6	0	39	45	27	25	9	61	6	106
	香川	8	0	68	76	60	53	9	122	4	198
	愛媛	6	0	71	77	57	43	8	108	14	185
	高知	3	0	42	45	16	13	5	34	3	79
九州	福岡	145	2	1,284	1,431	401	353	76	830	34	2,261
	佐賀	6	2	72	80	73	66	16	155	13	235
	長崎	40	0	182	222	34	20	13	67	8	289
	熊本	16	2	130	148	62	65	17	144	16	292
	大分	11	3	58	72	33	22	5	60	10	132
	宮崎	14	0	156	170	53	40	22	115	22	285
	鹿児島	31	2	119	152	78	48	11	137	12	289
	沖縄	27	0	328	355	18	4	19	41	4	396
合計		1,447	109	13,460	15,016	5,709	6,572	2,319	14,600	1,136	29,616

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上。マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満。ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型及び普通）の内数。

付録3 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（平成28年）

（件）

第1当事者種別			事業用								事業用 合計		
			乗 用 車				貨 物 車						
			バス	マイクロ バス	ハイタク	小計	大型	中型	普通	小計		トレーラ	
法令違反													
車 両 の 運 転 者	信号無視		21	4	342	367	192	243	55	490	39	857	
	通行区分		4	－	22	26	30	36	9	75	5	101	
	最高速度		1	－	5	6	25	13	3	41	4	47	
	横断転回後退		2	1	139	142	30	28	10	68	1	210	
	車間距離不保持		9	1	29	39	37	30	9	76	6	115	
	追越し		13	1	16	30	53	35	8	96	13	126	
	踏切不停止		1	－	－	1	1	1	－	2	－	3	
	右折		6	－	50	56	21	15	7	43	4	99	
	左折		6	－	83	89	24	35	6	65	4	154	
	優先通行妨害		6	2	230	238	41	59	31	131	11	369	
者	交差点安全進行		55	3	1,186	1,244	144	211	144	499	43	1,743	
	歩行者妨害等		31	4	581	616	82	129	60	271	11	887	
	徐行		7	1	86	94	6	17	11	34	－	128	
	一時不停止		1	1	435	437	39	75	50	164	6	601	
	整備不良		1	－	－	1	12	1	－	13	3	14	
	酒酔い		－	－	1	1	1	1	－	2	－	3	
	過労運転		－	1	7	8	5	11	－	16	－	24	
	薬物運転		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	安運	運転操作		257	14	845	1,116	402	378	125	905	85	2,021
	全	前方	漫然		44	8	539	591	547	820	202	1,569	93
運	不注意	脇見		96	11	1,413	1,520	1,134	1,514	462	3,110	240	4,630
者	転	動静不注視		204	22	1,014	1,240	977	1,035	328	2,340	199	3,580
	義	安全不確認		467	24	5,433	5,924	1,541	1,569	687	3,797	303	9,721
	務	安全速度		20	2	39	61	51	33	7	91	11	152
		その他		132	5	249	386	99	116	46	261	27	647
		その他の違反		61	4	702	767	200	152	57	409	24	1,176
		不明		2	－	14	16	15	15	2	32	4	48
		計		1,447	109	13,460	15,016	5,709	6,572	2,319	14,600	1,136	29,616
歩 行 者	信号無視		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	車両直前直後横断		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他横断		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	酩酊・はいかい		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	路上遊戯		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	飛び出し		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他の違反		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	不明		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
当事者不明				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計				1,447	109	13,460	15,016	5,709	6,572	2,319	14,600	1,136	29,616

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上。マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満。ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型及び普通）の内数。

付録４ 事業用自動車の第１当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（平成 28 年）

区分 運輸支局等		死 亡				重 傷				軽 傷				(件)		
		合 計				合 計				合 計				合 計		
		バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック
北海道	札幌	0	5	7	12	10	36	33	79	42	410	187	639	52	451	227
	函館	0	0	0	0	0	4	2	6	5	30	25	60	5	34	27
	室蘭	0	0	4	4	1	2	5	8	1	14	34	49	2	16	43
	帯広	0	0	1	1	0	1	1	2	0	13	16	29	0	14	18
	釧路	0	0	4	4	0	2	3	5	0	9	20	29	0	11	27
	北見	0	0	1	1	1	0	4	5	2	4	9	15	3	4	14
	旭川	0	0	1	1	2	1	4	7	4	29	27	60	6	30	32
小 計		0	5	18	23	14	46	52	112	54	509	318	881	68	560	388
東北	宮城	0	0	5	5	5	15	22	42	15	154	166	335	20	169	193
	福島	0	1	7	8	0	3	16	19	7	57	123	187	7	61	146
	岩手	0	1	0	1	1	3	12	16	1	34	71	106	2	38	83
	青森	1	0	4	5	1	2	10	13	11	61	70	142	13	63	84
	山形	0	0	1	1	0	2	3	5	7	29	79	115	7	31	83
	秋田	0	0	2	2	0	3	7	10	4	27	40	71	4	30	49
小 計		1	2	19	22	7	28	70	105	45	362	549	956	53	392	638
北陸信越	新潟	0	3	6	9	0	5	16	21	6	57	105	168	6	65	127
	長野	0	0	3	3	2	3	16	21	15	56	147	218	17	59	166
	石川	0	0	2	2	3	7	8	18	12	53	89	154	15	60	99
	富山	0	0	3	3	1	7	9	17	1	17	97	115	2	24	109
小 計		0	3	14	17	6	22	49	77	34	183	438	655	40	208	501
関東	東京	1	12	9	22	3	23	37	63	181	3,334	1,082	4,597	185	3,369	1,128
	神奈川	0	1	9	10	15	48	51	114	134	928	845	1,907	149	977	905
	千葉	1	1	21	23	12	33	48	93	72	303	567	942	85	337	636
	埼玉	1	0	22	23	4	32	90	126	46	393	1,110	1,549	51	425	1,222
	茨城	0	0	5	5	0	7	32	39	20	57	363	440	20	64	400
	群馬	0	0	6	6	1	2	14	17	9	50	297	356	10	52	317
	栃木	0	1	4	5	2	4	23	29	12	35	147	194	14	40	174
	山梨	0	0	0	0	1	3	8	12	11	29	80	120	12	32	88
小 計		3	15	76	94	38	152	303	493	485	5,129	4,491	10,105	526	5,296	4,870
中部	愛知	0	0	12	12	3	11	39	53	76	605	995	1,676	79	616	1,046
	静岡	0	0	7	7	5	13	30	48	32	307	561	900	37	320	598
	岐阜	0	1	4	5	1	7	19	27	8	29	204	241	9	37	227
	三重	0	1	7	8	1	2	19	22	7	38	207	252	8	41	233
	福井	0	0	1	1	1	4	9	14	4	16	70	90	5	20	80
小 計		0	2	31	33	11	37	116	164	127	995	2,037	3,159	138	1,034	2,184
近畿	大阪	2	6	19	27	11	125	136	272	127	1,589	1,492	3,208	140	1,720	1,647
	京都	0	1	5	6	15	51	39	105	65	388	286	739	80	440	330
	兵庫	1	4	8	13	5	33	48	86	82	582	584	1,248	88	619	640
	滋賀	1	0	4	5	3	3	12	18	7	33	115	155	11	36	131
	奈良	0	0	2	2	0	2	15	17	7	33	109	149	7	35	126
	和歌山	0	0	2	2	0	1	9	10	1	27	90	118	1	28	101
小 計		4	11	40	55	34	215	259	508	289	2,652	2,676	5,617	327	2,878	2,975
中国	広島	0	1	9	10	6	38	31	75	27	237	259	523	33	276	299
	鳥取	0	0	0	0	1	1	3	5	2	7	37	46	3	8	40
	島根	0	0	0	0	0	2	0	2	2	8	24	34	2	10	24
	岡山	0	0	3	3	1	4	23	28	12	93	239	344	13	97	265
	山口	0	0	2	2	4	6	10	20	13	65	113	191	17	71	125
小 計		0	1	14	15	12	51	67	130	56	410	672	1,138	68	462	753
四国	香川	0	0	3	3	0	1	10	11	8	67	154	229	8	68	167
	徳島	0	0	1	1	2	4	2	8	12	35	69	116	14	39	72
	愛媛	0	1	6	7	0	8	13	21	6	62	104	172	6	71	123
	高知	0	0	3	3	1	9	4	14	2	32	47	81	3	41	54
小 計		0	1	13	14	3	22	29	54	28	196	374	598	31	219	416
九州	福岡	0	2	17	19	7	33	37	77	137	1,244	828	2,209	144	1,279	882
	佐賀	0	1	1	2	0	1	7	8	11	68	129	208	11	70	137
	長崎	0	1	1	2	4	13	5	22	32	167	70	269	36	181	76
	熊本	0	1	5	6	4	16	14	34	14	111	154	279	18	128	173
	大分	1	0	2	3	2	6	7	15	13	53	77	143	16	59	86
	宮崎	0	1	1	2	1	7	11	19	14	145	105	264	15	153	117
	鹿児島	0	1	2	3	3	12	17	32	29	105	138	272	32	118	157
小 計		1	7	29	37	21	88	98	207	250	1,893	1,501	3,644	272	1,988	1,628
沖縄		1	1	0	2	6	34	4	44	20	287	36	343	27	322	40
不明		1	0	4	5	0	4	13	17	5	97	190	292	6	101	207
合 計		11	48	258	317	152	699	1,060	1,911	1,393	12,713	13,282	27,388	1,556	13,460	14,600

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、バス及びマイクロバス。ハイタクは、ミニバン・セダン等。トラックは、貨物車。

付録5 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（平成28年）

(人)

運輸支局等	区分	死 亡				重 傷				軽 傷				合 計		
		バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック
北海道	札幌	0	5	7	12	10	36	37	83	54	470	240	764	64	511	284
	函館	0	0	0	0	0	4	2	6	6	40	37	83	6	44	39
	室蘭	0	0	6	6	1	2	7	10	1	15	41	57	2	17	54
	帯広	0	0	2	2	0	1	1	2	0	14	21	35	0	15	24
	釧路	0	0	4	4	0	2	3	5	0	10	26	36	0	12	33
	北見	0	0	1	1	1	0	4	5	3	5	13	21	4	5	18
	旭川	0	0	1	1	2	1	4	7	4	33	41	78	6	34	46
	小 計	0	5	21	26	14	46	58	118	68	587	419	1,074	82	638	498
東北	宮城	0	0	5	5	5	15	23	43	18	182	227	427	23	197	255
	福島	0	1	7	8	0	3	16	19	10	67	163	240	10	71	186
	岩手	0	1	0	1	1	4	12	17	1	36	96	133	2	41	108
	青森	1	0	4	5	1	2	12	15	11	74	93	178	13	76	109
	山形	0	0	1	1	0	2	4	6	9	36	101	146	9	38	106
	秋田	0	0	2	2	0	7	7	14	5	34	55	94	5	41	64
	小 計	1	2	19	22	7	33	74	114	54	429	735	1,218	62	464	828
北陸信越	新潟	0	3	6	9	0	5	19	24	8	68	152	228	8	76	177
	長野	0	0	3	3	2	3	16	21	31	60	186	277	33	63	205
	石川	0	0	2	2	3	7	8	18	12	58	109	179	15	65	119
	富山	0	0	3	3	1	7	11	19	1	20	133	154	2	27	147
	小 計	0	3	14	17	6	22	54	82	52	206	580	838	58	231	648
関東	東京	14	12	9	35	26	24	39	89	221	3,815	1,366	5,402	261	3,851	1,414
	神奈川	0	1	9	10	15	48	51	114	190	1,057	1,120	2,367	205	1,106	1,180
	千葉	1	1	21	23	12	33	54	99	108	357	736	1,201	121	391	811
	埼玉	1	0	23	24	4	34	95	133	77	457	1,517	2,051	82	491	1,635
	茨城	0	0	5	5	0	7	35	42	24	72	503	599	24	79	543
	群馬	0	0	7	7	1	2	15	18	12	59	412	483	13	61	434
	栃木	0	1	4	5	2	4	24	30	15	46	216	277	17	51	244
	山梨	0	0	0	0	1	3	8	12	19	35	110	164	20	38	118
	小 計	16	15	78	109	61	155	321	537	666	5,898	5,980	12,544	743	6,068	6,379
	小 計	16	15	78	109	61	155	321	537	666	5,898	5,980	12,544	743	6,068	6,379
中部	愛知	0	0	12	12	3	11	41	55	109	727	1,322	2,158	112	738	1,375
	静岡	0	0	7	7	6	13	33	52	62	385	795	1,242	68	398	835
	岐阜	0	1	4	5	1	7	20	28	14	38	269	321	15	46	293
	三重	0	1	7	8	1	2	20	23	10	49	307	366	11	52	334
	福井	0	0	1	1	1	4	10	15	10	17	102	129	11	21	113
	小 計	0	2	31	33	12	37	124	173	205	1,216	2,795	4,216	217	1,255	2,950
	小 計	0	2	31	33	12	37	124	173	205	1,216	2,795	4,216	217	1,255	2,950
近畿	大阪	2	6	21	29	11	126	140	277	155	1,843	1,995	3,993	168	1,975	2,156
	京都	0	1	5	6	15	58	43	116	72	458	415	945	87	517	463
	兵庫	1	4	8	13	5	33	49	87	97	671	783	1,551	103	708	840
	滋賀	1	0	4	5	3	3	13	19	7	44	147	198	11	47	164
	奈良	0	0	3	3	0	2	15	17	12	42	159	213	12	44	177
	和歌山	0	0	2	2	0	1	11	12	1	30	130	161	1	31	143
	小 計	4	11	43	58	34	223	271	528	344	3,088	3,629	7,061	382	3,322	3,943
	小 計	4	11	43	58	34	223	271	528	344	3,088	3,629	7,061	382	3,322	3,943
中国	広島	0	1	11	12	6	38	37	81	41	277	365	683	47	316	413
	鳥取	0	0	0	0	1	1	3	5	2	8	49	59	3	9	52
	島根	0	0	0	0	0	2	0	2	5	9	39	53	5	11	39
	岡山	0	0	3	3	1	4	23	28	12	110	309	431	13	114	335
	山口	0	0	2	2	4	6	10	20	14	77	152	243	18	83	164
	小 計	0	1	16	17	12	51	73	136	74	481	914	1,469	86	533	1,003
四国	香川	0	0	3	3	0	1	11	12	11	88	210	309	11	89	224
	徳島	0	0	1	1	2	4	2	8	16	39	87	142	18	43	90
	愛媛	0	1	6	7	0	8	19	27	6	74	176	256	6	83	201
	高知	0	0	3	3	1	9	4	14	2	40	88	130	3	49	95
	小 計	0	1	13	14	3	22	36	61	35	241	561	837	38	264	610
九州	福岡	0	4	18	22	7	35	38	80	190	1,644	1,161	2,995	197	1,683	1,217
	佐賀	0	1	1	2	0	1	8	9	12	79	190	281	12	81	199
	長崎	0	1	2	3	4	13	6	23	41	216	109	366	45	230	117
	熊本	0	1	5	6	4	17	16	37	84	142	211	437	88	160	232
	大分	1	0	2	3	2	8	7	17	19	64	108	191	22	72	117
	宮崎	0	1	1	2	1	7	11	19	14	166	141	321	15	174	153
	鹿児島	0	1	2	3	3	12	20	35	33	114	185	332	36	127	207
	小 計	1	9	31	41	21	93	106	220	393	2,425	2,105	4,923	415	2,527	2,242
沖 縄		1	1	0	2	6	34	4	44	23	345	55	423	30	380	59
不 明		1	0	4	5	0	5	15	20	9	124	256	389	10	129	275
合 計		24	50	270	344	176	721	1,136	2,033	1,923	15,040	18,029	34,992	2,123	15,811	19,435

※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ バスは、バス及びマイクロバス。ハイタクは、ミニバン及びセダン等。トラックは、貨物車。

※ 死傷者数とは、事業用自動車が第1当事者となった事故における全当事者数をいう。

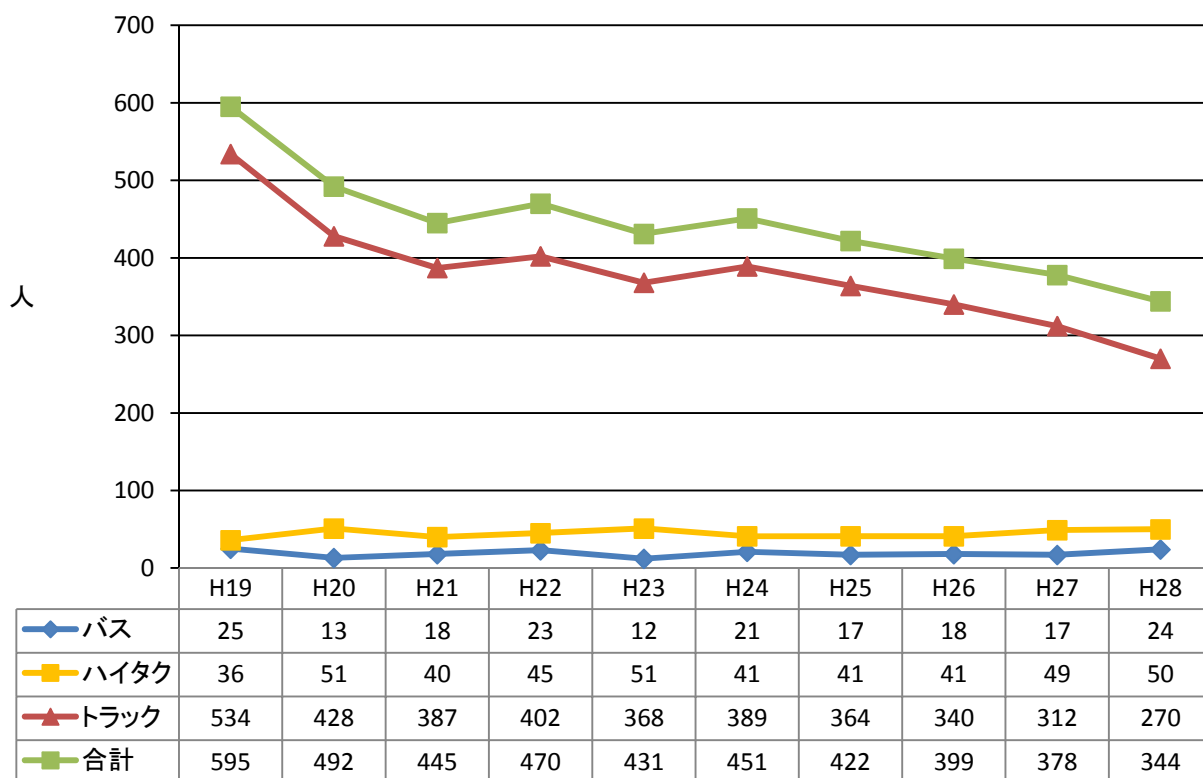
付録6 交通事故発生状況の推移（平成 3-28 年）

事故状況 年	全体			貨物自動車					
	事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	事故件数 (件)		死者数(人)		負傷者数(人)	
				事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成 3 年	662,392	11,109	810,245	23,396	73,707	761	1,172	30,840	89,065
平成 4 年	695,346	11,452	844,003	23,694	74,660	763	1,133	30,605	89,592
平成 5 年	724,678	10,945	878,633	24,258	77,740	708	1,074	31,281	93,211
平成 6 年	729,461	10,653	881,723	26,114	78,910	750	1,042	33,884	94,482
平成 7 年	761,794	10,684	922,677	27,840	82,551	800	1,125	35,984	99,112
平成 8 年	771,085	9,943	942,204	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成 9 年	780,401	9,642	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,882	9,214	990,676	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	32,403	76,464	637	622	43,460	94,962
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	32,000	73,446	632	571	42,656	90,986
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	30,328	68,005	557	519	40,328	84,300
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	27,356	61,829	534	506	36,316	77,224
平成20年	766,394	5,209	945,703	24,222	55,315	428	430	31,852	68,608
平成21年	737,637	4,979	911,215	20,681	49,851	387	371	27,049	62,133
平成22年	725,924	4,948	896,297	21,049	48,747	402	412	27,897	60,605
平成23年	692,084	4,691	854,613	20,568	46,826	368	386	27,282	58,427
平成24年	665,157	4,438	825,392	19,474	43,978	389	316	25,739	55,825
平成25年	629,033	4,388	781,492	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720
平成27年	536,899	4,117	666,023	16,156	34,719	312	257	21,366	44,468
平成28年	499,201	3,904	618,853	14,600	32,197	270	277	19,165	41,186

※「全体」の事故件数、死者数及び負傷者数の出典：警察庁交通局「平成 28 年中の交通事故死者数について」

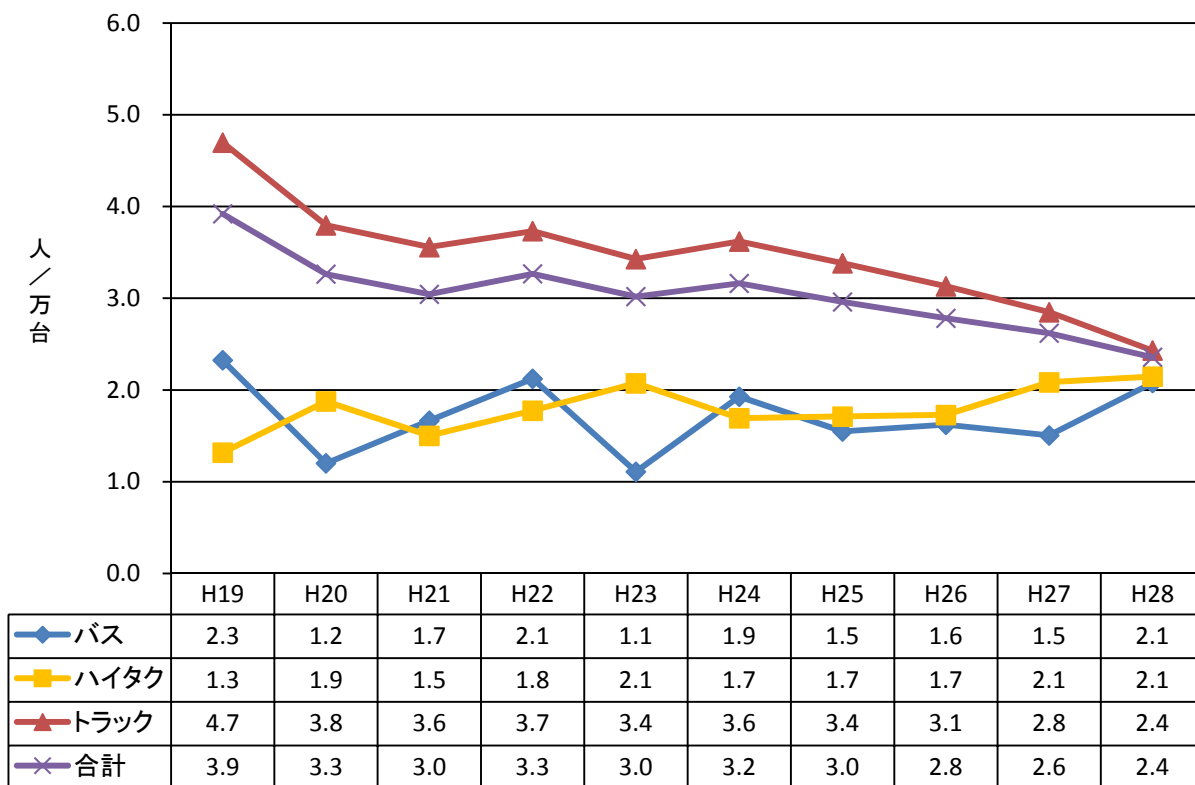
※「貨物自動車」の事故件数、死者数及び負傷者数は、軽自動車を除く。

付録7 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成19～28年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

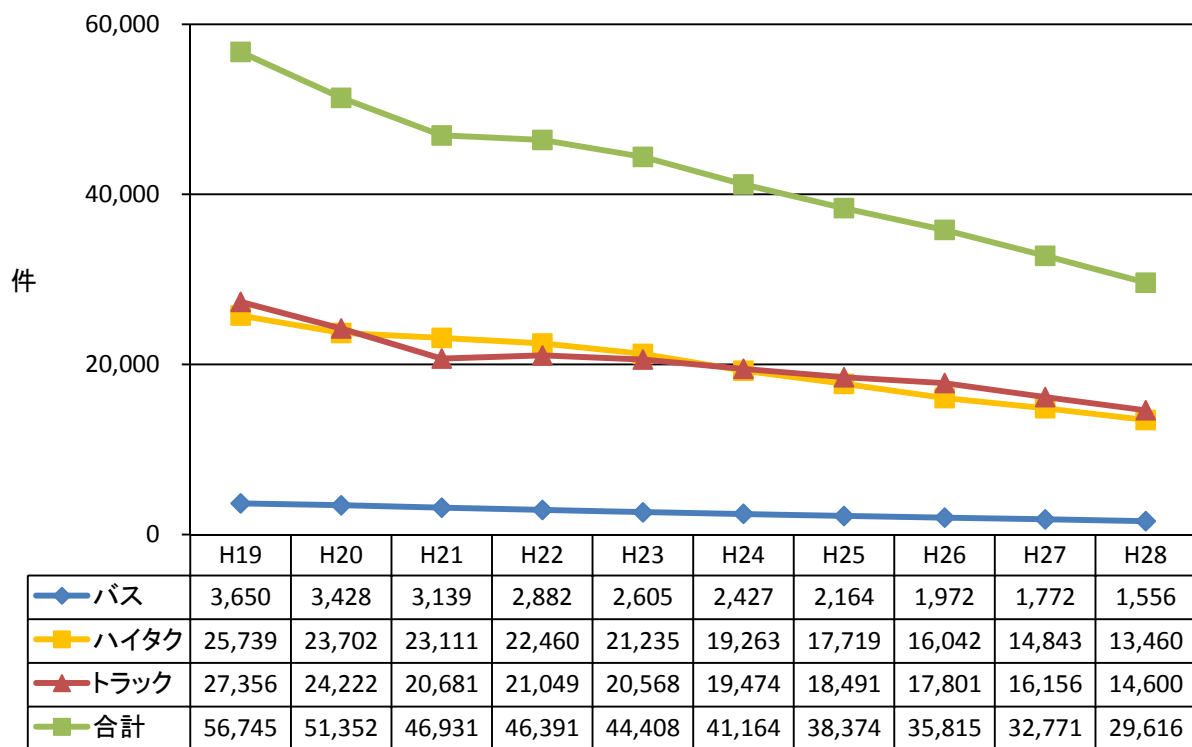
付録8 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成19～28年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

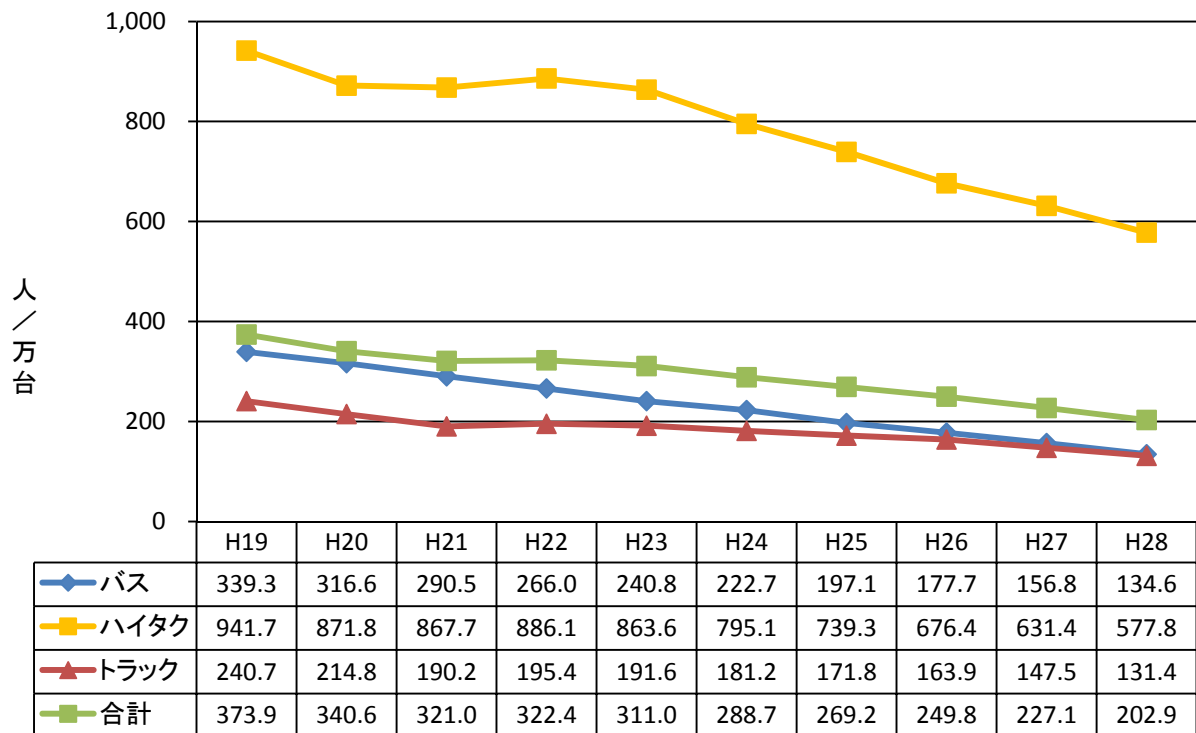
※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（平成28年12月末現在）」を使用した。

付録9 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成19-28年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

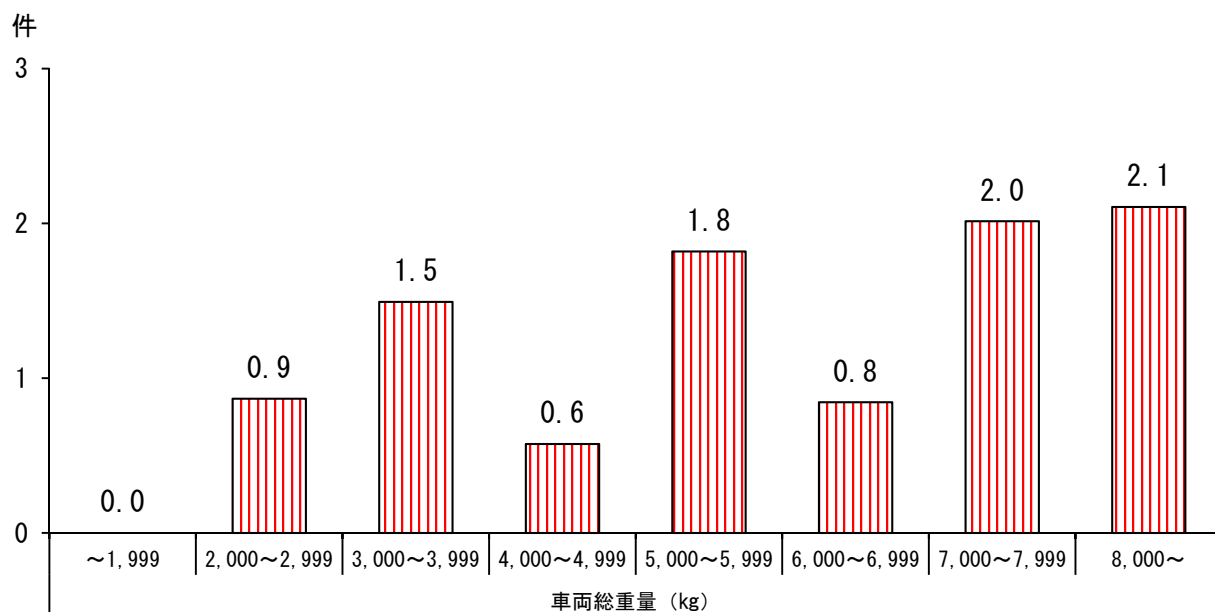
付録10 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成19-28年）



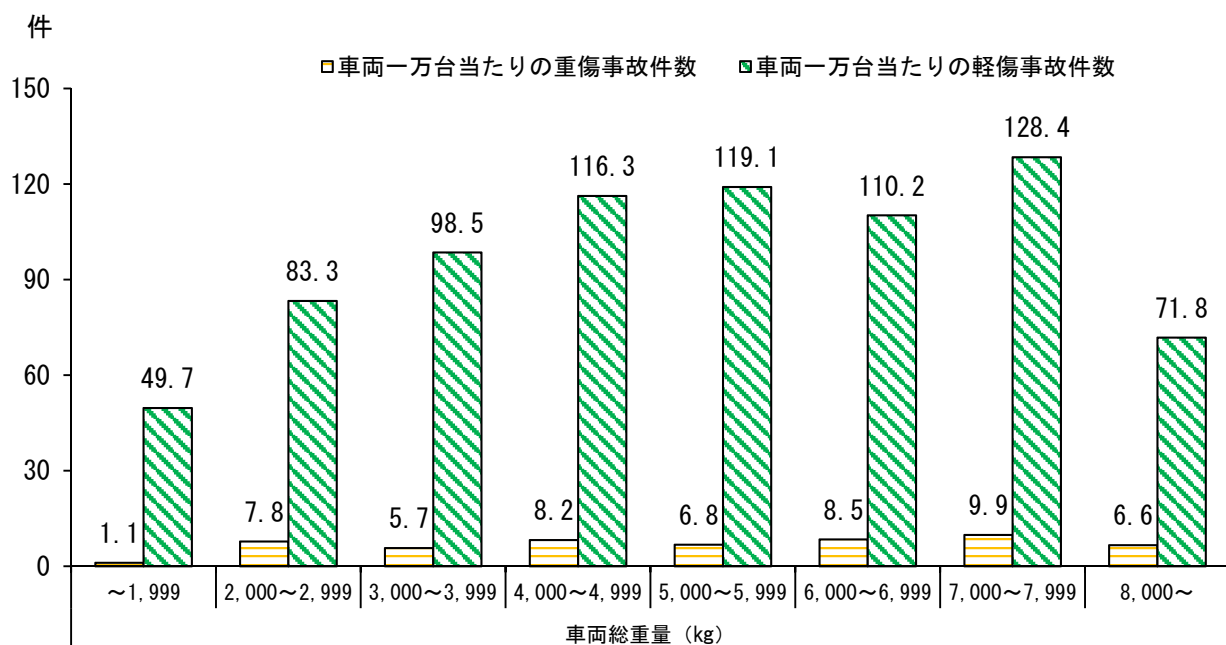
※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（平成28年12月末現在）」を使用した。

付録 11 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの死亡事故件数（平成 28 年）



付録 12 事業用貨物自動車の車両総重量別車両 1 万台当たりの重傷・軽傷事故件数（平成 28 年）



付録 13 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成 19-28 年）

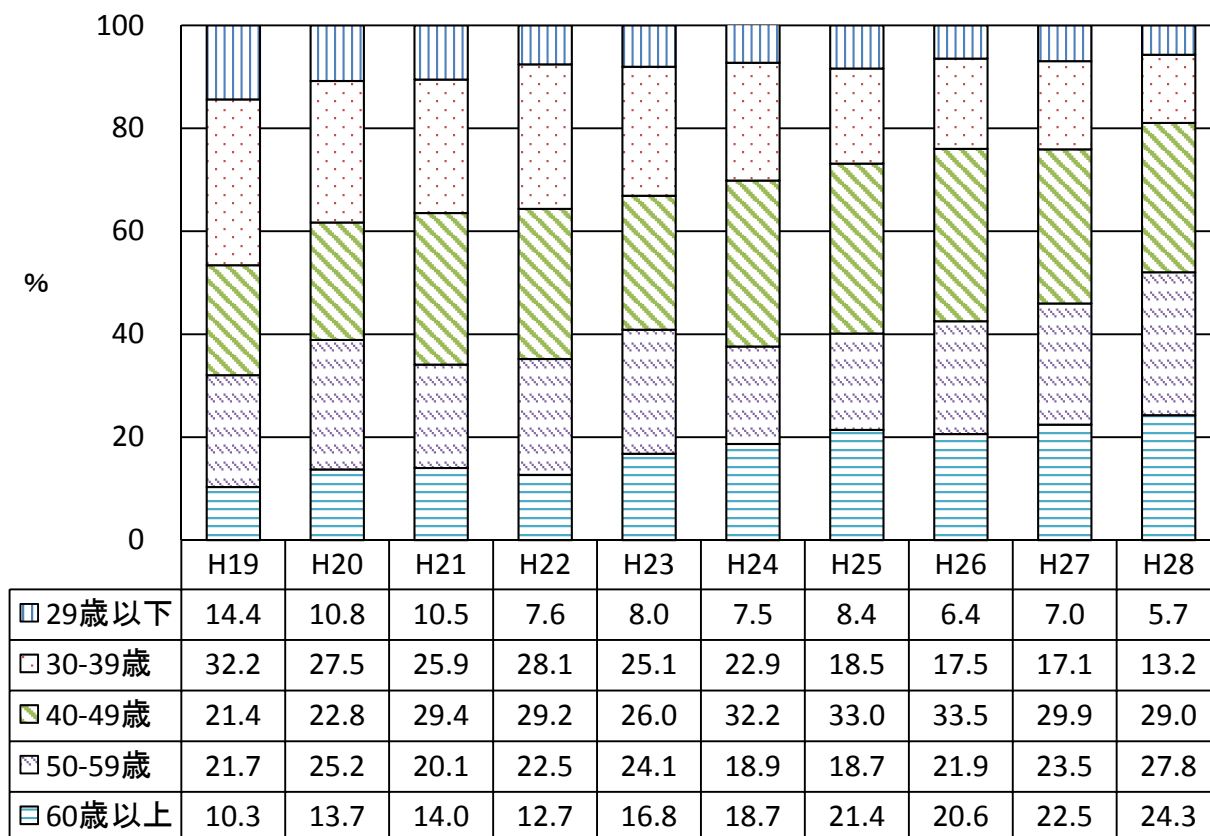
（1-1） 運転者年齢別死亡事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

（件）

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H19		82	184	122	124	59	571
H20		51	130	108	119	65	473
H21		45	111	126	86	60	428
H22		34	126	131	101	57	449
H23		33	103	107	99	69	411
H24		32	98	138	81	80	428
H25		34	75	134	76	87	406
H26		25	68	130	85	80	388
H27		26	64	112	88	84	374
H28		18	42	92	88	77	317

※ 軽自動車及びミニカーを除く

（1-2） 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



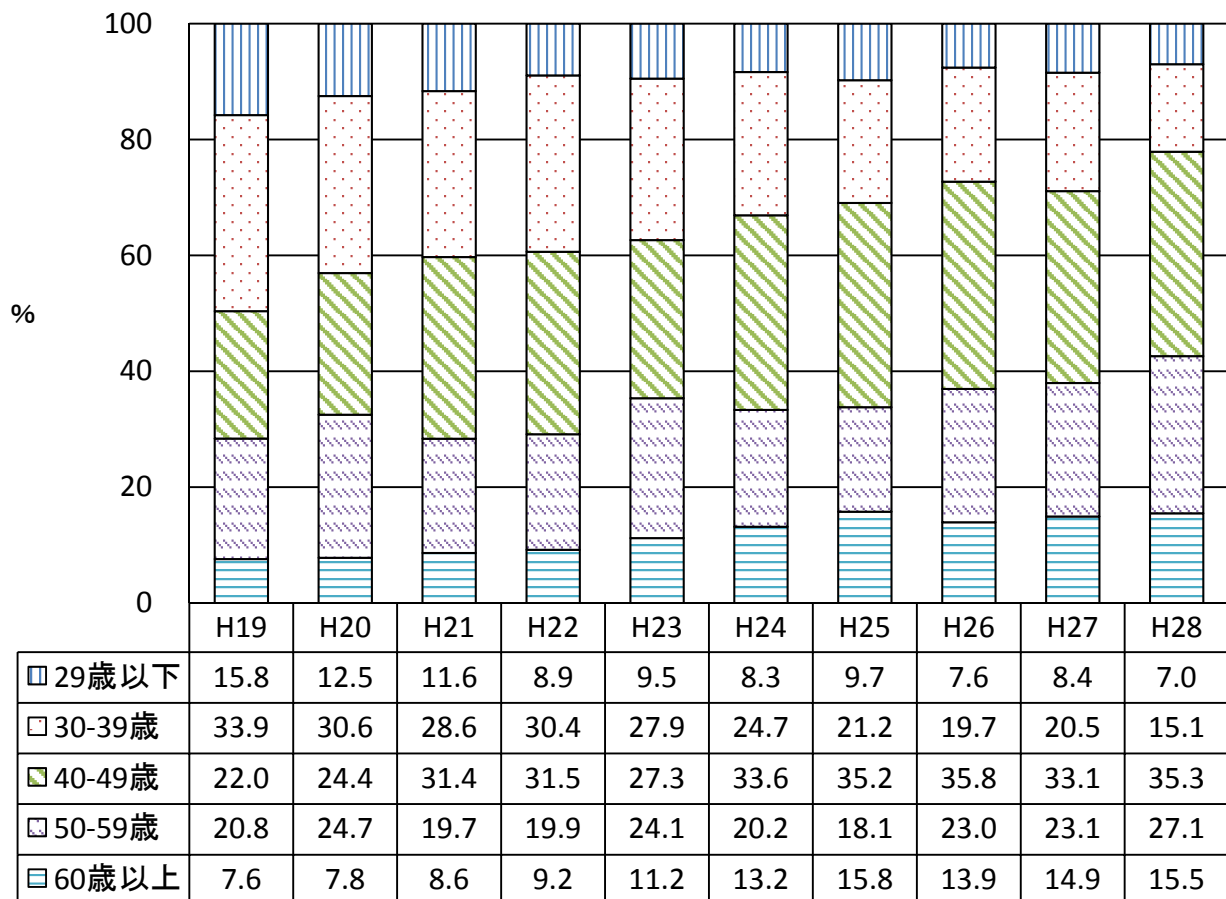
(2-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H19		81	174	113	107	39	514
H20		51	125	100	101	32	409
H21		43	106	116	73	32	370
H22		34	116	120	76	35	381
H23		33	97	95	84	39	348
H24		31	92	125	75	49	372
H25		34	74	123	63	55	349
H26		25	65	118	76	46	330
H27		26	63	102	71	46	308
H28		18	39	91	70	40	258

※ 軽自動車を除く

(2-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（トラック）



付録 14 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成 19-28 年）

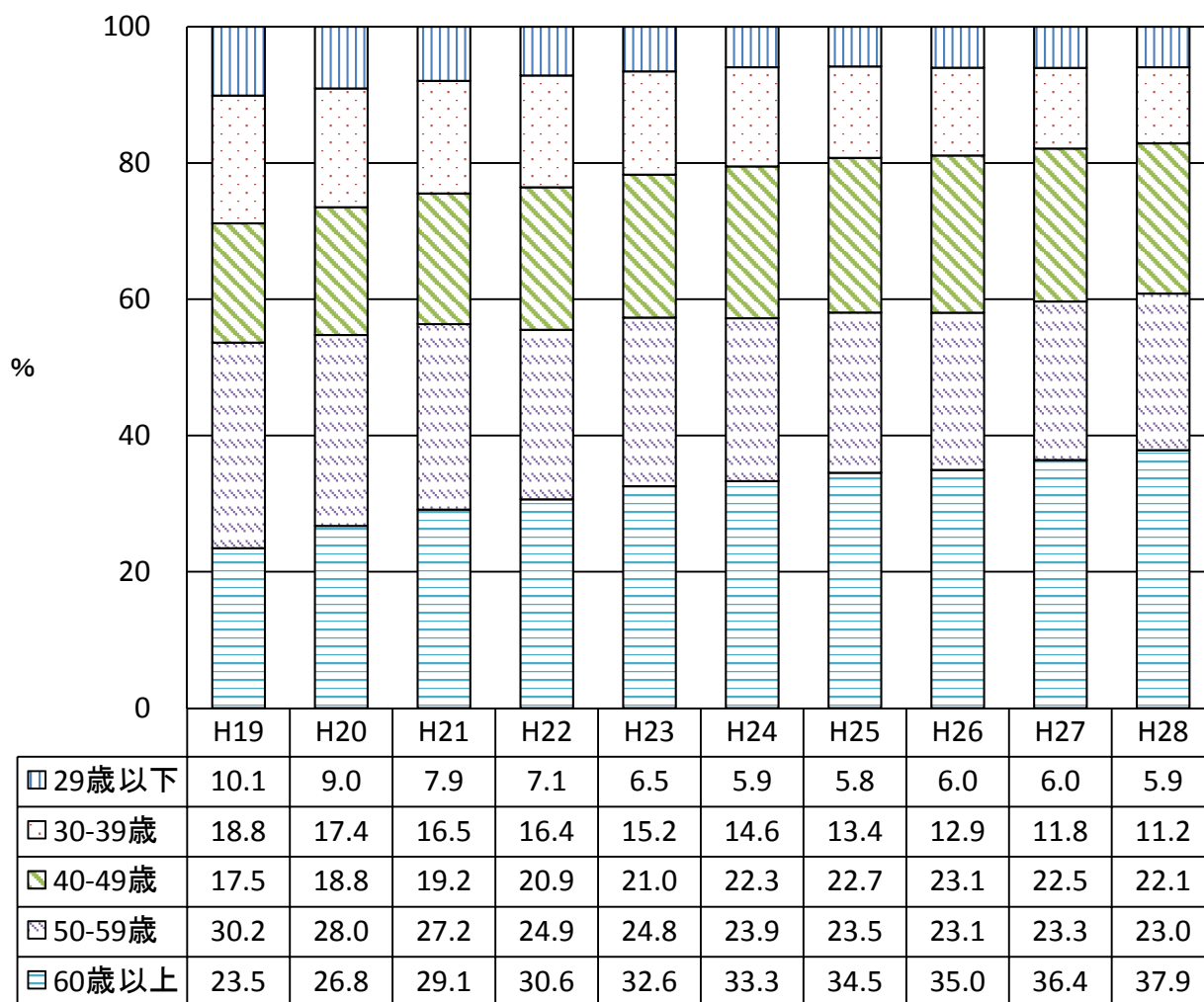
（1-1） 運転者年齢別死傷事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

（件）

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H19		5,731	10,644	9,936	17,119	13,315	56,745
H20		4,645	8,954	9,636	14,380	13,737	51,352
H21		3,720	7,760	9,000	12,785	13,666	46,931
H22		3,312	7,613	9,708	11,547	14,211	46,391
H23		2,902	6,736	9,318	10,991	14,461	44,408
H24		2,442	5,991	9,178	9,843	13,710	41,164
H25		2,232	5,155	8,709	9,026	13,252	38,374
H26		2,154	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815
H27		1,976	3,878	7,359	7,621	11,937	32,771
H28		1,759	3,307	6,534	6,804	11,212	29,616

※ 軽自動車及びミニカーを除く

（1-2） 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



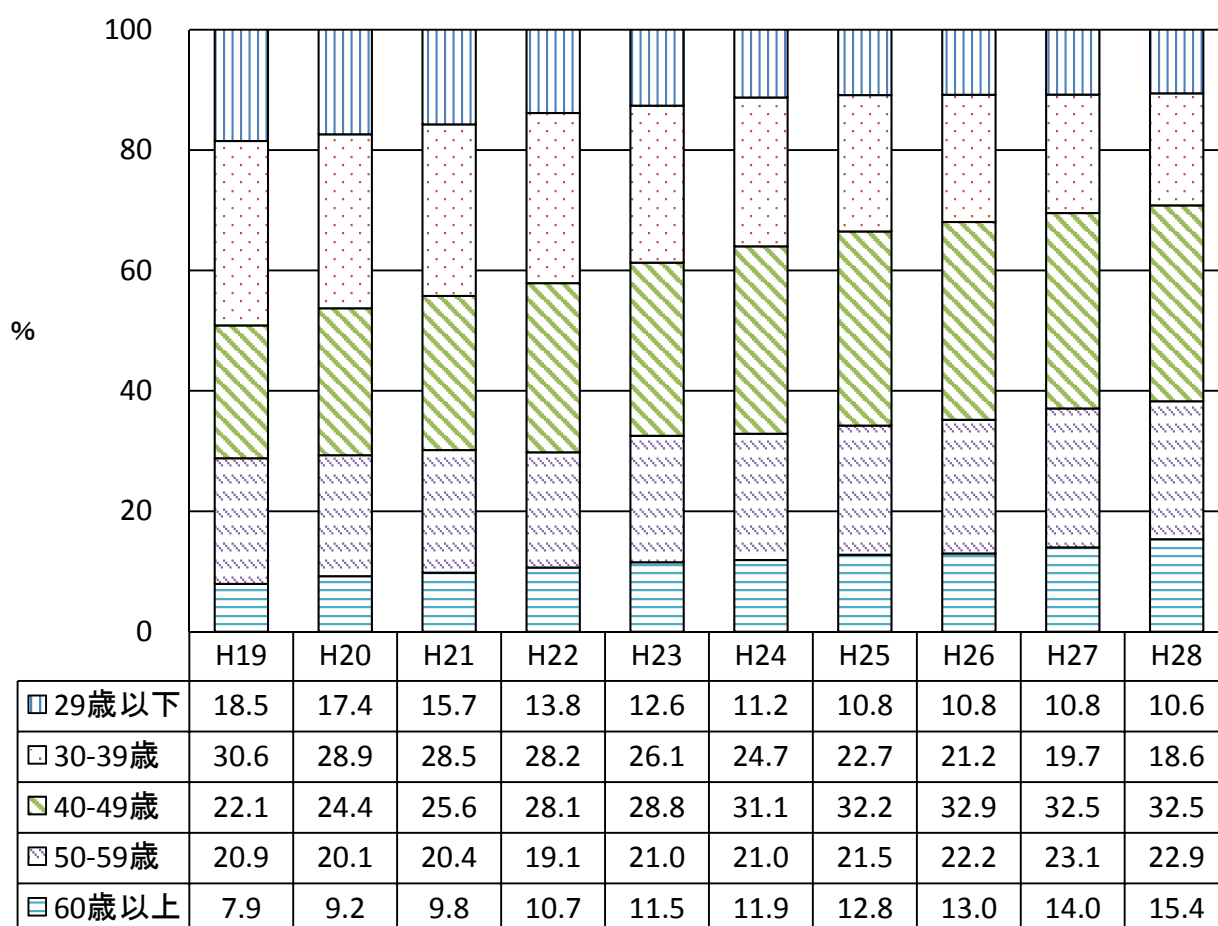
(2-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H19		5,057	8,380	6,039	5,707	2,173	27,356
H20		4,209	6,997	5,911	4,870	2,235	24,222
H21		3,249	5,897	5,296	4,213	2,026	20,681
H22		2,912	5,946	5,918	4,030	2,243	21,049
H23		2,595	5,363	5,919	4,320	2,371	20,568
H24		2,189	4,818	6,065	4,084	2,318	19,474
H25		2,005	4,190	5,962	3,971	2,363	18,491
H26		1,921	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801
H27		1,739	3,181	5,244	3,728	2,264	16,156
H28		1,543	2,717	4,750	3,345	2,245	14,600

※ 軽自動車を除く

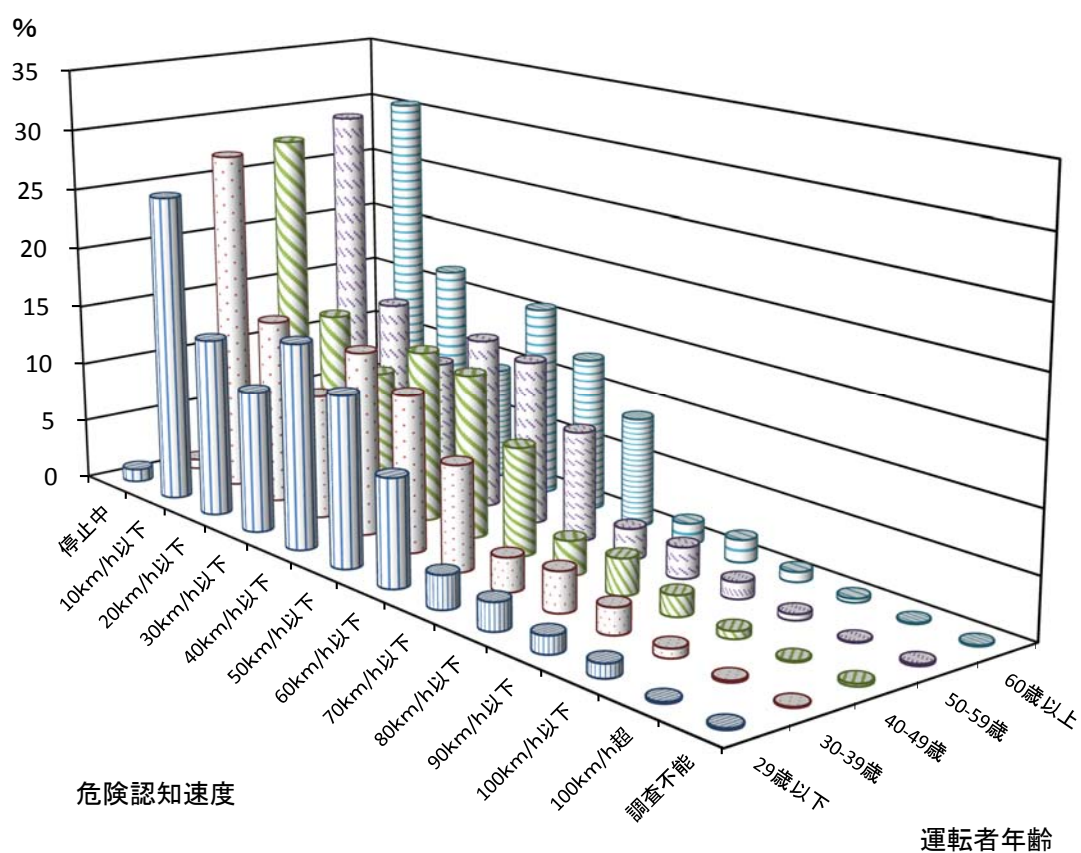
(2-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（トラック）



付録 15 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(%)

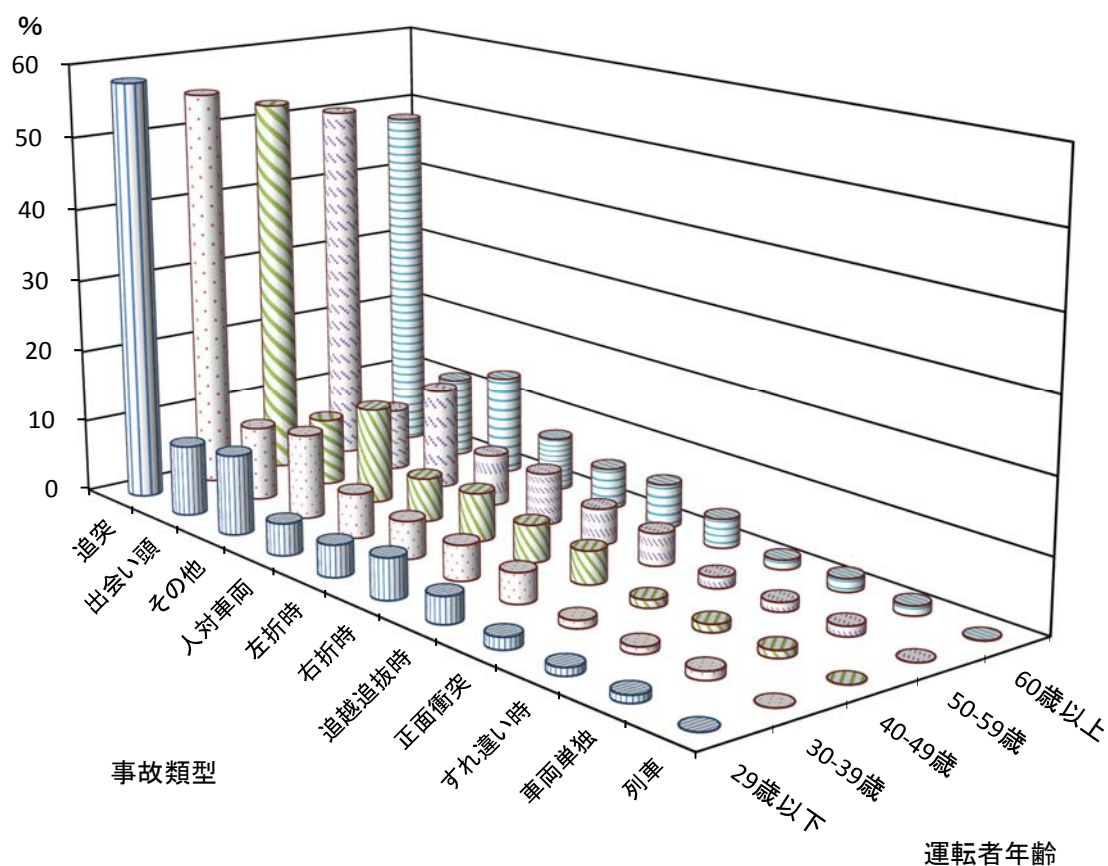
運転者年齢 危険認知速度	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
停止中	1.0	0.8	0.7	0.7	1.2	0.8
10km/h以下	25.5	28.2	28.7	30.1	30.6	28.9
20km/h以下	14.7	15.3	14.8	14.9	16.9	15.2
30km/h以下	11.6	10.2	11.1	10.9	9.3	10.7
40km/h以下	16.8	15.1	14.1	14.1	15.8	14.8
50km/h以下	13.9	12.8	13.4	13.5	12.7	13.2
60km/h以下	8.7	8.6	8.8	8.9	8.9	8.8
70km/h以下	2.7	2.8	2.8	2.5	1.6	2.5
80km/h以下	2.3	3.3	2.9	2.5	1.8	2.7
90km/h以下	1.4	2.1	1.7	1.3	0.8	1.5
100km/h以下	1.1	0.7	0.6	0.5	0.3	0.6
100km/h超	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
調査不能	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録 16 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(%)

運転者年齢 事故類型	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
追突	57.9	55.1	52.4	50.2	48.0	52.3
出会い頭	9.6	10.1	9.2	8.5	11.1	9.5
その他	10.9	11.6	13.2	13.8	13.7	12.9
人対車両	4.3	6.1	5.9	7.0	7.3	6.2
左折時	4.3	5.1	6.6	7.1	5.5	6.0
右折時	5.6	4.8	5.1	4.9	6.0	5.2
追越追抜時	3.6	4.1	4.5	4.4	4.0	4.2
正面衝突	1.6	1.1	1.1	1.5	1.3	1.3
すれ違い時	1.1	0.9	1.1	1.3	1.8	1.2
車両単独	1.0	1.2	1.0	1.3	1.3	1.2
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録 17 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（平成 28 年）

(件)

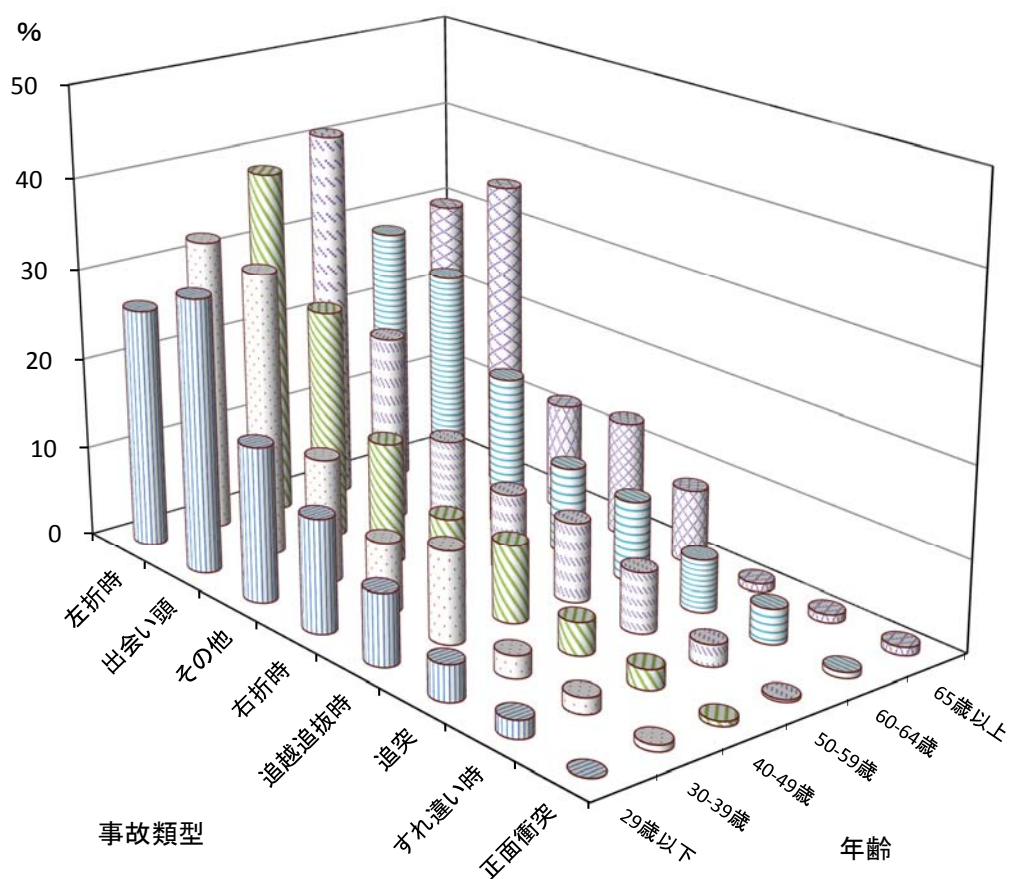
事故内容			死亡			重傷			軽傷			合計		
道路区分			高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計
事故類型詳細区分														
車両相互	自転車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	3	3	0	5	5	0	8
		追突	進行中	0	12	12	0	21	21	0	26	26	0	59
			駐・停車中	0	0	0	0	1	1	0	8	8	0	9
		出会い頭衝突		0	15	15	0	52	52	0	362	362	0	429
		追越・追抜時衝突		0	2	2	0	22	22	0	120	120	0	144
		進路変更時衝突		0	0	0	0	1	1	0	15	15	0	16
		すれ違い時衝突		0	0	0	0	3	3	0	33	33	0	36
		左折時衝突		0	21	21	0	86	86	0	467	467	0	574
		右折時衝突		0	1	1	0	22	22	0	125	125	0	148
		横断時衝突		0	0	0	0	4	4	0	11	11	0	15
		転回時衝突		0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
		後退時衝突		0	0	0	0	2	2	0	27	27	0	29
		その他		0	2	2	0	18	18	0	140	140	0	160
		小計		0	53	53	0	235	235	0	1,341	1,341	0	1,629
	二輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	11
		追突	進行中	0	3	3	0	8	8	3	34	37	3	45
			駐・停車中	1	2	3	1	7	8	1	139	140	3	148
		出会い頭衝突		0	2	2	0	48	48	0	136	136	0	186
		追越・追抜時衝突		0	0	0	2	31	33	5	119	124	7	157
		進路変更時衝突		1	2	3	1	10	11	5	97	102	7	109
		すれ違い時衝突		0	0	0	0	1	1	0	12	12	0	13
		左折時衝突		0	1	1	0	25	25	0	150	150	0	176
		右折時衝突		0	11	11	0	44	44	0	185	185	0	240
		横断時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		転回時衝突		0	2	2	0	6	6	0	16	16	0	24
		後退時衝突		0	1	1	0	2	2	1	64	65	1	68
		その他		1	2	3	0	10	10	3	67	70	4	83
		小計		3	26	29	4	192	196	18	1,030	1,048	25	1,248
	四輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	4
			その他	1	15	16	0	38	38	1	107	108	2	162
		追突	進行中	6	2	8	24	22	46	379	526	905	409	550
			駐・停車中	13	5	18	32	112	144	504	5,745	6,249	549	5,862
		出会い頭衝突		0	5	5	0	62	62	1	709	710	1	776
		追越・追抜時衝突		0	0	0	1	3	4	56	256	312	57	259
		進路変更時衝突		0	0	0	10	3	13	159	359	518	169	362
		すれ違い時衝突		0	1	1	0	4	4	0	121	121	0	126
		左折時衝突		0	0	0	0	2	2	4	123	127	4	129
		右折時衝突		0	5	5	0	29	29	1	330	331	1	364
		横断時衝突		0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
		転回時衝突		0	0	0	0	2	2	0	22	22	0	24
		後退時衝突		0	0	0	0	5	5	14	418	432	14	423
		その他		4	1	5	12	19	31	68	266	334	84	286
		小計		24	34	58	79	302	381	1,187	8,987	10,174	1,290	9,323
	その他	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
		追突	進行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			駐・停車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		出会い頭衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		追越・追抜時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		進路変更時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		すれ違い時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		左折時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		右折時衝突		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
		横断時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		転回時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		後退時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計		0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2
合計			27	113	140	83	729	812	1,205	11,360	12,565	1,315	12,202	

13,517

付録 18 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率
(平成 28 年)

(%)

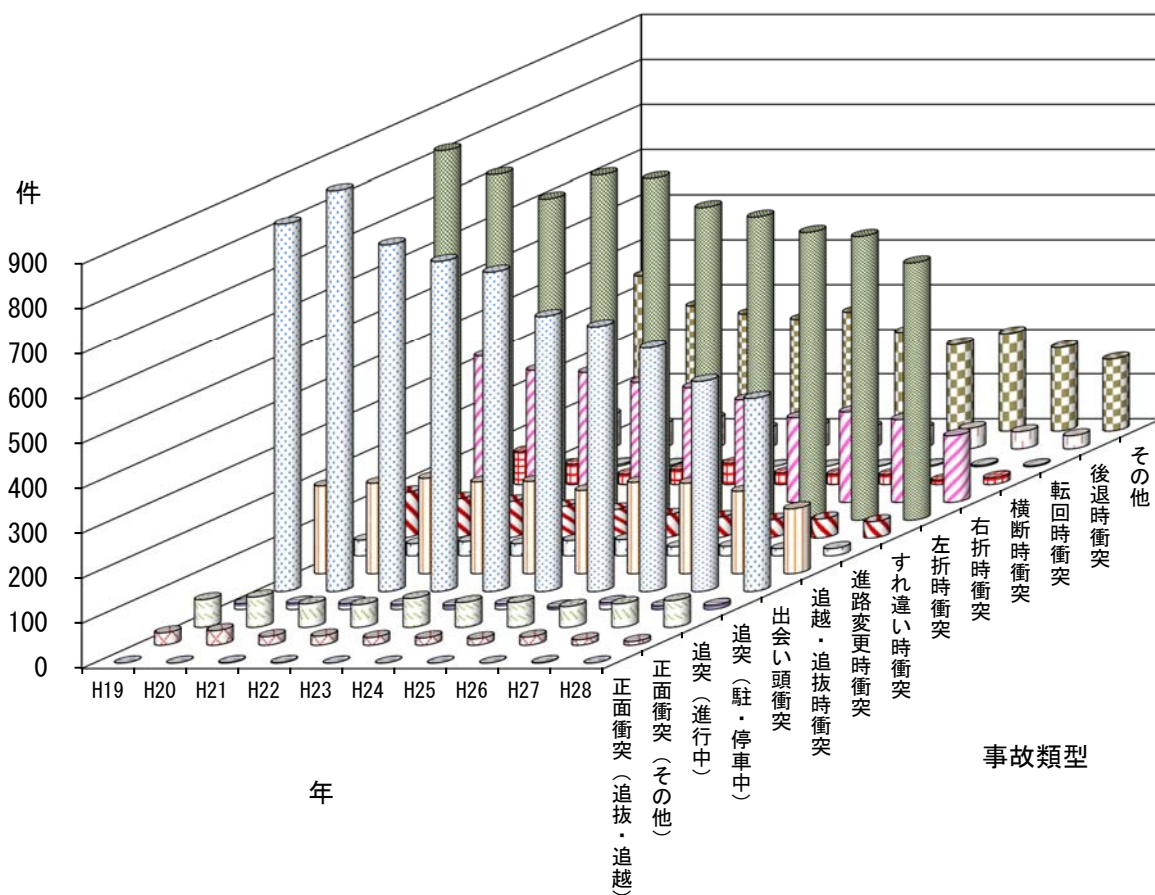
事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
左折時	26.3	32.3	38.3	41.0	28.4	30.0	35.2
出会い頭	30.3	31.2	25.2	20.5	25.8	34.5	26.3
その他	17.1	13.7	13.4	11.7	16.8	11.8	13.6
右折時	12.5	7.7	8.2	8.8	9.7	12.7	9.1
追越追抜時	7.9	10.2	8.5	8.8	9.0	8.2	8.8
追突	3.9	2.5	3.6	6.6	5.8	0.9	4.2
すれ違い時	2.0	1.8	2.2	2.4	3.9	0.9	2.2
正面衝突	0.0	0.7	0.5	0.3	0.6	0.9	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録 19 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況

(1) 対自転車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

事故類型			(件)									
			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
		その他	27	32	19	20	17	16	14	18	12	8
	追突	進行中	61	67	52	50	64	55	55	46	52	59
		駐・停車中	13	14	13	11	9	12	5	15	8	9
	出会い頭衝突		819	893	773	736	712	613	590	542	467	429
	追越・追抜時衝突		195	201	212	204	205	185	203	201	183	144
	進路変更時衝突		35	27	32	27	34	36	20	21	16	16
	すれ違い時衝突		100	86	80	69	62	50	45	39	42	36
	左折時衝突		823	770	716	769	761	697	676	642	633	574
	右折時衝突		326	294	289	267	255	228	188	201	184	148
	横断時衝突		73	45	23	33	47	26	23	22	10	15
	転回時衝突		2	4	3	1	0	0	1	2	3	2
	後退時衝突		73	53	65	43	50	46	44	45	38	29
	その他		347	280	262	250	266	221	193	218	186	160
	合計		2,894	2,766	2,540	2,481	2,482	2,185	2,057	2,012	1,835	1,629

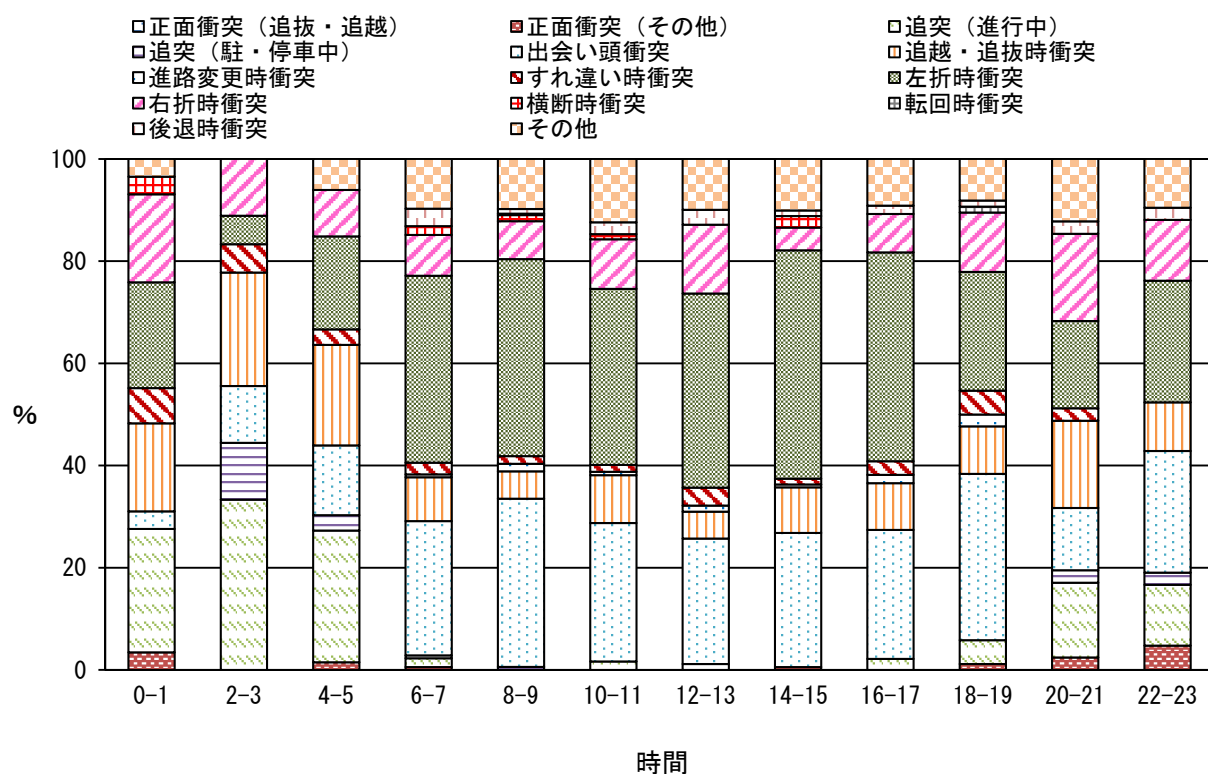


(2-1) 対自転車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成 28 年）

時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
対自転車	正面衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追越・追抜	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	2	8
	その他	7	6	17	3	0	5	2	0	4	4	6	5	59
	追突	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	1	1	9
	進行中	1	2	9	46	111	81	42	47	47	28	5	10	429
	駐・停車中	5	4	13	15	18	28	9	16	17	8	7	4	144
	出会い頭衝突	0	0	0	1	5	2	2	1	3	2	0	0	16
	追越・追抜時衝突	2	1	2	4	5	4	6	2	5	4	1	0	36
	進路変更時衝突	6	1	12	64	130	103	65	80	76	20	7	10	574
	すれ違い時衝突	5	2	6	14	25	29	23	8	14	10	7	5	148
	左折時衝突	1	0	0	3	4	3	0	4	0	0	0	0	15
	右折時衝突	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	横断時衝突	0	0	0	6	3	7	5	2	3	1	1	1	29
	転回時衝突	1	0	4	17	33	37	17	18	17	7	5	4	160
	後退時衝突	29	18	66	175	337	299	171	179	186	86	41	42	1,629
	その他													
	合計													

(2-2) 対自転車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
対自転車	正面衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	追越・追抜	3.4	0.0	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	1.2	2.4	4.8	0.5
	その他	24.1	33.3	25.8	1.7	0.0	1.7	1.2	0.0	2.2	4.7	14.6	11.9	3.6
	追突	0.0	11.1	3.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	0.6
	進行中	3.4	11.1	13.6	26.3	32.9	27.1	24.6	26.3	25.3	32.6	12.2	23.8	26.3
	駐・停車中	17.2	22.2	19.7	8.6	5.3	9.4	5.3	8.9	9.1	9.3	17.1	9.5	8.8
	出会い頭衝突	0.0	0.0	0.0	0.6	1.5	0.7	1.2	0.6	1.6	2.3	0.0	0.0	1.0
	追越・追抜時衝突	6.9	5.6	3.0	2.3	1.5	1.3	3.5	1.1	2.7	4.7	2.4	0.0	2.2
	進路変更時衝突	20.7	5.6	18.2	36.6	38.6	34.4	38.0	44.7	40.9	23.3	17.1	23.8	35.2
	すれ違い時衝突	17.2	11.1	9.1	8.0	7.4	9.7	13.5	4.5	7.5	11.6	17.1	11.9	9.1
	左折時衝突	3.4	0.0	0.0	1.7	1.2	1.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	右折時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.1
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	3.4	0.9	2.3	2.9	1.1	1.6	1.2	2.4	2.4	1.8
	転回時衝突	3.4	0.0	6.1	9.7	9.8	12.4	9.9	10.1	9.1	8.1	12.2	9.5	9.8
	後退時衝突	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	その他													
	合計													



(3-1) 対自転車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（平成 28 年）

(件)

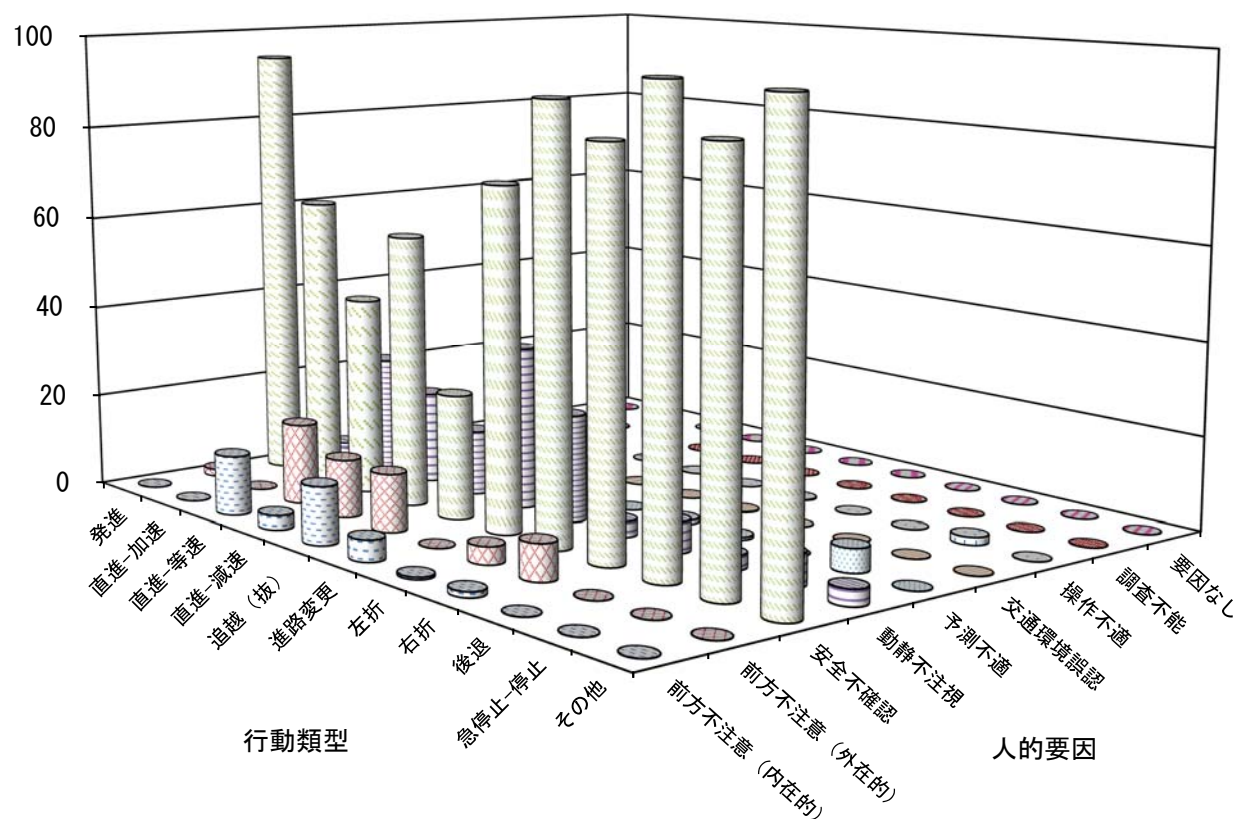
行動類型 人的要因	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0	0	54	2	6	1	3	2	0	0	0	68
前方不注意(外在的)	2	0	73	8	6	0	23	13	0	0	0	125
安全不確認	126	15	182	38	13	16	563	142	32	52	28	1,207
動静不注視	4	6	84	9	17	5	21	11	1	4	1	163
予測不適	0	2	23	6	7	0	6	1	0	3	0	48
交通環境誤認	0	0	7	2	0	0	1	0	0	0	0	10
操作不適	2	1	3	0	0	0	1	0	0	1	0	8
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	134	24	426	65	49	22	618	169	33	60	29	1,629

(3-2) 対自転車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	12.7	3.1	12.2	4.5	0.5	1.2	0.0	0.0	0.0	4.2
前方不注意(外在的)	1.5	0.0	17.1	12.3	12.2	0.0	3.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
安全不確認	94.0	62.5	42.7	58.5	26.5	72.7	91.1	84.0	97.0	86.7	96.6	74.1
動静不注視	3.0	25.0	19.7	13.8	34.7	22.7	3.4	6.5	3.0	6.7	3.4	10.0
予測不適	0.0	8.3	5.4	9.2	14.3	0.0	1.0	0.6	0.0	5.0	0.0	2.9
交通環境誤認	0.0	0.0	1.6	3.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
操作不適	1.5	4.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	1.7	0.0	0.5
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

%

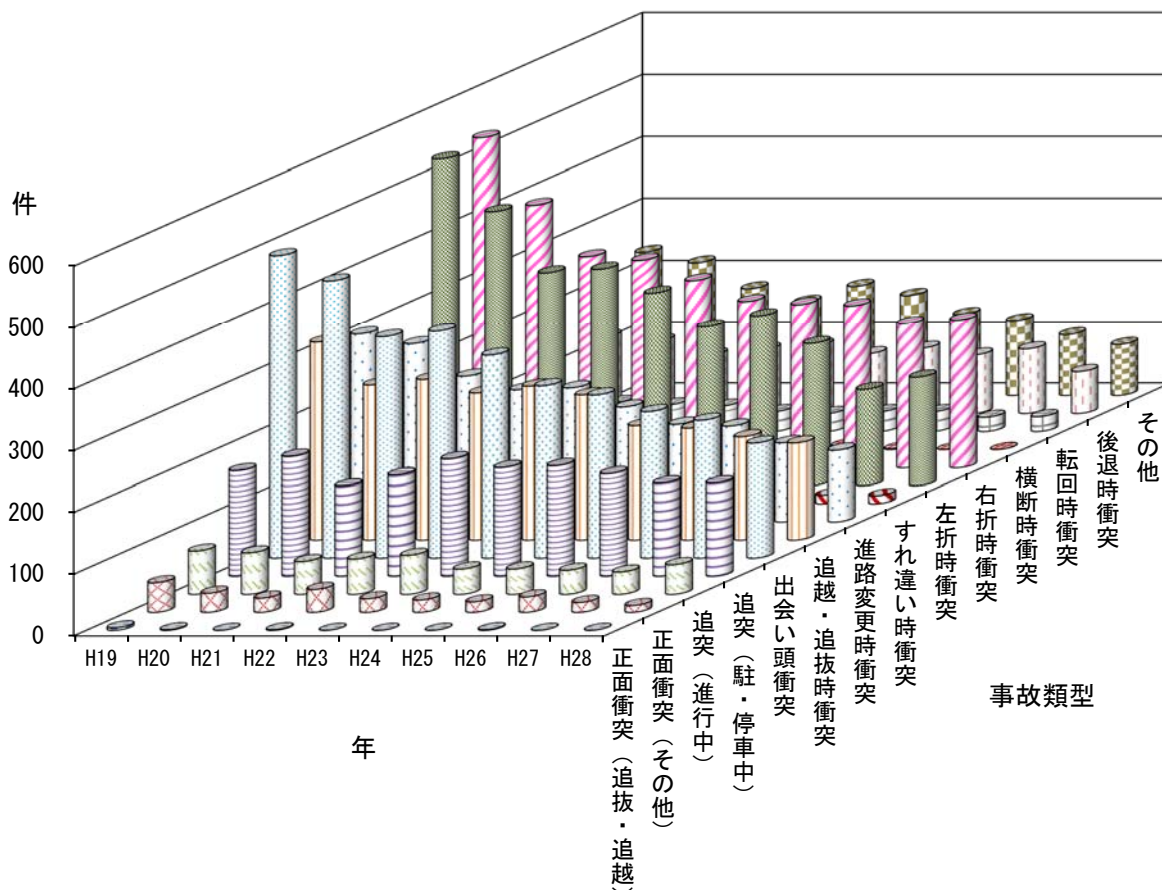


付録 20 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況

(1) 対二輪車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

(件)

事故類型		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
対二輪車	正面衝突	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0
	追越・追抜	48	31	23	37	22	20	17	25	16	11
	その他	70	67	53	57	63	41	41	39	36	48
	追突	171	194	146	164	190	176	179	166	151	151
	進行中	491	450	359	368	329	279	264	237	223	186
	駐・停車中	321	251	260	238	249	235	185	181	167	157
	出会い頭衝突	305	289	236	214	217	186	158	155	128	116
	追越・追抜時衝突	39	30	29	19	16	19	16	18	14	13
	進路変更時衝突	530	445	346	352	313	258	276	231	156	176
	すれ違い時衝突	535	426	343	337	304	270	265	263	234	240
	左折時衝突	5	3	5	7	3	5	6	1	0	0
	横断時衝突	46	47	43	41	32	29	32	32	23	24
	転回時衝突	125	118	95	104	111	97	106	95	105	68
	後退時衝突	233	216	174	152	178	163	132	122	99	83
	その他	2,923	2,568	2,112	2,091	2,027	1,778	1,677	1,566	1,352	1,273
	合計										



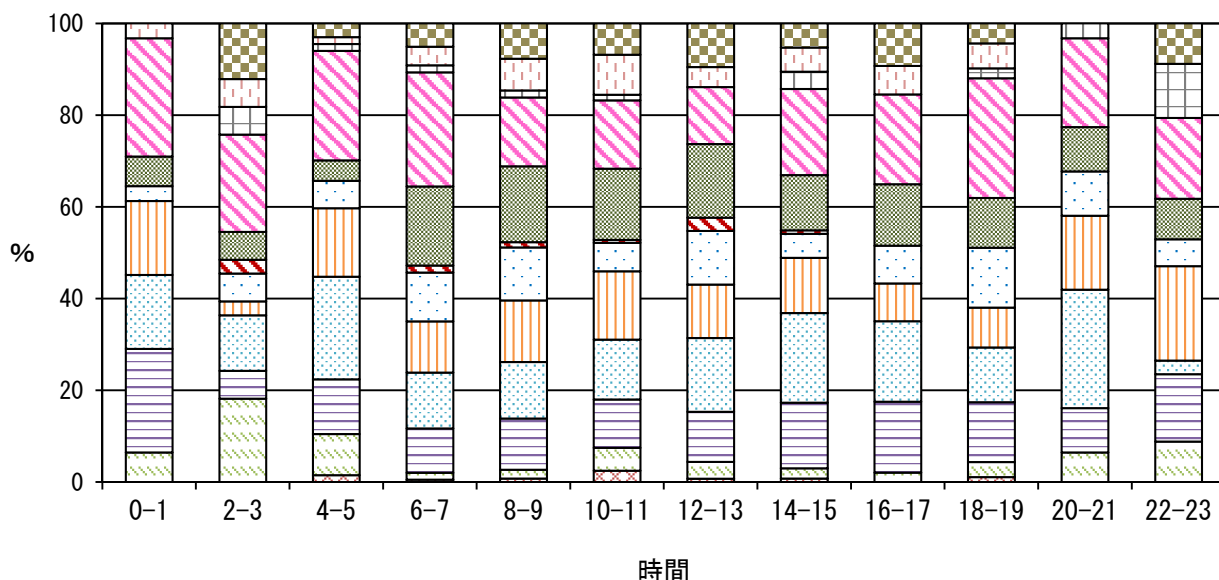
(2-1) 対二輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成 28 年）

時間（2時間毎）			0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
対二輪車	事故類型	正面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		追越・追抜	0	0	1	1	2	4	1	1	0	1	0	0	11
	衝突	その他	2	6	6	3	5	8	5	3	2	3	2	3	48
		進行中	7	2	8	19	29	17	15	19	15	12	3	5	151
	追突	駐・停車中	5	4	15	24	32	21	22	26	17	11	8	1	186
		出会い頭衝突	5	1	10	22	35	24	16	16	8	8	5	7	157
	追越・追抜時衝突	進路変更時衝突	1	2	4	21	30	10	16	7	8	12	3	2	116
		すれ違い時衝突	0	1	0	3	3	1	4	1	0	0	0	0	13
	左折時衝突	右折時衝突	2	2	3	34	43	25	22	16	13	10	3	3	176
		横断時衝突	8	7	16	49	39	24	17	25	19	24	6	6	240
	横断時衝突	転回時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		後退時衝突	0	2	1	3	4	2	0	5	0	2	1	4	24
	後退時衝突	その他	1	2	1	8	18	14	6	7	6	5	0	0	68
		合計	0	4	2	10	20	11	13	7	9	4	0	3	83
	合計		31	33	67	197	260	161	137	133	97	92	31	34	1,273

(2-2) 対二輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

時間（2時間毎）			0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
対二輪車	事故類型	正面	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		追越・追抜	0.0	0.0	1.5	0.5	0.8	2.5	0.7	0.8	0.0	1.1	0.0	0.0	0.9
	衝突	その他	6.5	18.2	9.0	1.5	1.9	5.0	3.6	2.3	2.1	3.3	6.5	8.8	3.8
		進行中	22.6	6.1	11.9	9.6	11.2	10.6	10.9	14.3	15.5	13.0	9.7	14.7	11.9
	追突	駐・停車中	16.1	12.1	22.4	12.2	12.3	13.0	16.1	19.5	17.5	12.0	25.8	2.9	14.6
		出会い頭衝突	16.1	3.0	14.9	11.2	13.5	14.9	11.7	12.0	8.2	8.7	16.1	20.6	12.3
	追越・追抜時衝突	進路変更時衝突	3.2	6.1	6.0	10.7	11.5	6.2	11.7	5.3	8.2	13.0	9.7	5.9	9.1
		すれ違い時衝突	0.0	3.0	0.0	1.5	1.2	0.6	2.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	左折時衝突	右折時衝突	6.5	6.1	4.5	17.3	16.5	15.5	16.1	12.0	13.4	10.9	9.7	8.8	13.8
		横断時衝突	25.8	21.2	23.9	24.9	15.0	14.9	12.4	18.8	19.6	26.1	19.4	17.6	18.9
	横断時衝突	転回時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		後退時衝突	0.0	6.1	1.5	1.5	1.5	1.2	0.0	3.8	0.0	2.2	3.2	11.8	1.9
	後退時衝突	その他	3.2	6.1	1.5	4.1	6.9	8.7	4.4	5.3	6.2	5.4	0.0	0.0	5.3
		合計	0.0	12.1	3.0	5.1	7.7	6.8	9.5	5.3	9.3	4.3	0.0	8.8	6.5
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突（追抜・追越）
- 正面衝突（その他）
- 追突（進行中）
- 追突（駐・停車中）
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対二輪車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(平成 28 年)

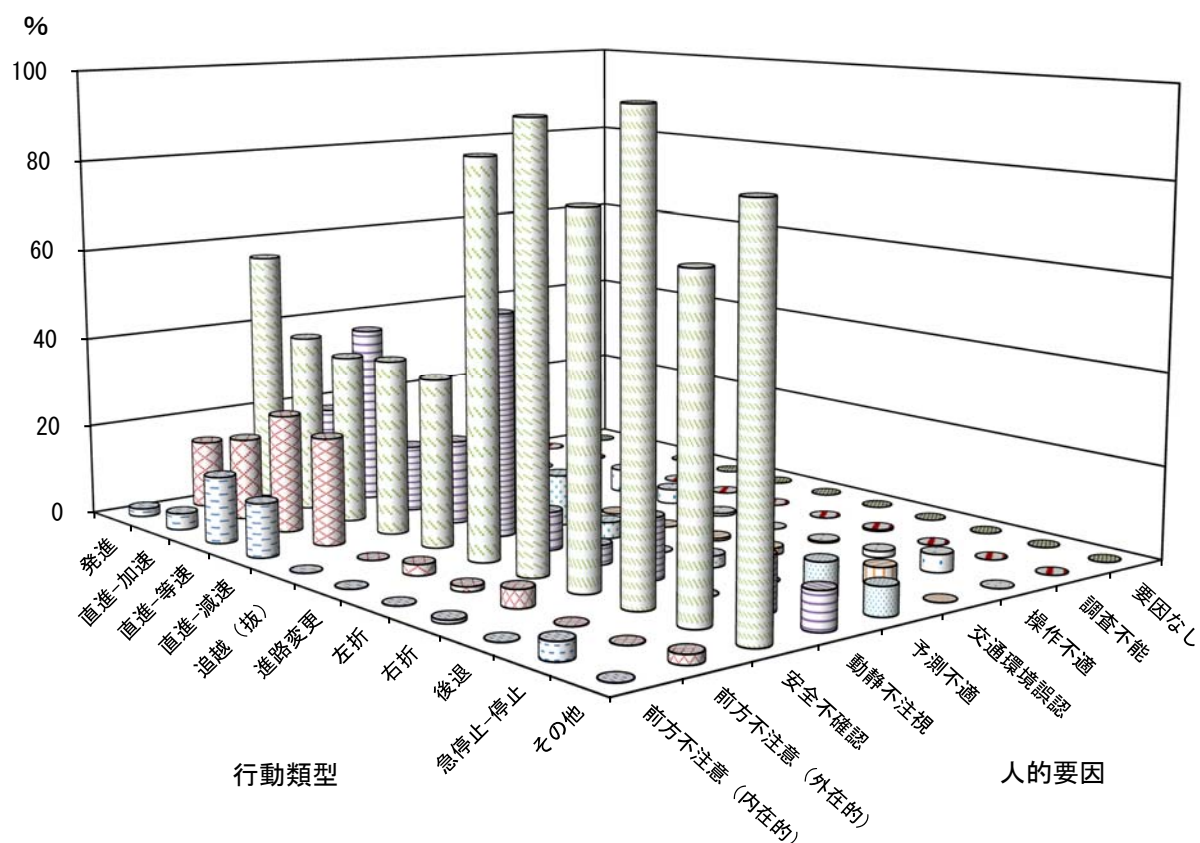
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	2	1	31	7	0	0	0	2	0	1	0	44
前方不注意(外在的)	17	5	55	14	0	4	2	11	0	0	1	109
安全不確認	65	11	79	23	23	144	179	219	75	18	41	877
動静不注視	21	11	31	11	31	14	8	37	0	3	4	171
予測不適	2	0	12	1	7	6	0	7	0	2	3	40
交通環境誤認	1	0	4	1	0	0	1	4	0	1	0	12
操作不適	8	0	2	3	2	1	0	1	1	1	0	19
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	116	28	214	60	63	169	190	282	76	26	49	1,273

(3-2) 対二輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(平成 28 年)

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	1.7	3.6	14.5	11.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	3.8	0.0	3.5
前方不注意(外在的)	14.7	17.9	25.7	23.3	0.0	2.4	1.1	3.9	0.0	0.0	2.0	8.6
安全不確認	56.0	39.3	36.9	38.3	36.5	85.2	94.2	77.7	98.7	69.2	83.7	68.9
動静不注視	18.1	39.3	14.5	18.3	49.2	8.3	4.2	13.1	0.0	11.5	8.2	13.4
予測不適	1.7	0.0	5.6	1.7	11.1	3.6	0.0	2.5	0.0	7.7	6.1	3.1
交通環境誤認	0.9	0.0	1.9	1.7	0.0	0.0	0.5	1.4	0.0	3.8	0.0	0.9
操作不適	6.9	0.0	0.9	5.0	3.2	0.6	0.0	0.4	1.3	3.8	0.0	1.5
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

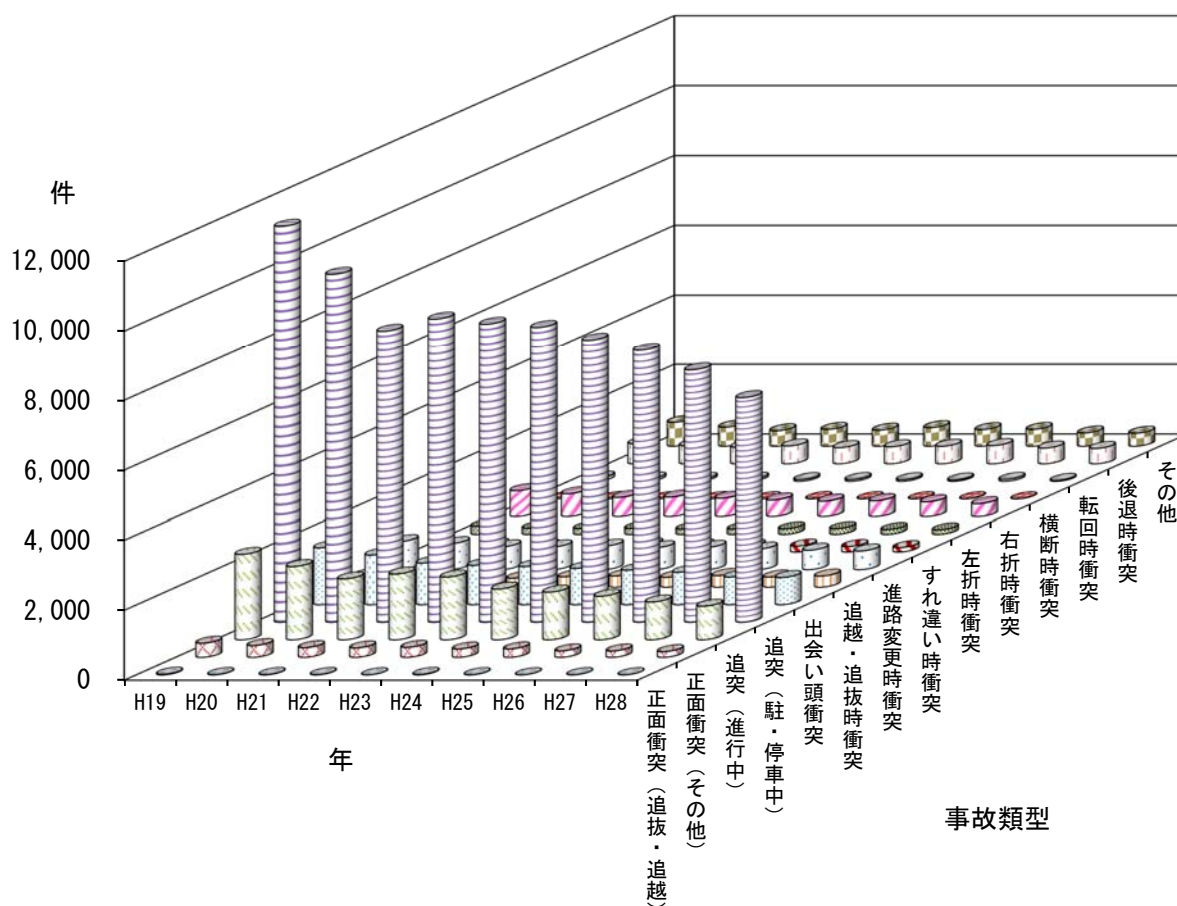


付録 21 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況

(1) 対四輪車の事故類型別の死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

(件)

事故類型			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	19	9	10	9	3	13	6	2	5	4
		その他	402	335	276	268	285	236	239	182	180	162
	追突	進行中	2,443	2,094	1,741	1,880	1,794	1,450	1,363	1,246	1,081	959
		駐・停車中	11,341	9,968	8,335	8,683	8,536	8,443	8,074	7,778	7,210	6,411
	出会い頭衝突		1,627	1,421	1,190	1,126	1,093	1,041	989	929	793	777
	追越・追抜時衝突		327	281	270	255	297	320	281	332	290	316
	進路変更時衝突		797	741	650	649	671	625	635	585	554	531
	すれ違い時衝突		225	196	158	155	202	175	164	170	157	126
	左折時衝突		235	179	169	175	152	154	160	165	141	129
	右折時衝突		736	649	545	556	522	471	437	449	419	365
	横断時衝突		10	9	6	6	4	7	4	4	3	2
	転回時衝突		89	64	53	57	46	48	44	36	53	24
	後退時衝突		577	517	474	509	460	485	500	520	448	437
	その他		683	545	441	481	458	530	473	479	378	370
	合計		19,511	17,008	14,318	14,809	14,523	13,998	13,369	12,877	11,712	10,613



(2-1) 対四輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成 28 年）

(件)

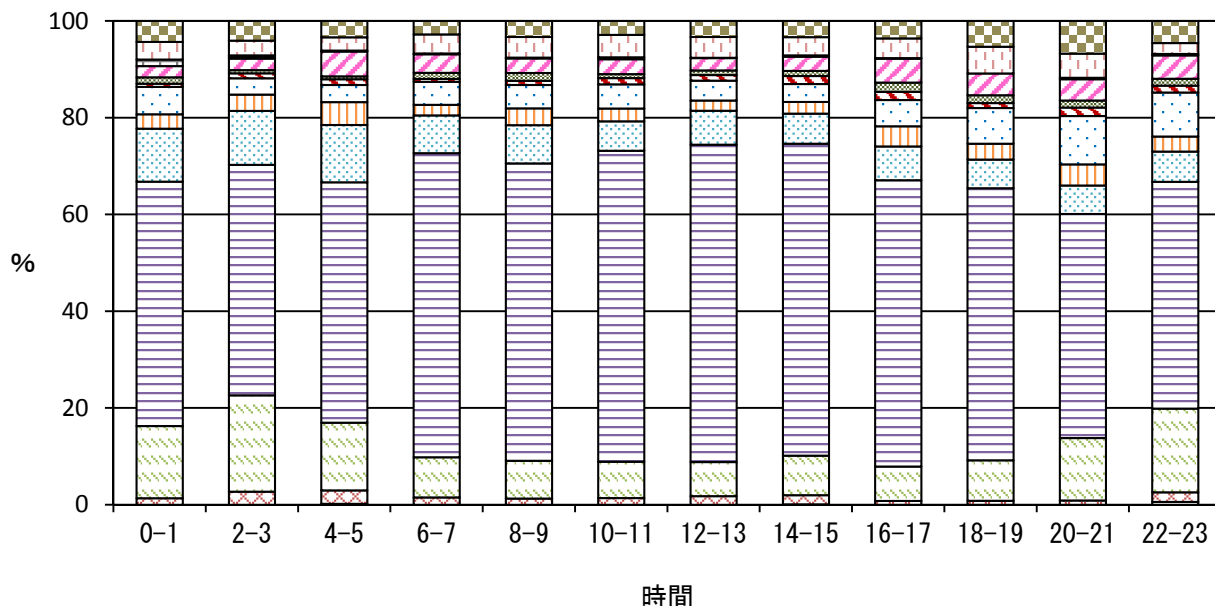
時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
対四輪車	正面衝突	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4
	追越・追抜	4	8	14	18	21	25	26	25	7	4	3	7	162
	その他	45	59	71	99	128	137	103	108	63	41	44	61	959
	追突	152	141	252	751	1,009	1,173	958	852	525	275	158	165	6,411
	進行中	33	33	60	93	130	111	102	82	62	29	20	22	777
	駐・停車中	9	10	24	26	57	48	31	32	37	16	15	11	316
	出会い頭衝突	17	10	18	57	79	91	60	49	48	36	34	32	531
	追越・追抜時衝突	2	3	6	7	14	24	17	22	15	5	6	5	126
	進路変更時衝突	4	2	3	15	27	15	14	14	17	8	5	5	129
	すれ違い時衝突	7	7	26	46	49	56	37	39	44	22	15	17	365
	左折時衝突	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	右折時衝突	4	1	1	2	3	7	1	2	1	0	1	1	24
	横断時衝突	11	9	14	47	70	85	63	50	36	27	17	8	437
	転回時衝突	13	12	17	33	54	52	48	44	32	26	23	16	370
	後退時衝突	301	296	507	1,194	1,641	1,824	1,460	1,321	887	489	341	352	10,613
	その他													
	合計													

(2-2) 対四輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(%)

時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
対四輪車	正面衝突	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
	追越・追抜	1.3	2.7	2.8	1.5	1.3	1.4	1.8	1.9	0.8	0.8	0.9	2.0	1.5
	その他	15.0	19.9	14.0	8.3	7.8	7.5	7.1	8.2	7.1	8.4	12.9	17.3	9.0
	追突	50.5	47.6	49.7	62.9	61.5	64.3	65.6	64.5	59.2	56.2	46.3	46.9	60.4
	進行中	11.0	11.1	11.8	7.8	7.9	6.1	7.0	6.2	7.0	5.9	5.9	6.3	7.3
	駐・停車中	3.0	3.4	4.7	2.2	3.5	2.6	2.1	2.4	4.2	3.3	4.4	3.1	3.0
	出会い頭衝突	5.6	3.4	3.6	4.8	4.8	5.0	4.1	3.7	5.4	7.4	10.0	9.1	5.0
	追越・追抜時衝突	0.7	1.0	1.2	0.6	0.9	1.3	1.2	1.7	1.7	1.0	1.8	1.4	1.2
	進路変更時衝突	1.3	0.7	0.6	1.3	1.6	0.8	1.0	1.1	1.9	1.6	1.5	1.4	1.2
	すれ違い時衝突	2.3	2.4	5.1	3.9	3.0	3.1	2.5	3.0	5.0	4.5	4.4	4.8	3.4
	左折時衝突	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	右折時衝突	1.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.0	0.3	0.3	0.2
	横断時衝突	3.7	3.0	2.8	3.9	4.3	4.7	4.3	3.8	4.1	5.5	5.0	2.3	4.1
	転回時衝突	4.3	4.1	3.4	2.8	3.3	2.9	3.3	3.3	3.6	5.3	6.7	4.5	3.5
	後退時衝突	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	その他													
	合計													

- ☐ 正面衝突(追抜・追越) ☐ 正面衝突(その他) ☐ 追突(進行中) ☐ 追突(駐・停車中)
☐ 出会い頭衝突 ☐ 追越・追抜時衝突 ☐ 進路変更時衝突 ☒ すれ違い時衝突
☒ 左折時衝突 ☒ 右折時衝突 ☒ 横断時衝突 ☐ 転回時衝突
☐ 後退時衝突 ☒ その他



(3-1) 対四輪車の行動類型別・人的要因別の事故件数（平成 28 年）

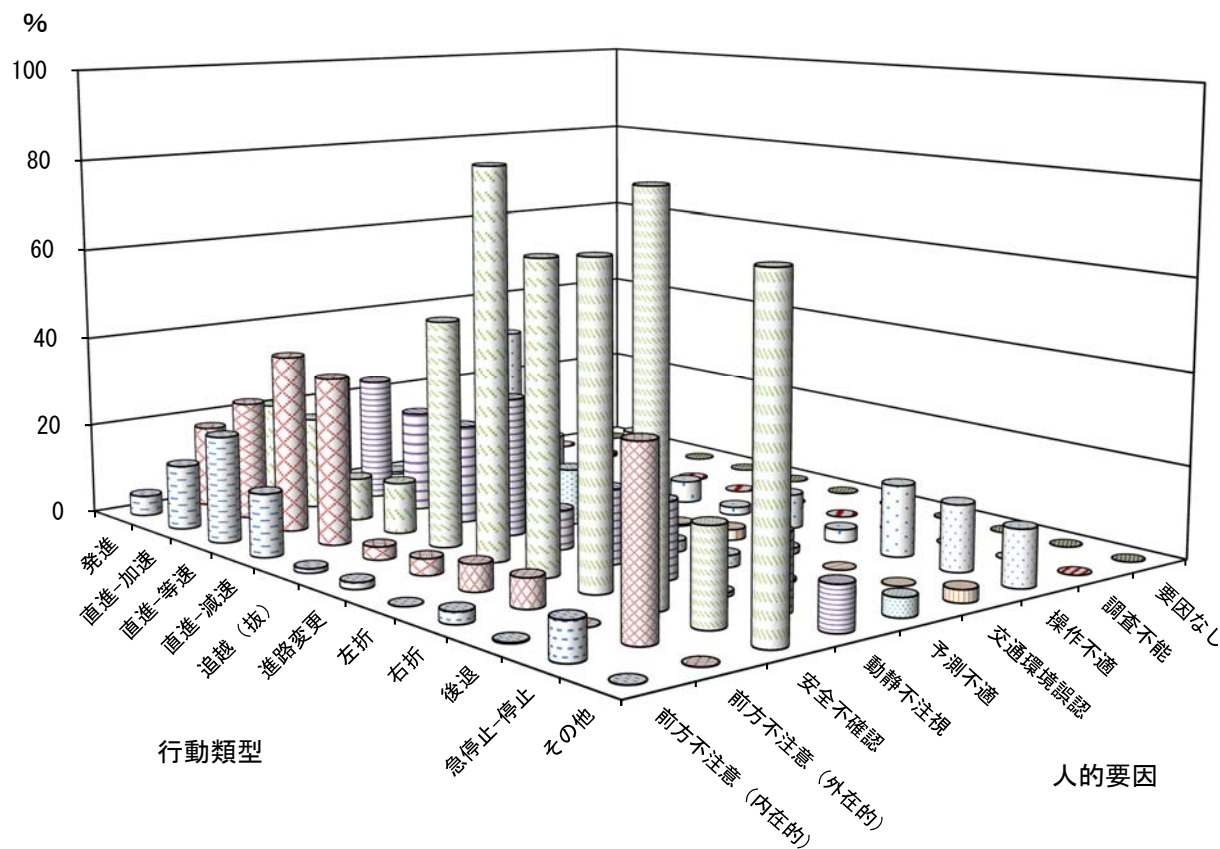
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	63	25	1,345	163	1	11	0	10	1	4	0	1,623
前方不注意(外在的)	255	46	2,251	431	3	27	10	25	0	19	0	3,067
安全不確認	300	36	536	132	52	630	115	268	384	10	52	2,515
動静不注視	357	48	1,273	256	32	65	28	65	4	8	7	2,143
予測不適	8	6	89	24	13	8	4	10	2	1	3	168
交通環境誤認	2	3	83	19	0	3	4	5	0	0	2	121
操作不適	446	13	208	162	5	13	13	11	71	7	9	958
調査不能	1	1	15	1	0	0	0	0	0	0	0	18
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,432	178	5,800	1,188	106	757	174	394	462	49	73	10,613

(3-2) 対四輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

(%)

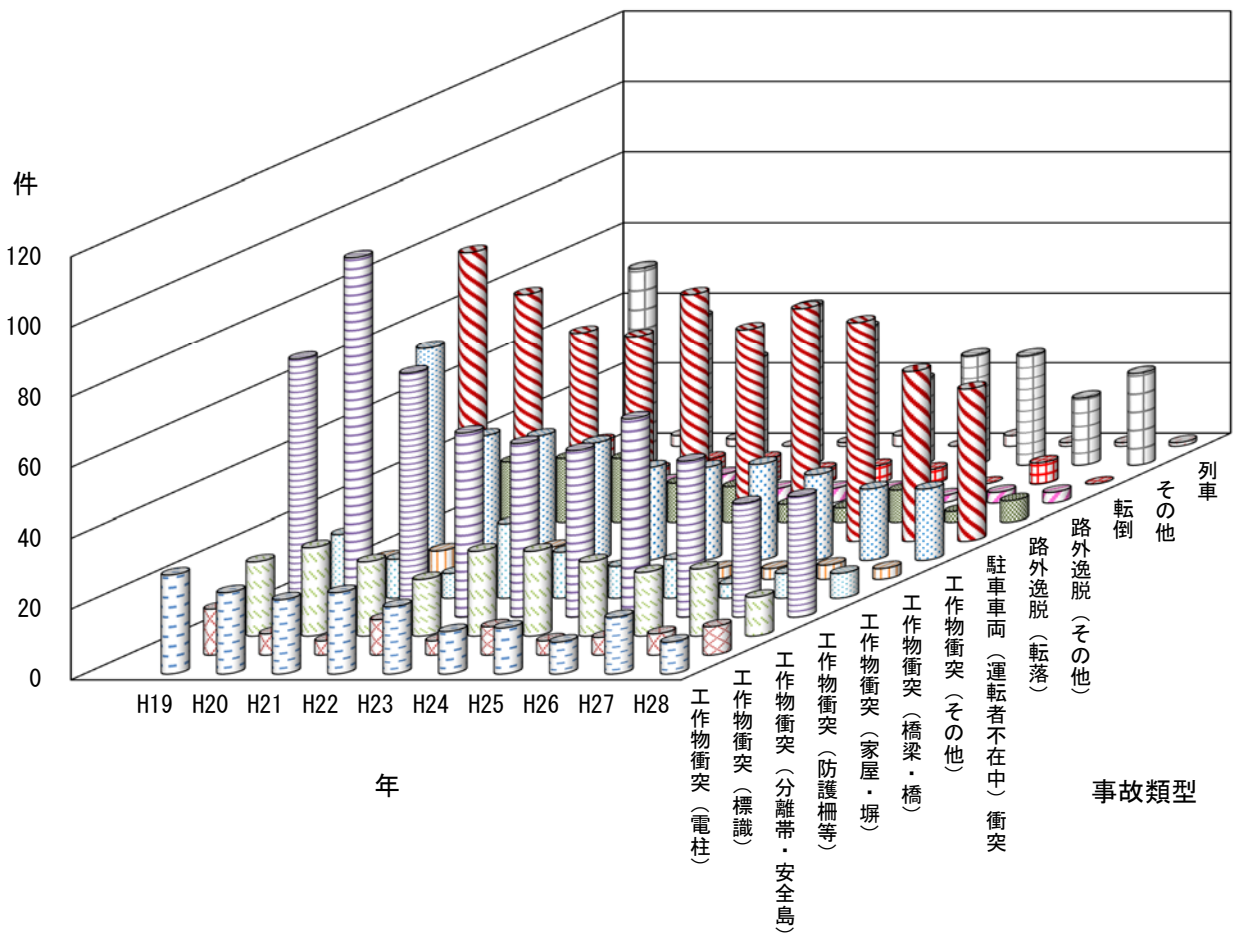
行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	4.4	14.0	23.2	13.7	0.9	1.5	0.0	2.5	0.2	8.2	0.0	15.3
前方不注意(外在的)	17.8	25.8	38.8	36.3	2.8	3.6	5.7	6.3	0.0	38.8	0.0	28.9
安全不確認	20.9	20.2	9.2	11.1	49.1	83.2	66.1	68.0	83.1	20.4	71.2	23.7
動静不注視	24.9	27.0	21.9	21.5	30.2	8.6	16.1	16.5	0.9	16.3	9.6	20.2
予測不適	0.6	3.4	1.5	2.0	12.3	1.1	2.3	2.5	0.4	2.0	4.1	1.6
交通環境誤認	0.1	1.7	1.4	1.6	0.0	0.4	2.3	1.3	0.0	0.0	2.7	1.1
操作不適	31.1	7.3	3.6	13.6	4.7	1.7	7.5	2.8	15.4	14.3	12.3	9.0
調査不能	0.1	0.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録 22 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況

(1) 車両単独事故の事故類型別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

事故類型			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	(件)
車 両 単 独	工作物衝突	電柱	28	23	21	23	19	12	13	9	16	9	
		標識	13	6	4	10	4	8	4	5	6	8	
		分離帯・安全島	21	25	21	16	24	24	21	18	19	11	
		防護柵等	73	102	69	52	49	47	56	44	32	34	
		家屋・塀	18	11	7	21	13	9	11	4	7	7	
		橋梁・橋	6	8	7	9	3	2	3	3	4	3	
		その他	60	35	35	33	26	26	27	24	20	20	
	駐車車両(運転者不在中)衝突		82	70	59	58	70	60	66	62	48	43	
	路外逸脱	転落	17	18	18	11	10	5	4	9	3	6	
		その他	7	1	6	8	4	4	4	2	3	3	
	転倒		12	4	7	7	4	5	4	0	6	0	
	その他		56	42	30	45	39	24	31	31	19	26	
	小計		393	345	284	293	265	226	244	211	183	170	
列車		3	2	0	1	3	0	3	1	1	1		



(2-1) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(平成 28 年)

(件)

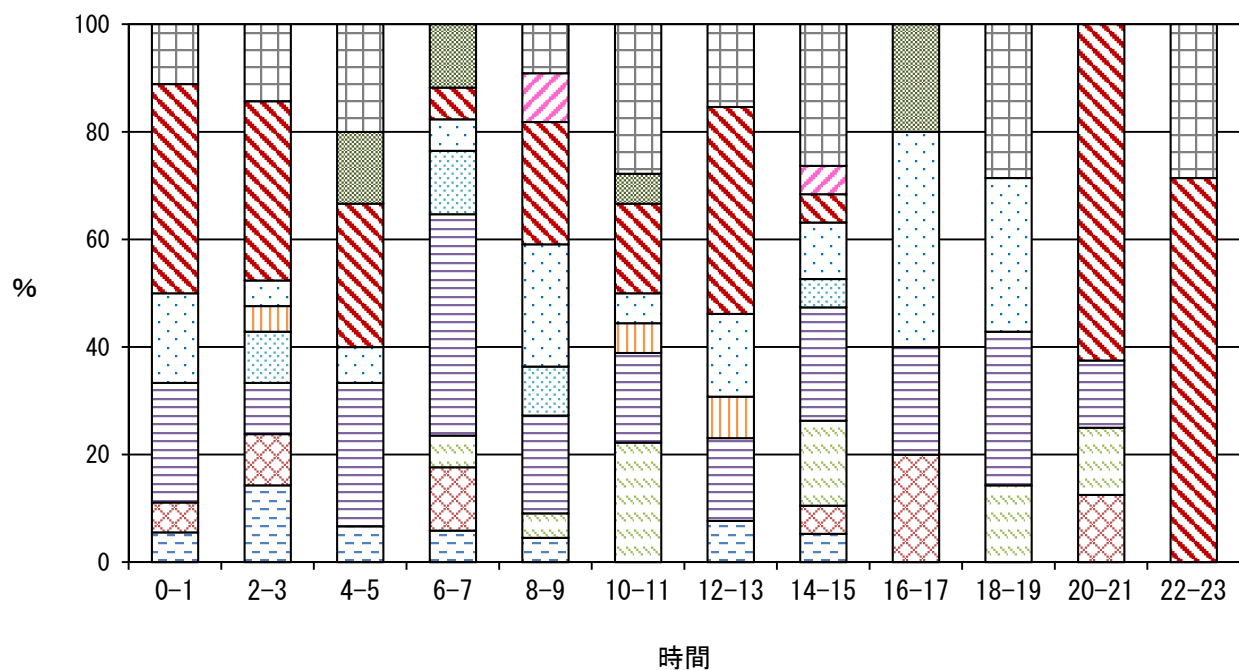
時間（2時間毎）			0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計	(件)
事故類型																
車 両 単 独	工作物衝突	電柱	1	3	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9
		標識	1	2	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	8
		分離帯・安全島	0	0	0	1	1	4	0	3	0	1	1	0	0	11
		防護柵等	4	2	4	7	4	3	2	4	1	2	1	0	0	34
		家屋・塀	0	2	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	7
		橋梁・橋	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
		その他	3	1	1	1	5	1	2	2	2	2	0	0	0	20
	駐車車両(運転者不在中)衝突		7	7	4	1	5	3	5	1	0	0	5	5	5	43
		転落	0	0	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6
	路外逸脱	その他	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
		転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		2	3	3	0	2	5	2	5	0	2	0	2	2	26
	合計		18	21	15	17	22	18	13	19	5	7	8	7	7	170
列車			0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(2-2) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(平成 28 年)

(%)

時間 (2時間毎)			0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
車両単独	工作物衝突	電柱	5.6	14.3	6.7	5.9	4.5	0.0	7.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
		標識	5.6	9.5	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	5.3	20.0	0.0	12.5	0.0	4.7
		分離帯・安全島	0.0	0.0	0.0	5.9	4.5	22.2	0.0	15.8	0.0	14.3	12.5	0.0	6.5
		防護柵等	22.2	9.5	26.7	41.2	18.2	16.7	15.4	21.1	20.0	28.6	12.5	0.0	20.0
		家屋・塀	0.0	9.5	0.0	11.8	9.1	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
		橋梁・橋	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	5.6	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
		その他	16.7	4.8	6.7	5.9	22.7	5.6	15.4	10.5	40.0	28.6	0.0	0.0	11.8
	駐車車両(運転者不在中)衝突		38.9	33.3	26.7	5.9	22.7	16.7	38.5	5.3	0.0	0.0	62.5	71.4	25.3
	路外逸脱	転落	0.0	0.0	13.3	11.8	0.0	5.6	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	3.5
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	転倒		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他		11.1	14.3	20.0	0.0	9.1	27.8	15.4	26.3	0.0	28.6	0.0	28.6	15.3
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 工作物衝突 (電柱)
- 工作物衝突 (標識)
- 工作物衝突 (分離帯・安全島)
- 工作物衝突 (防護柵等)
- 工作物衝突 (家屋・塀)
- 工作物衝突 (橋梁・橋)
- 工作物衝突 (その他)
- 駐車車両 (運転者不在中)
- 路外逸脱 (転落)
- その他
- 路外逸脱 (その他)
- 転倒



(3-1) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(平成 28 年)

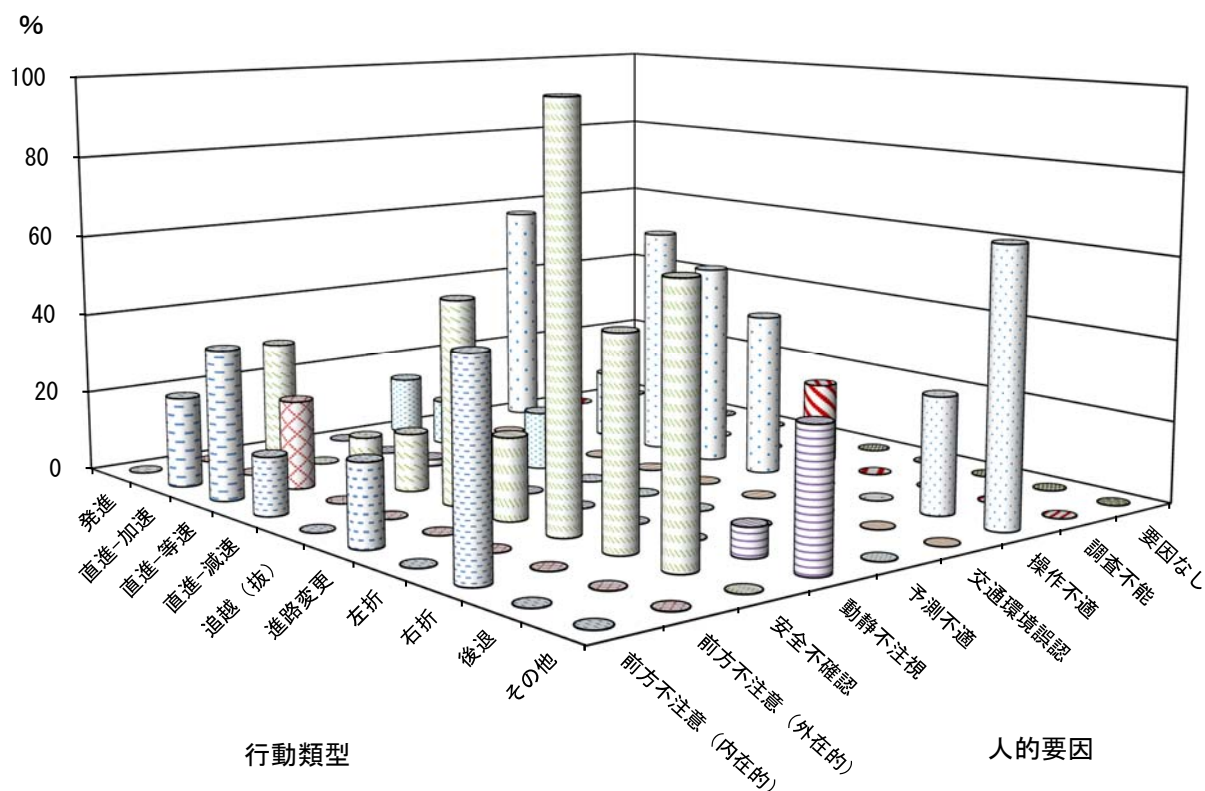
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
人的要因											
前方不注意(内在的)	0	2	44	1	0	1	0	1	0	0	49
前方不注意(外在的)	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	26
安全不確認	2	0	12	1	1	1	2	1	9	0	29
動静不注視	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	4
予測不適	1	1	5	1	0	0	0	0	0	0	8
交通環境誤認	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
操作不適	4	6	20	4	1	2	0	0	4	2	43
調査不能	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	8
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	9	119	7	2	5	2	2	14	3	170

(3-2) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(平成 28 年)

(%)

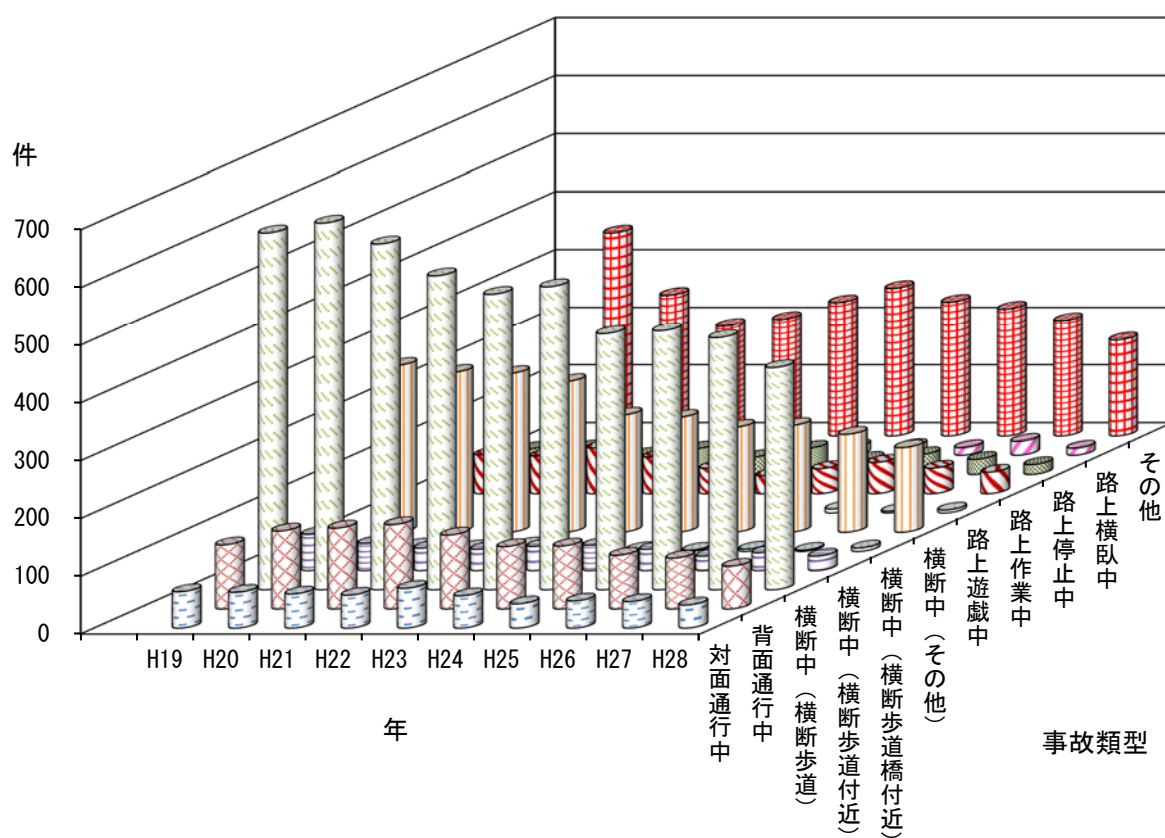
行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
人的要因											
前方不注意(内在的)	0.0	22.2	37.0	14.3	0.0	20.0	0.0	50.0	0.0	0.0	28.8
前方不注意(外在的)	0.0	0.0	21.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3
安全不確認	28.6	0.0	10.1	14.3	50.0	20.0	100.0	50.0	64.3	0.0	17.1
動静不注視	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	33.3	2.4
予測不適	14.3	11.1	4.2	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
交通環境誤認	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
操作不適	57.1	66.7	16.8	57.1	50.0	40.0	0.0	0.0	28.6	66.7	25.3
調査不能	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録 23 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況

(1) 対歩行者の事故類型別死傷事故件数の推移（平成 19-28 年）

事故類型		年										(件)
人 対 車 両	対面通行中	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	背面通行中	63	62	59	57	69	56	42	47	46	40	
	横断中	111	135	140	146	128	108	109	93	88	74	
		横断歩道	618	635	599	544	512	525	443	448	436	384
		横断歩道付近	63	47	39	37	42	44	37	25	31	25
		横断歩道橋付近	7	9	6	11	4	3	2	4	2	6
		その他	288	276	274	260	202	198	181	184	169	146
	路上遊戯中	11	7	6	9	3	2	8	7	3	5	
	路上作業中	67	65	79	63	44	31	43	54	44	37	
	路上停止中	43	46	33	44	29	45	26	34	26	17	
	路上横臥中						14	15	13	24	12	
	その他	352	244	190	202	231	256	232	220	200	166	
合計		1,623	1,526	1,425	1,373	1,264	1,282	1,138	1,129	1,069	912	



(2-1) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（平成 28 年）

(件)

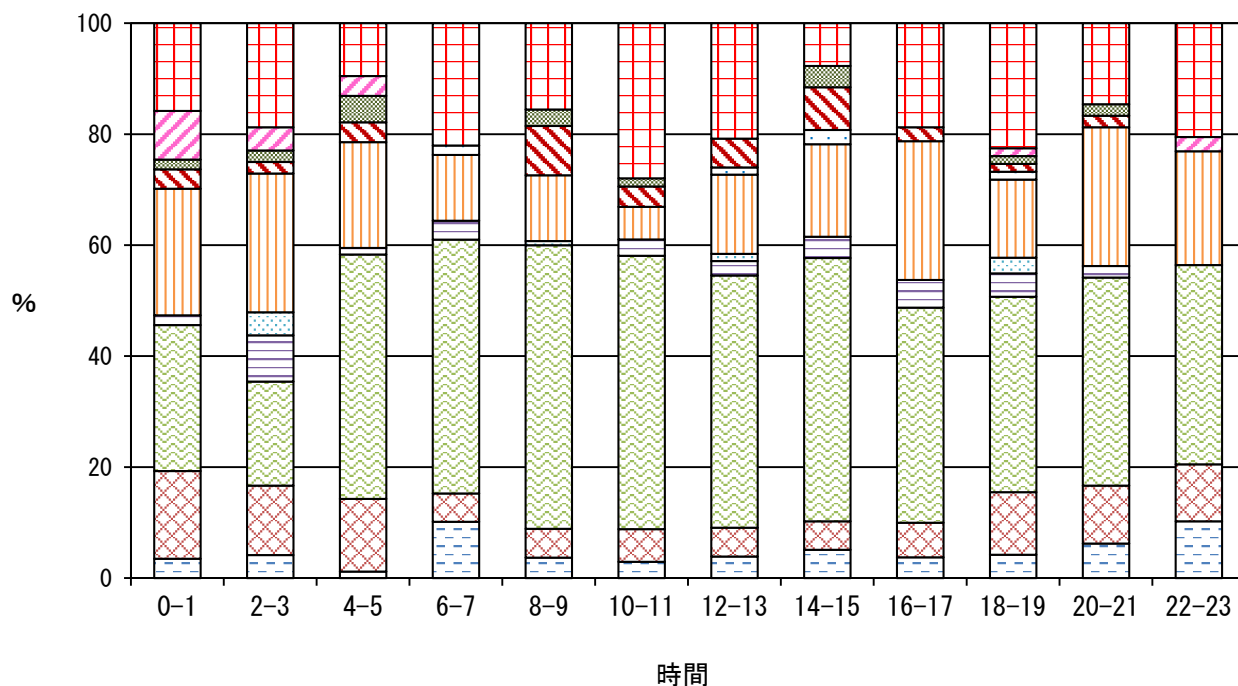
時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
事故類型	対面通行中	2	2	1	6	5	4	3	4	3	3	3	4	40
	背面通行中	9	6	11	3	7	8	4	4	5	8	5	4	74
	横断中	横断歩道	15	9	37	27	69	67	35	37	31	25	18	384
		横断歩道付近	1	4	1	2	0	4	2	3	4	3	1	25
		横断歩道橋付近	0	2	0	0	1	0	1	0	0	2	0	6
		その他	13	12	16	7	16	8	11	13	20	10	12	146
	路上遊戯中	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	5
	路上作業中	2	1	3	0	12	5	4	6	2	1	1	0	37
	路上停止中	1	1	4	0	4	2	0	3	0	1	1	0	17
	路上横臥中	5	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	12
	その他	9	9	8	13	21	38	16	6	15	16	7	8	166
	合計	57	48	84	59	135	136	77	78	80	71	48	39	912

(2-2) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数の構成率（28 年）

(%)

時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
事故類型	対面通行中	3.5	4.2	1.2	10.2	3.7	2.9	3.9	5.1	3.8	4.2	6.3	10.3	4.4
	背面通行中	15.8	12.5	13.1	5.1	5.2	5.9	5.2	5.1	6.3	11.3	10.4	10.3	8.1
	横断中	横断歩道	26.3	18.8	44.0	45.8	51.1	49.3	45.5	47.4	38.8	35.2	37.5	42.1
		横断歩道付近	1.8	8.3	1.2	3.4	0.0	2.9	2.6	3.8	5.0	2.1	0.0	2.7
		横断歩道橋付近	0.0	4.2	0.0	0.0	0.7	0.0	1.3	0.0	0.0	2.8	0.0	0.7
		その他	22.8	25.0	19.0	11.9	11.9	5.9	14.3	16.7	25.0	14.1	25.0	16.0
	路上遊戯中	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.3	2.6	0.0	1.4	0.0	0.0	0.5
	路上作業中	3.5	2.1	3.6	0.0	8.9	3.7	5.2	7.7	2.5	1.4	2.1	0.0	4.1
	路上停止中	1.8	2.1	4.8	0.0	3.0	1.5	0.0	3.8	0.0	1.4	2.1	0.0	1.9
	路上横臥中	8.8	4.2	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.6	1.3
	その他	15.8	18.8	9.5	22.0	15.6	27.9	20.8	7.7	18.8	22.5	14.6	20.5	18.2
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 対面通行中
 □横断中（横断歩道付近）
 □路上遊戯中
 □路上横臥中
 □背面通行中
 □横断中（横断歩道橋付近）
 ■路上作業中
 □その他
 □横断中（横断歩道）
 □横断中（その他）
 ■路上停止中

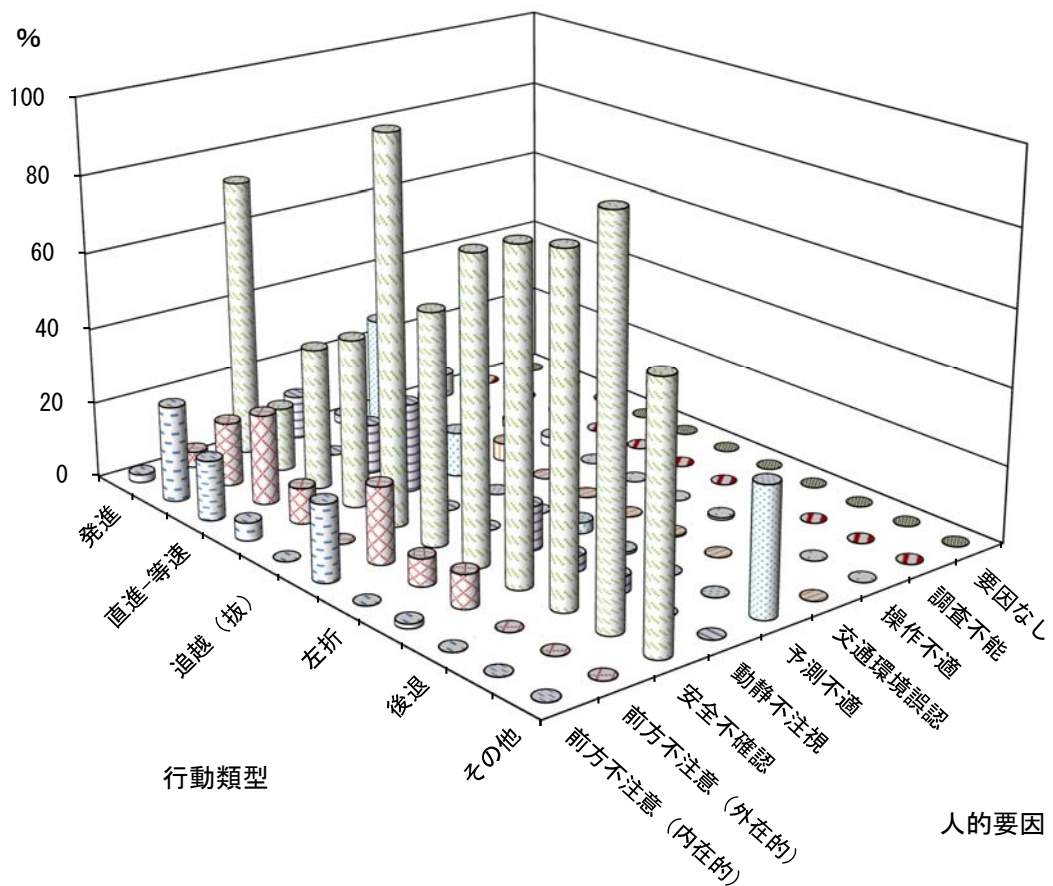


(3-1) 対歩行者の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（平成 28 年）

(件)												
行動類型 人的要因	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止 -停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	2	3	46	2	0	1	0	4	0	0	0	58
前方不注意(外在的)	4	2	69	4	0	1	5	29	0	0	0	114
安全不確認	71	2	109	19	4	3	55	280	42	3	4	592
動静不注視	11	0	38	10	0	0	8	13	2	0	0	82
予測不適	2	4	19	5	0	0	2	2	0	0	2	36
交通環境誤認	1	1	4	2	0	0	0	1	0	0	0	9
操作不適	6	0	6	1	0	0	0	2	4	0	0	19
調査不能	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	97	12	293	43	4	5	70	331	48	3	6	912

(3-2) 対歩行者の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（平成 28 年）

		(%)											
行動類型	人的要因	発進	直進 -加速	直進 -等速	直進 -減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止- 停止	その他	合計
前方不注意(内在的)		2.1	25.0	15.7	4.7	0.0	20.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	6.4
前方不注意(外在的)		4.1	16.7	23.5	9.3	0.0	20.0	7.1	8.8	0.0	0.0	0.0	12.5
安全不確認		73.2	16.7	37.2	44.2	100.0	60.0	78.6	84.6	87.5	100.0	66.7	64.9
動静不注視		11.3	0.0	13.0	23.3	0.0	0.0	11.4	3.9	4.2	0.0	0.0	9.0
予測不適		2.1	33.3	6.5	11.6	0.0	0.0	2.9	0.6	0.0	0.0	33.3	3.9
交通環境誤認		1.0	8.3	1.4	4.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0
操作不適		6.2	0.0	2.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.6	8.3	0.0	0.0	2.1
調査不能		0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
要因なし		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



付録 24 事業用貨物自動車を第 1 当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数
（平成 25-28 年）

区分 都道府県		死亡事故件数（件）					死者数（人）					車両台数 （台）	1万台当たり 死亡事故件数 （件）
		H25	H26	H27	H28	H27比	H25	H26	H27	H28	H27比		
北海道	札幌	5	9	9	7	△ 2	5	10	9	7	△ 2		
	函館	4	1	4	0	△ 4	5	1	4	0	△ 4		
	室蘭	0	0	1	4	3	0	0	1	6	5		
	帯広	1	1	0	1	1	1	1	0	2	2		
	釧路	2	0	1	4	3	2	0	1	4	3		
	北見	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1		
	旭川	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0		
小計		14	11	16	18	2	15	12	16	21	5	67,064	2.7
東北	宮城	2	6	5	5	0	2	7	5	5	0	27,039	1.8
	福島	5	9	6	7	1	5	9	6	7	1	21,468	3.3
	岩手	3	4	4	0	△ 4	4	5	5	0	△ 5	14,272	0.0
	青森	7	3	3	4	1	7	3	3	4	1	14,099	2.8
	山形	3	4	4	1	△ 3	3	4	4	1	△ 3	9,597	1.0
	秋田	3	0	0	2	2	3	0	0	2	2	8,447	2.4
	小計	23	26	22	19	△ 3	24	28	23	19	△ 4	94,922	2.0
北陸・信越	新潟	10	7	6	6	0	10	8	7	6	△ 1	23,547	2.5
	長野	3	6	2	3	1	3	6	2	3	1	17,374	1.7
	石川	4	5	5	2	△ 3	4	5	5	2	△ 3	13,232	1.5
	富山	4	4	1	3	2	4	4	1	3	2	12,973	2.3
	小計	21	22	14	14	0	21	23	15	14	△ 1	67,126	2.1
関東	東京	16	12	16	9	△ 7	17	12	16	9	△ 7	95,012	0.9
	神奈川	14	16	15	9	△ 6	14	16	15	9	△ 6	67,060	1.3
	千葉	16	19	11	21	10	16	20	11	21	10	60,325	3.5
	埼玉	23	26	19	22	3	25	26	19	23	4	83,234	2.6
	茨城	20	8	13	5	△ 8	20	8	13	5	△ 8	41,806	1.2
	群馬	9	8	4	6	2	9	8	4	7	3	24,535	2.4
	栃木	6	4	3	4	1	6	4	3	4	1	23,226	1.7
	山梨	1	4	5	0	△ 5	1	4	5	0	△ 5	7,445	0.0
	小計	105	97	86	76	△ 10	108	98	86	78	△ 8	402,643	1.9
中部	愛知	28	16	15	12	△ 3	29	17	15	12	△ 3	83,796	1.4
	静岡	13	11	10	7	△ 3	14	12	10	7	△ 3	40,698	1.7
	岐阜	4	4	5	4	△ 1	4	4	5	4	△ 1	19,236	2.1
	三重	3	9	4	7	3	3	9	4	7	3	21,514	3.3
	福井	3	3	1	1	0	3	3	1	1	0	8,276	1.2
	小計	51	43	35	31	△ 4	53	45	35	31	△ 4	173,520	1.8
近畿	大阪	23	24	23	19	△ 4	27	25	23	21	△ 2	92,549	2.1
	京都	10	9	12	5	△ 7	10	9	12	5	△ 7	21,975	2.3
	兵庫	17	12	16	8	△ 8	17	12	16	8	△ 8	46,592	1.7
	滋賀	3	3	3	4	1	4	3	3	4	1	12,030	3.3
	奈良	5	4	5	2	△ 3	5	4	5	3	△ 2	10,139	2.0
	和歌山	2	4	5	2	△ 3	2	4	5	2	△ 3	9,345	2.1
	小計	60	56	64	40	△ 24	65	57	64	43	△ 21	192,630	2.1
中国	広島	3	12	7	9	2	3	12	7	11	4	29,686	3.0
	鳥取	1	3	2	0	△ 2	1	3	2	0	△ 2	5,287	0.0
	島根	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5,886	0.0
	岡山	4	6	13	3	△ 10	4	6	13	3	△ 10	24,790	1.2
	山口	4	3	6	2	△ 4	4	3	6	2	△ 4	13,511	1.5
	小計	13	25	28	14	△ 14	13	25	28	16	△ 12	79,160	1.8
四国	香川	3	7	4	3	△ 1	3	7	4	3	△ 1	12,396	2.4
	徳島	1	3	0	1	1	1	3	0	1	1	6,847	1.5
	愛媛	3	6	5	6	1	4	6	5	6	1	14,449	4.2
	高知	2	1	2	3	1	2	1	2	3	1	6,501	4.6
	小計	9	17	11	13	2	10	17	11	13	2	40,193	3.2
九州	福岡	16	14	10	17	7	16	14	11	18	7	51,302	3.3
	佐賀	4	5	2	1	△ 1	4	5	2	1	△ 1	9,746	1.0
	長崎	5	3	0	1	1	5	3	0	2	2	8,690	1.2
	熊本	6	1	2	5	3	7	1	2	5	3	14,971	3.3
	大分	2	0	0	2	2	2	0	0	2	2	9,513	2.1
	宮崎	2	2	5	1	△ 4	2	2	6	1	△ 5	10,719	0.9
	鹿児島	12	4	5	2	△ 3	13	4	5	2	△ 3	16,529	1.2
小計		47	29	24	29	5	49	29	26	31	5	121,470	2.4
沖縄		2	1	2	0	△ 2	2	3	2	0	△ 2	6,875	0.0
不明		4	3	6	4	△ 2	4	3	6	4	△ 2		
合計		349	330	308	258	△ 50	364	340	312	270	△ 42	1,245,603	2.1

（作成：公益社団法人 全日本トラック協会）

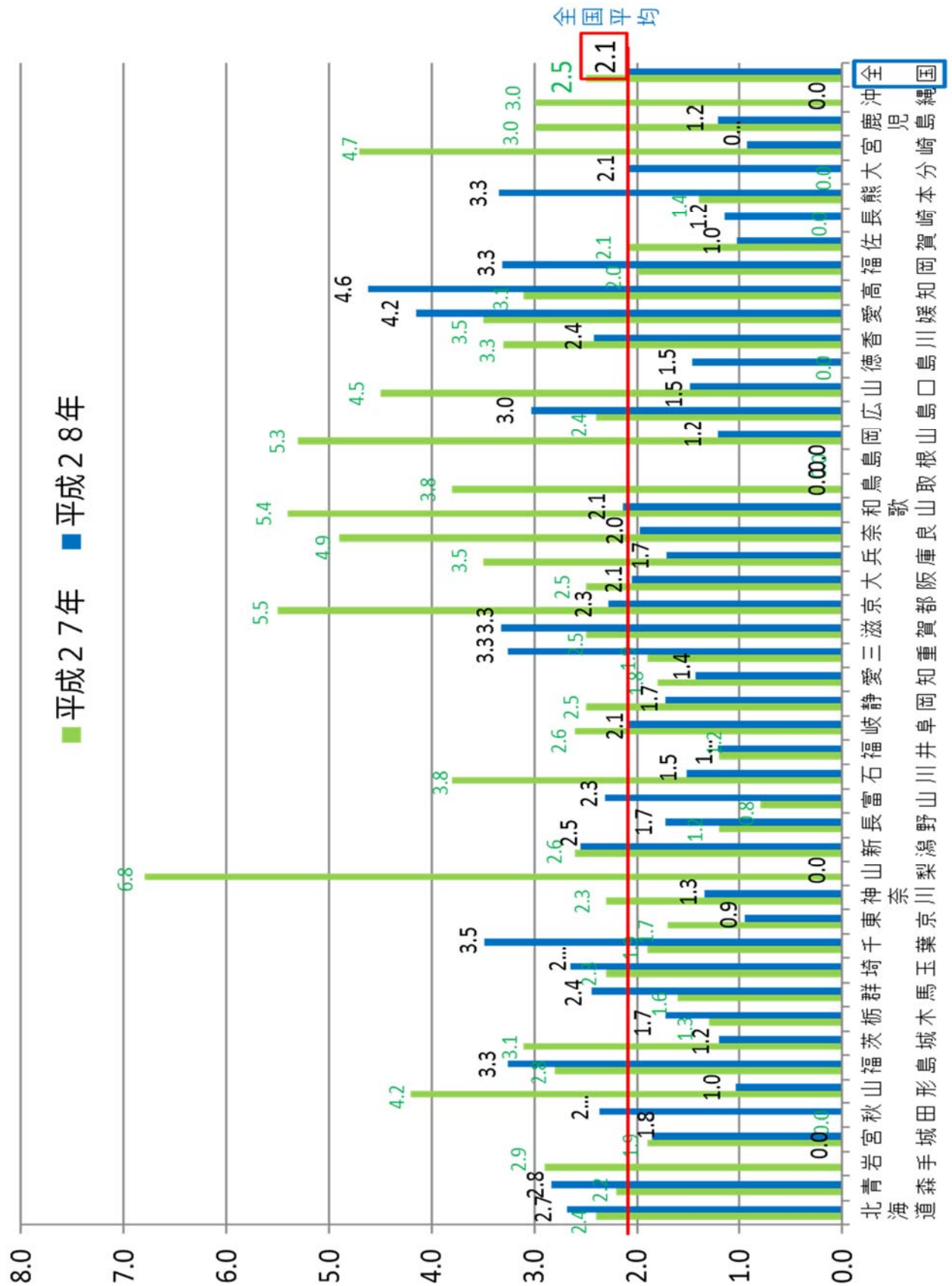
※死亡事故件数及び死者数は軽自動車によるものを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物車の保有車両台数（H28.3 末現在）

出典：（一財）自動車検査登録情報協会

付録 25 事業用貨物自動車 1 万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成 27 -28 年）



（作成：公益社団法人 全日本トラック協会）

※死亡事故件数は軽自動車によるものを除く 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有台数（H28.3 末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例

発 行：公益社団法人 **全日本トラック協会**

編 集：公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目 2 番 5

Tel 03(3354)1009 (代表)

Fax 03(3354)1019

ホームページのアドレス <http://www.jta.or.jp>